

第21期 スマート・クルーズ・アカデミー 2023年第1弾

<実施区間:神戸⇒鹿児島>



4泊5日「MSC ベリッシマ」
6/14-18

スマート・クルーズ・アカデミー & 全国クルーズ活性化会議「研修クルーズ」共同企画



スマート・クルーズ・アカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

スケジュール

日程	寄港地	入港	出港
6月12日(月)	横浜【大黒ふ頭】		20:00
6月13日(火)	神戸【ポートターミナル】	16:00	
6月14日(水)	神戸【ポートターミナル】		20:00
6月15日(木)	広島	15:00	22:00
6月16日(金)	終日クルーズ		
6月17日(土)	済州(韓国)	7:00	16:00
6月18日(日)	鹿児島	9:00	19:00
6月19日(月)	終日クルーズ		
6月20日(火)	横浜【大黒ふ頭】	7:00	

スマート・クルーズ・アカデミーは、神戸から鹿児島の間で実施します。

集合写真追加予定



全体スケジュール

スマートクルーズアカデミー@MSC Bellissima(2023)の詳細スケジュール					
No.	Date	寄港地	Time	スケジュール	会場(予定)
1	6月12日 (月)	横浜		各自 山下ふ頭(シャトルバス乗り場)から大黒ふ頭へ(最終バス17:30)	シャトルバス乗り場
				各自 チェックイン	大黒ふ頭
			随時	フリータイム・プール・ショータイム	
				自由行動(船内見学)	
			17:30	★コースディナー	レストラン
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			23:00	出港(横浜港出港シーン見学)	デッキ
2	6月13日 (火)	神戸	朝	朝のお散歩	
			朝	朝食(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			昼	ランチ(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			16:00	神戸港入港	デッキ
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			夜	★コースディナー	レストラン
			夜	ショータイム(各自)	シアター
3	6月14日 (水)	神戸	10:30	★集合後、乗船前挨拶	ターミナル
			10:30	乗船	ターミナル
			12:00	ランチ(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			15:00 ∩ 16:00	★WELCOME PARTY(自己紹介) 挨拶 Massimo "Max" Mocerino Brand Performance Manager	SKY LOUNGE
			16:00	避難訓練	シアター
			16:30	チーム対抗リレー+増え鬼	Sportplex
			17:30	★コースディナー	レストラン
			20:00	出港(神戸港出港シーン見学)	デッキ
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			夜	おしゃべりの会(各自)	BAR
			夜	夜食(各自)	レストラン
4	6月15日 (木)	広島	6:30ごろ	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	
			朝	朝食(各自)	レストラン
			10:00 ∩ 11:30	★研修クルーズプレゼンテーション 第1部「再開されたクルーズ客船寄港の概要について」 第2部「クルーズ客船誘致の現状と課題」	TV STUDIO
			12:00	ランチ(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			15:00	広島入港	
			15:30 ∩	広島港湾インフラ概要説明および広島散策	
			17:30	★コースディナー(船内食事希望者)	レストラン
			22:00	出港(広島港出港シーン見学)	デッキ
			夜	夜食(各自)	レストラン

5	6月16日 (金)	洋上	6:30ごろ	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	
			朝	朝食(各自)	レストラン
			10:00 ↓ 11:30	★スマートクルーズアカデミーディスカッション 学生プレゼンテーション「クルーズの魅力発信:BTB」	TV STUDIO
			12:00	ランチ(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	
			15:00	アフタヌーンティー(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	
			17:30	★コースディナー	
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			夜	夜食(各自)	レストラン
	夜	おしゃべりの会(各自)	BAR		
6	6月17日 (土)	済州島	6:30ごろ	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	
			7:00	入港(済州島入港シーン見学)	デッキ
			朝	朝食(各自)	レストラン
			9:00 ↓	日韓スマートクルーズワークショップ・済州島ツアー 参加しない学生はフリー(各自)	
			16:00	出港(済州島出港シーン見学)	デッキ
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	
				スポーツ大会	Sportplex
			17:30	★コースディナー	レストラン
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			夜	夜食(各自)	レストラン
	夜	おしゃべりの会(各自)	BAR		
7	6月18日 (日)	鹿児島	6:30ごろ	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)	
			朝	朝食(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			9:00	入港(鹿児島港入港シーン見学)	デッキ
			9:00	★研修クルーズ体験報告	SKY LOUNGE
			11:00 ↓	鹿児島港湾インフラ概要説明その後市内へ	マリンポート会議室
			17:30	★コースディナー	レストラン
			19:00	出港(鹿児島港出港シーン見学)	デッキ
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			夜	夜食(各自)	レストラン
	夜	おしゃべりの会(各自)	BAR		
8	6月19日 (月)	洋上	朝	朝のお散歩	
			朝	朝食(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			昼	ランチ(各自)	レストラン
				自由行動(船内アクティビティ・プール・リラックス)	船内
			15:00 16:00	★FAREWELL PARTY アカデミー体験報告	SKY LOUNGE
			17:30	★コースディナー	レストラン
			20:00	スポーツ大会	Sportplex
			夜	ショータイム(各自)	シアター
			夜	夜食(各自)	レストラン
	夜	おしゃべりの会(各自)	BAR		
9	6月20日 (火)	横浜	6:30ごろ	朝のお散歩&ジョギング(自由参加)入港シーン見学	
			朝	朝食(各自)	レストラン
			7:00	横浜港入港	デッキ
			9:00	下船後解散 帰路	

スマート・クルーズ・アカデミー参加者名簿

総数	学生番号	部屋	大学・肩書き	氏名(ふりがな)	性別	学年	乗船地	下船地
1		1	大阪大学	赤井 伸郎 (あかい のぶお)	男	教員	神戸	横浜
2			徳島大学	矢部 拓也 (やべ たくや)	男	教員	神戸	横浜
3		2	兵庫県立大学	橋本 浩幸 (はしもと ひろゆき)	男	教員	神戸	横浜
4			京都産業大学	倉本 宜史 (くらもと たかし)	男	教員	神戸	鹿児島
5		3	中京大学	齊藤 由里恵 (さいとう ゆりえ)	女	教員	神戸	横浜
6			札幌大学	武者 加苗 (むしゃ かなえ)	女	教員	神戸	横浜
7		4	甲南大学	前田 正子 (まえだ まさこ)	女	教員	神戸	鹿児島
8			日本郵船	前田 航平 (まえだ こうへい)	男	—	横浜	鹿児島
9			京都大学	前田 修平 (まえだ しゅうへい)	男	4	神戸	鹿児島
10		5	福岡市	高橋 誠 (たかはし まこと)	男	—	神戸	横浜
11	1	6	大阪大学	林 美佳 (はやし みか)	女	2	神戸	横浜
12	2		大阪大学	竹田 朝香 (たけだ あさか)	女	4	神戸	横浜
13	3	7	大阪大学	平野 翔 (ひらの しょう)	男	4	神戸	横浜
14	4		大阪大学	森田 一至 (もりた かずし)	男	4	神戸	横浜
15	5		大阪大学	山内 大輝 (やまうち だいき)	男	4	神戸	横浜
16	6	8	大阪大学	今道 尊人 (いまみち たけと)	男	2	神戸	横浜
17	7		大阪大学	前田 裕輝 (まえだ ゆうき)	男	2	神戸	横浜
18	8	9	兵庫県立大学	穂崎 夏蓮 (ほさき かれん)	女	3	神戸	横浜
19	9		兵庫県立大学	友本 早耶 (とももと さや)	女	3	神戸	横浜
20	10	10	兵庫県立大学	橋本 実奈 (はしもと みな)	女	3	神戸	横浜
21	11		兵庫県立大学	速水 栗音 (はやみ くりね)	女	3	神戸	横浜
22	12	11	兵庫県立大学	藤田 莉緒 (ふじた りお)	女	3	神戸	横浜
23	13		兵庫県立大学	岡本 真依 (おかもと まい)	女	3	神戸	横浜
24	14		兵庫県立大学	地主 果奈 (ちぬし かな)	女	3	神戸	横浜
25	15	12	兵庫県立大学	宮本 綾乃 (みやもと あやの)	女	3	神戸	横浜
26	16		兵庫県立大学	加賀谷 智也 (かがや ともや)	男	3	神戸	横浜
27	17	13	兵庫県立大学	渡辺 阿南 (わたなべ あなん)	男	3	神戸	横浜
28	18		兵庫県立大学	堀 颯翔 (ほり はやと)	男	3	神戸	横浜
29	19	14	京都産業大学	越智 慎之助 (おち しんのすけ)	男	4	神戸	横浜
30	20		京都産業大学	村上 和樹 (むらかみ かずき)	男	4	神戸	横浜
31	21	15	京都産業大学	宮地 乃愛 (みやち のあ)	女	4	神戸	横浜
32	22		京都産業大学	大西 歩花 (おおにし あゆか)	女	4	神戸	横浜
33	23	16	中京大学	山谷 豊 (やまや ゆたか)	男	4	横浜	横浜
34	24		中京大学	堀田 大貴 (ほりた だいき)	男	4	横浜	横浜
35	25		中京大学	河合 大翔 (かわい ひろと)	男	4	横浜	横浜
36	26	17	中京大学	角 快都 (すみ かいと)	男	4	横浜	横浜
37	27		中京大学	栗本 隼聡 (くりもと はやと)	男	4	横浜	横浜
38	28	18	中京大学	田中 綾 (たなか あや)	女	4	横浜	横浜
39	29		札幌大学	近藤 咲奈 (こんどう さな)	女	4	神戸	横浜
40	30	19	札幌大学	廣島 優奈 (ひろしま ゆうな)	女	4	神戸	横浜
41	31		札幌大学	馮 沛淇 (フウ ペイチ)	女	4	神戸	横浜
42	32	20	札幌大学	伊藤 蓮 (いとう れん)	男	3	神戸	横浜
43			SAPジャパン株式会社	岡倉 諒介 (おかくら りょうすけ)	男	—	横浜	鹿児島

全国クルーズ活性化会議研修クルーズ参加者名簿

整理番号	団体名	部署名	役職名	氏名	乗船日・場所	下船日・場所
1	山形県	観光文化スポーツ部観光復活推進課インバウンド推進室	主事	加藤 佳奈	6/12 横浜	6/20 横浜
2	石川県	港湾活用推進室	課長補佐	堂前 俊輔	6/14 神戸	6/18 鹿児島
3	金沢市	産業政策課	主査	中村 文宣	6/14 神戸	6/18 鹿児島
4	金沢市	産業政策課	主査	宮本 敬介	6/14 神戸	6/18 鹿児島
5	静岡市	経済局海洋文化都市推進部 海洋文化都市政策課	主査	藤谷玲子	6/14 神戸	6/18 鹿児島
6	静岡県	清水港管理局企画整備課	企画班長	渡邊多恵	6/14 神戸	6/18 鹿児島
7	大阪市	大阪港湾局事業戦略課	係員	網屋 瑞希	6/14 神戸	6/20 横浜
8	大阪府	大阪港湾局振興課利用促進担当	係員	森岡 光代	6/14 神戸	6/18 鹿児島
9	大阪港振興協会	総務	課長	出水 幸恵	6/14 神戸	6/20 横浜
10	神戸市	港湾局	副局長	川中 徹	6/14 神戸	6/18 鹿児島
11	神戸観光局	港湾振興部	部長	石川 貴美子	6/14 神戸	6/18 鹿児島
12	神戸市	港湾局振興課	係員	仲野 早紀	6/14 神戸	6/18 鹿児島
13	広島県	土木建築局港湾漁港整備課	技師	寺田真理子	6/14 神戸	6/18 鹿児島
14	広島県	土木建築局 港湾漁港整備課	技師	樫野 琢郎	6/14 神戸	6/18 鹿児島
15	鳥取港振興会 (鳥取県)	事務局 (空港港湾課)	事務局長 (課長補佐)	山橋 伸治	6/14 神戸	6/18 鹿児島

研修クルーズプレゼンテーション

日時:6月15日午前

「クルーズ客船寄港の実態と客船誘致の動きと今後の在り方」

10:00-10:15

第1部「再開されたクルーズ客船寄港の概要について
(国交省クルーズ室資料の紹介も含めて)」by 赤井伸郎

10:15-11:05

第2部「クルーズ客船誘致の現状と課題」
by 各自治体(司会:事務局)(6分以内×7チーム)
<酒田港(山形県)、金沢港(石川県)、清水港(静岡県)
大阪港(大阪府市)、神戸港(神戸市)
広島港(広島県)、鳥取港(鳥取県)>

11:05-11:30

第3部「クルーズ客船誘致の現状と課題」
パネル討論+質疑
by 各自治体(コーディネイター:赤井伸郎)

日時:6月16日午前

「クルーズの魅力発信」

倉本宜史(京都産業大学)・橋本浩幸(兵庫県立大学)

趣旨

クルーズを体感した次はその魅力・感動を伝えることです。今回は動画やスライドショーは作成せず、クルーズの「魅力」と、それを伝えるための「アイデア」を考えてもらいます。

課題

クルーズ未体験者に対してクルーズの魅力を伝えるためのPR動画の「事前準備」と「発表」

作業内容

乗船前:事前案(下書き)を用意

- ・複数大学混成の5チームを編成
- ・配布済みの様式を活用して、チームごとにアイデア出しと動画イメージの共有

乗船後:完成案を【画用紙】に清書

- ・横浜～神戸～広島のクルーズを体感して事前案を修正

プレゼンテーション

【画用紙】をスクリーンに映しながら、1チーム10分の発表

2023年度 第1回 スマート・クルーズ・アカデミー 学生班分け

班		所属大学	氏名 (よみ)	学年	乗船する港
A班	1	大阪大学	竹田 朝香 (たけだ あさか)	4	神戸
	2	中京大学	角 快都 (すみ かいと)	4	横浜
	3	中京大学	河合 大翔 (かわい ひろと)	4	横浜
	4	京都産業大学	村上 和樹 (むらかみ かずき)	4	神戸
	5	兵庫県立大学	友本 早耶 (とももと さや)	3	神戸
	6	兵庫県立大学	地主 果奈 (ちぬし かな)	3	神戸

B班	1	大阪大学	山内 大輝 (やまうち だいき)	4	神戸
	2	中京大学	田中 綾 (たなか あや)	4	横浜
	3	札幌大学	馮 沛淇 (フウ ペイチ)	4	神戸
	4	京都産業大学	越智 慎之助 (おち しんのすけ)	4	神戸
	5	兵庫県立大学	渡辺 阿南 (わたなべ あなん)	3	神戸
	6	兵庫県立大学	岡本 真依 (おかもと まい)	3	神戸

C班	1	大阪大学	平野 翔 (ひらの しょう)	4	神戸
	2	中京大学	山谷 豊 (やまや ゆたか)	4	横浜
	3	京都産業大学	宮地 乃愛 (みやち のあ)	4	神戸
	4	札幌大学	伊藤 蓮 (いとう れん)	3	神戸
	5	兵庫県立大学	橋本 実奈 (はしもと みな)	3	神戸
	6	大阪大学	林 美佳 (はやし みか)	2	神戸

D班	1	中京大学	栗本 隼聡 (くりもと はやと)	4	横浜
	2	札幌大学	近藤 咲奈 (こんどう さな)	4	神戸
	3	京都産業大学	大西 歩花 (おおにし あゆか)	4	神戸
	4	兵庫県立大学	藤田 莉緒 (ふじた りお)	3	神戸
	5	兵庫県立大学	穂崎 夏蓮 (ほさき かれん)	3	神戸
	6	兵庫県立大学	加賀谷 智也 (かがや ともや)	3	神戸
	7	大阪大学	今道 尊人 (いまみち たけと)	2	神戸

E班	1	大阪大学	森田 一至 (もりた かずし)	4	神戸
	2	中京大学	堀田 大貴 (ほりた だいき)	4	横浜
	3	札幌大学	廣島 優奈 (ひろしま ゆうな)	4	神戸
	4	兵庫県立大学	宮本 綾乃 (みやもと あやの)	3	神戸
	5	兵庫県立大学	堀 颯翔 (ほり はやと)	3	神戸
	6	兵庫県立大学	速水 栗音 (はやみ くりね)	3	神戸
	7	大阪大学	前田 裕輝 (まえだ ゆうき)	2	神戸

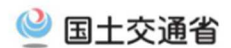
寄港地プログラム(広島)

- ・15:30~16:30: 船上デッキにて広島港の概要説明(全参加者)
学生は、その後フリー(下船後シャトルバスで各自視察へ)

※シャトルバスの情報(5/17時点)	
料 金:	無料
運行形態:	五日市駅(JR、広電)、JR廿日市駅、西広島駅(JR、広電)ほか【調整中】
運航時間:	約10分間隔
参 考:	【宮島方面】JR五日市駅 → 宮島口駅(片道200円、11分) 広電五日市駅 → 広電宮島口駅(片道180円、21分)
	【市内方面】JR五日市駅 → JR広島駅(片道240円、15分) 広電五日市駅 → 原爆ドーム前(片道210円、30分)

- ・16:30: 五日市地区を出発(教員+自治体関係者のみ)
- ・17:00~18:00: 宇品地区を視察
- ・18:15: 平和記念公園にて下車・解散

6/15(金)SCA広島港ご視察行程



寄港地プログラム(濟州島)

学生はフリー、教員と自治体関係者は、以下のプログラムに参加

Plan of Korea–Japan Smart Cruise Workshop

Program (Draft)

Date	Time	Program	Note	
6/17 (Sat)	07:00~08:00	60′	Entry of MSC Bellissima	
	09:00~10:00	60′	Disembarkation and Transportation	
	10:00~10:05	5′	Opening and Introduction of Participants	
	10:05~10:15	10′	Welcoming Address	*Secretary General of ACLN *President of SCA *Seogwipo City Officials
	10:15~10:25	10′	Presentation on Seogwipo City and Tourism	*Seogwipo City Officials
	10:25~10:45	20′	Speech (Overview of Jeju Cruise Industry)	*Prof. SookYoung Kang of Kyonggi University
	10:45~11:00	15′	Q&A and Exchange of Opinions	
	11:00~11:20	20′	Commemorative Photo Shooting and Closing	*Exchange of Business Card
	12:00~13:00	90′	Lunch (Near Seogwipo Market)	
	13:00~14:30	90′	Go Sightseeing of Jeju Cruise Tourist Attractions	*Seogwipo Maeil Olle Market *Camellia Hill (Hydrangea Festival)
	14:30~15:00	30′	Going back to Seogwipo Port	
	16:00~		Departure	

寄港地プログラム(鹿見島)

マリポートかごしま 平面図



バス 2 台に分乗 (A:自治体+大阪大+中京大、B:その他)

時刻			行程
			MSCベリッシマ (第1バース(北側))
9:00	着		マリポートかごしま
↓		(120分)	入国手続き後、管理棟まで徒歩(10分)
11:00	着		【概要説明】
12:00	発		マリポートかごしま(管理棟)
↓		(20分)	バス2台
12:20	着	(120分)	天文館(昼食・自由行動)
14:20	発		バス乗り降り場所: センテラス天文館
↓		(15分)	バス2台
14:35	着	(60分)	仙巖園
15:35	発		
↓		(30分)	バス2台
16:05	着		マリポートかごしま

荒天時は、視察場所変更の可能性あり

学生アンケート

目次

特に満足したポイントを3つ.....	14
申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ.....	17
クルーズの概要を知ったときの感想および参加を決定した理由.....	21
申し込み後、乗船日前夜に考えたこと.....	26
乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想.....	31
乗船直後の感想.....	36
避難訓練、(事故・防犯上の)安全対策、感染症対策への感想.....	41
クルーズ船としての船内施設(ハード面)全体の感想.....	47
"船内サービス(ソフト)の感想.....	53
"船内のSHOWやエンターテインメントの感想.....	63
"船内の施設での体験に関する感想.....	68
乗船港(横浜)での感想.....	75
乗船港(神戸)での感想.....	76
"寄港地(広島)での感想.....	81
"寄港地(濟州島)での感想.....	87
寄港地(鹿児島)での感想.....	94
"下船港(横浜)での感想.....	100
各港湾(自治体)からのプレゼン・パネル討論を聞いての感想.....	105
学生プレゼンに対する感想.....	111
スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望.....	116
地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想.....	122
クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点).....	129
クルーズ全般への感想.....	136
***.....	143

特に満足したポイントを3つ

1. 外国人との交流、寄港地での観光体験、船内の様々なアクティビティ
2. ・船内で様々なアクティビティを楽しむことが出来たため、・寄港地において楽しむだけでなく港の役割や開発・誘致についての話まで伺うことが出来たため、・船内や寄港地などで多くの人と交流し、学びを深められたため
3. ・普段出会わない人との交流、・船内の様々なアクティビティ、・食事
4. クルーズ文化を知れたこと、チェジュ島での滝、厳島神社
5. 1. 国際交流が非常に盛んな場所であること。留学直前だったのでいい事前準備になった。2. 大きな荷物を持たずに寄港地観光できること。税関等も整備されていてスムーズなのと、カードキーでかなり効率化されていたので非常に便利だと思った。3. 船内サービス、特に部屋の掃除がこまめに行われていたこと。タオルもかなり頻繁に交換してくれていたし、(部屋の荷物には少し注意が必要だとも思ったが) 全体的にかなり満足できるサービスだった。
6. 初めての乗り物に乗れたこと、他大学の学生と楽しい時間を過ごせたこと、船の上でずっとやることがあったこと
7. 素晴らしい友人との出会いがあった。同行した大学の学生たちは皆積極的かつ個性的でとても楽しい人たちだった。2. 外国人の人たちとの交流。船内では他人に話しかけるハードルが下がり、クルーだけでなく一般の乗客とも英語で会話することができた。3. 非日常空間にいること、それ自体。自分の身に合わないとも感じられるほどのラグジュアリーな空間で、一週間のあいだ遊んですごすこと、それ自体がとても楽しかった。
8. 1 船内サービス(プール、ジム、食事、ショーなど)、2 非日常的空間だった、3 他大学生との交流
9. ・船の施設の充実度 ・気軽に海外の人と英語でコミュニケーションできる ・一度で多くの観光地に行けた
10. 1. 料理(ビュッフェの品揃えが多かったこと、日本食を食べることができたこと、ビュッフェとレストラン両方とも日替わりの料理がたくさんあったこと)、2. 後方デッキ(景色が綺麗で1番お気に入りの場所だった、船が通った道筋が見えたり、風を感じたりできてとても良かった)、3. 様々な人と交流できたこと(アカデミーで一緒だった方たち以外にも、クルーや他のお客様ともコミュニケーションをとれたことが良かった)

11. 非日常的な時間を過ごせた点、クルーズへの愛着が湧いた点、大学生との交流や英語での会話から刺激をもらった点
12. 異国間交流ができた。・非日常体験を経験することができた。・寄港地に降りたって観光ができた。
13. 乗船スタッフの丁寧な対応、充実した食事プラン、充実したアクティビティ施設
14. 施設の充実度、ビュッフェやレストランのご飯のおいしさ、エンターテインメント要素が豊富
15. エンターテインメントが充実しており退屈しなかった点。毎日のビュッフェ、コースディナーがとても美味しかった点。クルーの方々がフレンドリーで、たくさん英語を話せる機会になった点。
16. 多くのアクティビティがあって1週間では遊びきれない／毎食豪華で飽きることがない／それぞれの港町で楽しく遊べた
17. 24 時間英語に触れられる機会がある ・非日常経験 ・寄港地間の移動時間も楽しむことができる
18. 普段は出来ないような経験を多くさせてもらったことが満足感について最も高い評価をつけた理由だ。例えば、外国の方と外国の言語で話をする機会や全く知らない人と交流の場をもてる事、カジノや船の上のプールやバーを利用できたことだ。
19. ①各大学の学生や教員、自治体関係者との交流。②船内アクティビティ(スマート・クルーズ・アカデミーとしての)。③船内のおいしいご飯。
20. まずは豪華客船ならではのアクティビティの多さ、船の上で「暇で辛い」ということがまずない。もはや暇すらも楽しめる。次は、ビュッフェが 24 時間開いており、いつでも好きなときにコーヒーが飲める。そして、乗務員の方が皆優しい。英語が拙い僕たちでも気さくに喋りかけてくださり、特にコミュニケーションで困ることはなかった。
21. たくさんの方々に出会えたこと、普段できない経験ができたこと、観光やアクティビティを 1 週間で一気にできたこと
22. まずは船内設備・イベントの充実度です。クルーズ自体、誰かと楽しむことを前提にされているからか、今回のクルーズ・アカデミーのように団体にとって「誰かと楽しむ」ことに退屈さや苦痛さを全く感じないほど、全て楽しむことができたからです。次は、各大学・自治体の幅広さです。地域差や大学差を学ぶことができる良い経験でした最後は、食事です。食事内容もそうですが、いろいろな人のお話を聞くことがとても刺激的でした。

23. point①:初めてのクルーズ船で様々な大学の仲間と新たな刺激を受けながら非日常体験を毎日することができ、クルーズのリゾート体験だけではなく日本や濟州島の観光もできたことで思い出と学びにつながった。point②:クルーズ船内では外国人の方も多くいたことで異文化の交流や“英語”でのコミュニケーションを多くとることで新たな発見や価値観の幅が広がるいい経験となった。point③:今回スマート・クルーズ・アカデミーという企画で乗船させていただきましたが、この魅力は乗った人にしかわからないと思いますし、この非日常体験をもっと多くの人に知ってもらいたいと思えたことが一番のよかった点ではないかと考える。
- 24.初めて乗ったクルーズ船でこんなにも満足で終わることが出来ると思っていなかった。それは、非現実を味わえたことと最高の仲間と一緒に乗ることが出来たからである。また、現地での観光も楽しく今までに行ったことがない県に行くことができ、よい経験となった。
25. 1. 他大学学生との交流、2. 毎晩のシアターショー、3. 食事(ブッフェは営業時間が長く、日本ではない料理が多かった、レストランではめったに経験しないコース料理を体験できた)
- 26.クルーの親しみやすさ、豊富なアクティビティ、様々な国の方と文化を共にできる
- 27.クルーズ船内での出会い(大学同士の交流やクルー、乗客同士)、船内設備、寄港地での観光
28. 1. 8泊9日宿、食事(コース料理)、移動費込みであった点 2. 年齢の近い学生や自治体の方、外国人の方と交流できた点 3. 9日間で複数の観光地へ訪れられた点
- 29.クルーズに乗船するという体験は初めてだったし、想像以上にすごくとても良い体験をしました。総合満足度が4である理由は、昼間の自由時間が足りないなと感じたからです。今回は、午前中にアカデミーの課題に取り組み、午後からグループワークがあったり、自由時間の合間の15時や16時にちょっとした集合などがあり、16時に営業終了してしまうアクティビティに全然いけなかったのが残念です。全く時間がなかったわけではないですが、特に女子は昼間に一度プールに入ると午後の集合までにシャワーで髪の毛を洗ったりしてから午後の予定に間に合わせなければいけなかったりで大変だったと思います。かといって夜のイベントもたくさんあるので、時間の管理は難しいところだと思います。
- 30.アカデミーだった為いろんな大学と交流できた。船内で退屈することなく

いろんなイベントが楽しめた。港での出迎えが良かった。

31. たくさんの人と交流 2. たくさんの食事を経験。3. The feeling of vacation is very comfortable

32. たくさんの交流ができた点。各大学だけでなくプライベートで来ているほかのお客さんやクルーの方など。2, たくさんの食事を経験できた点。ブッフエといった大衆的なものからヴィーガンのようなコアなものまで。3, アクティブなものから大人贅沢なものまでたくさんのイベントやアクティビティを経験できた点

申し込むかどうかを考えていたときのクルーズへのイメージ

1. クルーズ船に対するイメージは、きらびやかなお金持ちが余裕を持って観光をするために使うものというイメージでした。大きな船に乗って優雅に寄港地を巡っていけるというのがクルーズの良いところだと考えていました。是非乗ってみたいと考えていました。
2. クルーズ=お金持ちが楽しむもので、比較的若い人には楽しみづらいと思っていた。特に、コスト(費用)が非常に高く、ショッピングモールや有料のレストランは高級店が多く、敷居の高い印象であった。また、豪華な船とはいえ、船の中という限られたスペースに過ぎないため、一週間ずっと楽しめるようなアクティビティは少なく、飽きてしまうと感じていた。
3. 「年配の方が乗る豪華な乗り物」というイメージが一番強かった。今回クルーズに乗船したのが初めてであり、周りの友人も乗ったことがある人は見たことがなく、若者が乗るイメージはあまりなかったが、乗ったら乗ったで非日常を味わうことができ、絶対に楽しいだろうとは思っていた。また、船の中よりは寄港地の観光がメインだと思っていた。
4. とにかく豪華であるというイメージでした。そのため、富裕層に限られるのかなと思っていました。また、金も時間もある、老後の旅!というイメージもあったので、年齢層としても、高齢の方の割合が圧倒的に高いものだろうと考えていました。また、船内ではゆらゆらと景色を楽しみ、読書とかしてるものだというイメージを持っていました。
5. 富裕層しか手の届かない場所。大学生や若年層ではなく大半が退職後の高齢夫婦というイメージがある。服にもかなり注意しておかなければいけない空間、Tシャツやジーパンだとお払い箱にされるかも、という不安もあった

が、ウォータースライダーやショーなどの楽しむためのコンテンツも充実しているという期待感もかなりあった。日本発着なので、日本のクルーや乗船客が大半だと考えた。

6. 高級そうなイメージがある。何ヶ月も船に乗りながら、仕事からリタイアしたお金も時間もあるおじさま、おばさまたちが優雅に乗っているイメージがある。また、自分が全く通ってない道なので、あまりクルーズについて想像もできないというのも率直な感想である。
7. 年配の方が夫婦でゆったりと楽しむイメージ。通販の CM で得られた知識がほとんど。ショーやプール、ディナーなどのアクティビティや施設があることは聞いたことがあるが、私にとって特別に魅力的なものは特にない。一週間以上も船の中にいるなんて、退屈ではないのか。
8. とても高級な場所のイメージでお金持ちが多そうだと思う。コロナで感染者が出たダイヤモンドプリンセスの感染が拡大しやすそうでビュッフェなどもあるというイメージが大きかった。船内でも日本語が普通に通じると思っていた。
9. そもそも京都市出身で海が身近な環境で育っていないので、一週間海の上で生活できるのはとても新鮮で魅力的な体験だ。しかし、クルーズ客船と書いてあっても、自然と豪華客船というように、偏見で勝手に「豪華」というワードを付けてしまう。乗ったこともないのにもかかわらず、勝手に海外セレブがいっぱいいる場所で、自分みたいな学生が居ていい場所ではない、と決めつけてビビってしまう、、、
10. お金を持っていてご年配の方が多く乗っている。ドレスコードが厳しく服をたくさん持って行かなければならない。船が大きい。船の中でゆっくり過ごしたい人が乗るため、することがなく暇に感じることもある。時間に余裕がある人が行く。船酔いする。船の中の装飾が豪華。
11. 正直、クルーズとはどういうものか分からないため、イメージすら湧かない。船で何をするのか、船での生活はストレスが溜まらないか、天気が悪い日ばかり続いたら楽しくないのではないか、どのような人が乗船するのか、荷物などの準備が大変そう等、今までの私にとってクルーズは無縁の存在であり、意識したことがないため、何も分からず不安要素で溢れている。さらに、アカデミーとしての参加であるため、勉強ばかりで楽しめるのか、他大学も参加するため他大学と交流ができると聞いたが、どのような風に交流ができるのか、気軽に交流できるのか、といった考えもある。一方で、未知の世界への好奇心も負けてない。

- 12.一番に考えたのは、船酔いをしないか、だった。1 週間も船に乗っているので、船酔いをしてしまったら全く楽しめなくなると思った。また、クルーズといえども、あくまで船なので、食事や客室、船内アクティビティがあまり充実していないのかなとも思っていた。
- 13.クルーズは煌びやかなパーティーや食事を船上で楽しめるものというイメージだ。それと同時に閉鎖的な空間でもあり、遭難してしまったら絶対に戻ってこれないだろうというイメージもある。どちらにせよ自分とは違う世界の娯楽であるという考えだ。
- 14.船が大きければ大きいほど大金持ちが乗るイメージが強くあった。また、コアなファンが多く、リピーター率の割合が高そうだと感じていた。全体的に客層は、お金持ちで時間にゆとりがあり年齢層が高めなイメージがあった。だから、自分のような学生にはほど遠いものであると思っていた。
- 15.船はどれほど揺れるのか、船の中で時間をつぶすことができるのか、船の中では常にフォーマルな格好でいなければいけないのか、衣服の洗濯はどうすればよいのかなど、不安な点が多い。船はあくまでも交通手段なので、長期間かかるクルーズ船に乗るメリットがわからない。豪華客船に乗船するのは初めてなので、どれほど豪華なのか、エンターテインメントがあるのは知っているので楽しみな点のほうが多い。
- 16.テレビで見たことはあるけれど自分は一生これとは縁のない人生を歩んでいくものだと思っていた。昔、日曜日の昼にやっていたアタック25の優勝者が最後の一问に答えることができれば地中海クルーズのペアチケットが獲得でき、それをテレビの前で家族と一緒に見ていたイメージしかなくそれ以外に私の日常とクルーズ船は関わりがなかった。
- 17.所得が高い人や、仕事を終えて生活が一段落した年配の人達が参加するような限られた人だけが参加できるイメージ。船内は常にシャンデリアや高貴な雰囲気キラキラしていて生活感がある服では部屋の外に出ることができない。船の上だからエンタメは何もない、あったとしてもすべて人で混んでいそうだから、移動時間は暇そう。
- 18.クルーズといえば、テレビやニュースでしか見たことの無いお金持ちだけが乗り、優雅に満喫しているようなイメージを持つものだった。日本近海で就航している印象はなく主にヨーロッパ地域での運航を想像していた。また、クルーズを運営する側も富裕層にターゲットを絞っているものだと思っていた。
- 19.退職された65歳以上の方や資金的に余裕がある方が多く乗船し、船内ア

クティビティも若年層向けのもは少なく、落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと時間を過ごすイメージがある。また、船内でのドレスコードもしっかりと決まっています、かなり身だしなみに厳しいイメージがあり、若者にとって逆に気を使いすぎてしまう環境なのではないかと思われる。

- 20.退職後の「おじいさん」や「おばあさん」が有意義に時間とお金を使う場所。若い人や学生は比較的少ない。家族で乗るにしても、お金持ちの家族やどこか有名な富豪が乗るイメージ。売っている物も高く、お土産も庶民が手を出しにくいものが多い。
- 21.クルーズは、正直お年寄りやお金持ちが乗船するイメージである。「退職後の夢」というイメージがあり、学生の私には程遠いもので、手が出しづらいものだと感じる。また、船の中で暇を持て余しそうなイメージや、船酔いも心配だ。しかし、1回の旅行で様々なところを回れるところは魅力であると感じる。
- 22.概要を知る前は、学生にはちょっと早すぎる経験なのではないかと感じました。メディアなどでもよく“豪華”クルーズ船と表記されていることが多く、社会人に比べてお金のない学生にとってはあまりにもファンシーすぎる旅行方法で正直近づき難かった印象でした。
- 23.乗船する前のクルーズのイメージとしては「富裕層だけが乗ることのできるもの」というイメージが強くあった。超豪華クルーズ船特有の複雑なルールやマナーがあると考えていた。そこが大きな障壁としてあった。また、インターネット環境が有料という点も乗船を考える際に大きなネックとなった。現在大学生の多くはレポートやタスク、連絡をネットを通して行うことが多い。このため、若者にとって必要不可欠なツールと言っても過言ではない、インターネットが船上で使えない(有料)というネックは大きいものがあった。
- 24.クルーズ船はご年配の方が乗るイメージがあった。ご年配の方が老後を楽しむための一つの手段だと思っていた。また、ダイヤモンドプリンセス号でコロナが発生したこともあり、あまりよい印象は無かった。若者が楽しむことが出来るのかという事も少し不安ではあった。
- 25.大型客船は「街がまるごとひとつ動く」というイメージ。海上移動は時間がかかり退屈しそう。ニッチでマイナーな旅行形態であり、飛行機・自動車などの移動手段に比べれば選択される確率は低い。新型コロナ初期にクラスターを発生させて一躍脚光を浴びた。
- 26.クルーズ船のイメージとしては、若い人があんまり乗らない且つ少し堅苦しいイメージであった。だけどいろんな港に寄りながら、船の中でも楽しめる

もの。また地中海やカリブ海、世界一周など日数を要する船旅が基本だと思っていた。

27. 私の祖父母が旅行好きでクルーズに行った話を聞いたことがあった。その時とても楽しそうなエピソードをたくさん聞いたことから、クルーズはとても楽しそうなものという印象があった。豪華で海外の人、高齢の方々がたくさん乗客としているイメージだった。
28. 大きな船の中にプールやレストラン、カジノなど多くのアミューズメントがありとにかく豪華なイメージがあった。また、乗客は長期休暇を取りやすい高齢の方が多く、若者は少ないというイメージもあった。そのため、高齢の方に合わせたイベントやアミューズメントが多いのではないかと思っていた。
29. 申し込む前のイメージは、大きな船なんだろうくらいにしか思っていませんでした。宿泊できる大型のフェリーのようなイメージです。また、日本語が通じるものだと思っていました。移動しながら（飛行機や新幹線よりもよりくつろぎながら）体を休めることができるという様に考えていました。
30. クルーズというイメージが湧かなかったことや英語が全く話せないので乗船スタッフと会話ができるかが不安だった。期間が長く仲の良い友達と行くわけではないのでどのような旅になるか想像できなかった。札幌大学だけゼミでの参加ではなかった為周りとの目的や考えが違うのか浮いてしまわないかと不安であった。クルーズ自体高級で高齢の方や芸能人が乗るという一般人にははなれたイメージがあった。
31. 概要を知る前は、クルーズ内でなにをするか想像ができなかった。金持ちのイベントだと思った。私は船酔いするので、クルーズに行こうとは思ったことがない。
32. 概要を知る前は、クルーズ内でなにをするか想像ができなかった。おじいちゃんおばあちゃん向けのコンテンツだと思っていた。富裕層向けのコンテンツだと考えていた。七日間は長いと考えていた。みんなは何目的で乗るのだろうと考えていた。贅沢品で学生の私たちには身に余ると思った。

クルーズの概要を知ったときの感想および参加を決定した理由

1. 概要を知るまでは、クルーズは優雅な物であるというイメージはあった一方で、あくまでも移動手段に過ぎないという認識をしていました。ただ、お話を伺う中でクルーズは単なる移動手段で無く、それ自体が目的となるほど船

内のアクティビティが充実していると知り、是非参加してみたいと感じて申し込みました。

2. 寄港地や船内の様子を知った時は、自分がこれに乗れるのかと期待が非常に高まった。船内で1週間を過ごした経験がないこと、ラグジュアリーな空間が初めてだったなどが主な理由である。参加を決定した理由は、単純であり、まだ未体験であったクルーズを体験してみたかったこと、寄港地に海外が含まれており行ってみたい気持ちが高まったことが挙げられる。
3. ゼミに入った時点でいつかクルーズに乗れるのを楽しみにしていたので、コロナが明けてやっと乗れる喜びが大きかった。思ったよりゼミ生、特に同期が参加しなかったのが少しだけ迷ったが、乗らなかつたら後悔するだろうと思ひ、参加を決めた。また、韓国へ行ったことがなかったのが、済州に行けるといふのが非常に魅力的だった。
4. 元々クルーズに行ってみようという気持ちから赤井ゼミを志望していたので、即決した(さらに前段階は、楽しそう、未知の世界ゴージャスそうな世界に踏み入ってみたい!という気持ちです)。あとは、同期が来てくれたらいいなと思っていた程度です。最終的には減りましたが、友達がいるということは確定していたので、一緒に楽しめる人がいるという点は後押しになりました。
5. 普通の大学生活では経験できない内容だと感じた。遊びだけなら授業もあるので少し迷ったが、今回はクルーズアカデミーということで他大学の学生との交流やグループワークがあり、将来家族やパートナーと参加するだけでは得られない経験値を得られると思ひ、参加を決定した。赤井先生を含め引率して頂いた先生方はクルーズに精通しているのが初めてのクルーズでも安心して参加することができるのも参加決定要因の一つだ。
6. クルーズ船には乗ったこともないし、知識も何もない。しかし、先生の紹介でクルーズ旅行の話が出てきたとき、自分たちでも乗ることはできるんだと初めて知る機会であった。最初は行くつもりはなかったが、赤井先生のお話で行くことにしている。
7. 船内のきらびやかな施設や食事など、高級感があり、少し気にはなるが、乗ってみたいと思うほどには魅力的でない。寄港地も済州島は少し気になるが、広島・鹿児島は特にぱっとせず魅力を感じない。だが、クルーズに行く機会はそう無いだろうし、しかも今回は日本で最大規模のクルーズである。友人が行くというので、せっかくなので参加してみようと思つた。
8. とても楽しそうで行きたいと思つた。参加を決定したのは、クルーズ船内の

いろいろな充実したサービス（プール、ジム、食事など）体験してみたいと感じたから。また、英語で外国の方と話せるときいてそれにも魅力を感じた。海外に今まで行ったことがなかったので行ってみたいと思った。

9. 将来働きだしたら一週間の休みを取ることが難しいだろうから、学生の間クルーズを経験させてもらえる機会があるのなら参加しておこうと思う。クルーズ船の中はプールやウォータースライダー、カジノ、ジムなどがあり、複合型総合リゾート施設みたいで一週間でもおそらく短いぐらいに感じてしまうだろうと思う。また、たくさんの場所を訪れることができるというのは贅沢な旅だと思う。
10. 船の中にたくさんのアクティビティがあり船に乗っている間も楽しめそう。アクティビティの種類もご年配の方向けだけでなく、若者や子供に向けたもの等色々用意してある。クルーズ船に乗るチャンスはなかなかないと思うので時間に余裕がある学生の間を経験してみたいと思ったので参加を決定した。
11. クルーズの概要説明で船内の雰囲気を見てからずっと胸が高鳴っている。概要を知る前の不安要素は頭から消え去り、それよりも期待が膨らみ続けている。船の大きさの説明もあったが、それは写真を見ても、長さや重さなどの数字を示されても、マンションなどの比較対象がなかったため、想像はつきにくかった。しかし、船内に関しては、写真や動画だけで圧倒された。例えば、船内の施設の充実さに圧倒された。本当にこれが船の中の様子なのか、これだけの施設が船内に入るのか、私がこの船に乗っても良いのか、といった現実と夢の境目にいるような感覚になった。これだけ施設が充実していれば、天気が悪くても暇な時間はないだろう、むしろクルーズ船を堪能するために一週間で足りるのだろうか、と想像が膨らみ続けた。ゼミの仲間とこの感情を共有しないと自分だけでは抱えきれないほどにワクワクした。これからの人生できっと乗ることはできないだろうと思わされるとともに、だからこそ参加したいと感じた。楽しいことはもちろん、必ず得られるものはたくさんあるため、たくさん吸収しようと感じた。
12. 船のサイズが大きいので船酔いをしないと聞き、とても安心した。食事は思いのほか豪華で、朝昼はビュッフェで多種類の食事を楽しむことができ、夜はコースディナーでリッチな食事ができ、普段は食べることのない食事を楽しむことができそうだという期待が変わった。船内アクティビティに関しては、若者が十分に楽しむことができそうなものが多く、期待になった。
13. クルーズの概要を知った時、こんなにもいろいろな場所にたった1週間で行けるなんて夢みたいだと思った。コロナ禍になってから海外に行く機会が無

くなったので今回チェジュ島に行けるということで、それがとても楽しみだった。そしてゼミのみんなと一緒にいけるのも魅力的だと感じた。

- 14.クルーズ船の設備に設備の充実さに驚いた。特に、プールとジムが設置されていることに興味を持ち、とても体験してみたいと感じていた。また、カジノやショーなど、まだ体験したことがないアクティビティもあり、魅力的に感じた。また、最近海外に行ってみたいと思っていて、下船地の一つにチェジュ島があり、これらの理由からとても楽しそうだと感じた。また、1週間もの時間が取れるのは、この機会しかないかもしれないと考え、参加することを決めた。
- 15.クルーズの概要を知り、スワロフスキーの階段やカジノ、ジムやウォータースライダーやショーなどを動画で見て想像していた以上に豪華だと感じる。船内でのドレスコードについての不安が大きい。海外の船なので食事が口に合うかも不安である。参加の決定理由は、このような機会はめったにないと思ひ、話を聞いたときから絶対に行く決めていた。
- 16.私の場合は橋本先生のゼミに入るときにこういう経験ができるということであらかじめ聞いてたので、その時からワクワクしていたがその時はコロナがまだ流行っていて実現するのかが不安だった。この話をいただいた時は即決で行くことを決めすぐ家族にこういうことがあるということをした。閉塞感しか感じていなかった大学生活に光が差し込んだようでとても嬉しかったことを覚えている。
- 17.クルーズ船へのイメージとは異なり、スライダー、ジム、カジノなどのアミューズメント施設が多くて移動時間も楽しそう。社会人として働き始めたらまとまった休みが取れなくなって、クルーズに乗船することはほぼ不可能に近くなりそうだから、時間に余裕がある学生のうちにクルーズに乗船してみたいと考えたから。
- 18.クルーズの概要について知った時から、人生でこれから1度体験できるかもわからない機会に学生のうちから巡りあえたのだから、参加する以外の選択肢は自分の中ではなかった。上でも書いたようにクルーズには富裕層のみが乗るものという先入観があった私にとって、その考えは私がクルーズにのることを決意するダメ押しになった。
- 19.クルージング中の各スマート・クルーズ・アカデミーのアクティビティが、私が所属する国際関係学部では学ぶことのない分野で、新しい分野を知る良い機会となると考えたからである。また、船内アクティビティにおいても、若者向けの楽しめる内容も多く、将来的に両親と私自身の家族を連れて行く

ために、船内の様子を知る良い機会だと考えた。

20. なかなか生きている中で経験できない体験だから、今の、学生のうちに経験しておくべきだなと思ったのが第一印象だ。また、今回は他の大学の学生も来ると聞いていたので、他の大学の学生と交流したことが、これまであまりなかったために、交流したいと思った。
21. 一度は行ってみたい、乗ってみたいと思っていたクルーズで、学生旅行として初めて行くにはハードルが高かったが、多くの学生たちや、先生方、自治体の方々と一緒にできるのは、その不安が和らぐと思う。また、クルーズを通してたくさんの方々と関わることができるのは、一石二鳥だと感じた。
22. 概要を知った時も正直まだ「豪華」のイメージが強く、私たちが乗り込むことに引け目を感じました。しかし、船内の設備やイベントがかなり整っていることを知り、期待が膨らみました。参加を決定した理由は、地域復興（観光）に少し興味があったことと、学生のうちに普通の学生がやらなそうなことをやってみたかったからです。
23. クルーズの概要を伝えられた時の正直な感想としては、とてもワクワクした印象だった。20代前半という若さではありえないような非日常体験をすることができるのは、今後の長い人生の中でも大きな価値を持つと考える。このため、費用と日数を抜きにして考えたら決断は早かった。一方で私は大学4年生ということもあり、就職活動をまだ続けていたタイミングだった。そういう意味で①アルバイトがあまりできていないことによる費用面の問題②就職活動中のこの時期に全力でクルーズ旅を楽しめるのか？という問題③9日間就職活動ができないことへの問題がありました。しかし、クルーズに乗ることが逆にいい効果を与えたと考える。それは、ゼミの仲間の協力とクルーズを楽しむために就活のギアをあげることができたからだ。イメージはこの段階ではあまり変わらなかった。
24. クルーズの概要を知った時の感想は、先生に船内の動画を見せてもらっても魅力を感じた。若者でも楽しむことが出来ると思った。参加を決定した理由は、若いうちにクルーズを体験したいという事と、ゼミの仲間、先生と最高の思い出を作りたくて参加した。
25. 概要を知った時の感想は、アカデミーな要素が多く、完全に遊びに振り切っているわけではないと感じた。参加の理由としては以下2点だ。1. ゼミ活動が始まって以来、先生と一緒に行動できる最初の機会である。2. 大学でも特に仲のいい友人たちと参加するから。
26. 概要を知った時は、日本クルーズも行っていて、学生でも参加できるものな

んだという印象であった。しかし YouTube の動画を見せられた時、迷うことなく即決で行くことを決めた。自分から参加しようとは思わないので、これを機に、クルーズ船というものを経験してみたかった。

27. 自分自身が思っていたよりもクルーズ船内に様々な設備があり、特にジムやカジノがあることに驚いた。元々クルーズ船に乗ってみたいと思っていたこともあったが、それ以上に船内設備を見て、海外のカジノやミュージカルいろいろな文化に触れてみたいと興味を持ち、参加を決めた。

28. クルーズ船の豪華さを知り、是非参加したいと思った。また、「大学生でクルーズ船に乗船できる機会は今回を逃したらもうないかもしれない」「社会人になって 9 日間も休暇をとることは難しくなるだろうから時間のある今のうちに経験できることはしておきたい」という思いから参加を決定した。

29. 学校の先生からクルーズについての説明で、パスポートが必要なこと、日本語ではなく主に英語で会話をすることを知り「船の中は日本とは違う国の世界」なんだという認識に変わりました。また、体を休めながら移動するイメージから、プールやカジノ、イベントがたくさんあることを知り移動しながら楽しめるんだという認識に変わりました。認識が変わったことにより、非日常を感じることへのワクワクがあり参加を決めました。

30. 人が多いとも思った。参加は元々自分の中で決まっていたが、何より新しい試み、今しか長期の休みを使ってこんな旅体験ができないと思った。思ったよりも大学生の参加が多く共通の仲間がいることで助け合える環境かもと思い英語力 0 でも尚且つ行く気になり決定できた。概要を聞いて意外と船内の自由時間は少ないのだと思いました。

31. 概要を知った時の感想は、ただ交流や自分の中の常識という点で世界が広がりそうと感じた。参加を決定した理由については、クルーズに乗ったことがないから、素晴らしい経験になるはず。あと学校からの補助があるから。

32. 概要を知った時の感想は、やはり敷居が高そうで学生には身に余ると感じた。(施設やアクティビティなど)。ただ交流や自分の中の常識という点で世界が広がりそうと感じた。参加を決定した理由については、他大学との交流がある点、アカデミックなクルーズであること、学校から補助が出ることなどが決定打になった。

申し込み後、乗船日前夜に考えたこと

1. 自分にとって安くは無理乗船料を支払った分、そのコストに見合うだけの楽

しみや体験を経験できるかが不安でした。また、荷造りに思ったより時間がかかったため、忘れ物は無いか、韓国という外国での生活はどうか等の不安もありました。一方、シンプルに楽しみという期待もありました。

2. 自分自身が、旅行の前日には荷物の準備や当日の動きなどにおいてネガティブに考えてしまう癖があるため、乗船前夜はパッキングをしつつ1週間自分が全力で楽しめるか不安に感じていた。とはいえ、1週間船上で寝泊まりするという人生で初めての経験に対する期待も大きくあり、不安と期待の狭間で様々なことを考え、なかなか寝付けなかった。
3. 初めての経験なので、何を持っていけばいいか、忘れ物はないか、などパッキングに必死だった。このクルーズを楽しみに先月1か月間アルバイトを頑張っていたので、「いよいよ明日か」と非常にワクワクした気持ちでいた。不安はほとんどなく、初めてのクルーズ旅に期待する気持ちが大きかった。
4. 足りないものはないか、、という不安が大きかったです。タオルやドライヤーは、あると言われているものの、やっぱり違った、ありませんとなると大変だな～、という不安がありました。加えて、スマート特有のことで、他の大学生たちと仲良く話せるかも少し不安でした。その一方で、とにかく現物をみたい、どんな世界なんだという好奇心でじわじわと気持ちが盛り上がってきていました。
5. 船の中での追加オプションはかなりコストがかかるので常備薬や服など忘れ物がないかずっと心配だった。チェジュで阪大生は自由行動を選択したのでどこに行こうとか、どのような交通機関を使おうかといったことは考えていた。幸いにも頼れる先輩たちがいたので準備もクルーズ中のイベントもスムーズに進んだのでほっとしている。
6. クルーズ船に乗ることになって、自分なりに調べたので、事前の説明会の内容はだいたい把握している。とりあえず全て初めてのことなのでとても楽しみである。乗ったことない乗り物に乗ることは最近は無くなってきたが、いつになっても初めてはワクワクするものだ。
7. 申し込み後は特に期待や不安などは感じない。周囲は自分に、楽しみだろう、とたずねてくるが、自分はそのままで高揚感はない。乗船直前にも、明日からクルーズに乗るという実感はない。荷造りをするにあたって、どのような荷物が必要なのか、どこまでの量の荷物を持っていけば十分なのかに関してのみ不安。
8. 不安はあまりなかった。唯一コロナだけが少し心配だった。1週間も旅するし、電波もあまり繋がらないことは少し不安を感じていた。さきに乗車してい

る方の写真などを見てとても楽しみで期待を膨らませていた。また、毎日コース料理ときいて食事とても楽しみにしていた。

9. 大きな船とはいえ絶対に揺れるだろうし、すぐに乗り物酔いをしてしまう自分からすると、一週間で船の揺れに耐えるのはなかなか大変そうだなと思う。ただ、船の中ではきっと地上では感じるできない感動などがあるはずだから、極力寝込んでしまわないように酔い止め飲んで全力で施設を楽しもうと思う。さらに今回のクルーズでは、自治体の人と港の学習もできるということだから、少し自分なりに予習して挑もうと思う。
10. 服を何着用意すればよいのか（ホワイトやフラワーなどテーマがあったとき、自分が持ってなかったら楽しめないのではないかな）他大学の学生は大体が4回生で学年が上なので、仲良くなることができるのか、英語を十分に理解することができるのか、不安がある。今回で十分満足できるだろうから、今回が初めて最後のクルーズ船になると思う。アクティビティを十分に満喫する。海外に行くこと自体初めてなので、日本とどんなところが違うのか楽しみだ。
11. いよいよ乗船するののかという緊張感と、どのような一週間になって何を持ち帰れるのかという楽しみや高揚感がある。一方で、個人的には普段と違った環境に敏感であるため、熟睡できるのか、ゼミの仲間と同室でストレスが溜まらないか、逆にストレスを与えてしまわないか、胃腸の調子が悪くなって改善しなかったらどうしよう、水や食べ物は体に合うのか等、船の生活に体が適応してくれるのかという不安要素を拭えないまま前夜を過ごした。また、パッキングが間に合うのか、忘れ物はないか、という焦りは多少あった。
12. 客室に備わっているものについて公式で記載されているものを見つけることができず、持ち物をどこまで持って行くべきか迷っていた。また、横浜から乗船していた方から、悪天候により船がかなり揺れていると聞いていたので、船酔いの心配もした。しかし、不安よりも船内アクティビティや寄港地での観光など、期待や楽しみに思う気持ちが大きかった。
13. まずは本当に船に乗れるのかという心配があった。パスポート申請や提出書類など期限のせまったものがたくさんあり、一つでも遅れてしまったら船に乗れなくなってしまう不安があった。ただ、それ以上に船の中ではどんな事ができるのだろうか、寄港地に着いたら何をしようとかクルーズ全体への期待であふれていた。
14. クルーズ船の設備に設備の充実さに驚いた。特に、プールとジムが設置されていることに興味を持ち、とても体験してみたいと感じていた。また、カジ

ノやショーなど、まだ体験したことがないアクティビティもあり、魅力的に感じた。また、最近海外に行ってみたいと思っていて、下船地の一つにチェジュ島があり、これらの理由からとても楽しそうだと感じた。また、1週間もの時間が取れるのは、この機会しかないかもしれないと考え、参加することを決めた。

15. 忘れ物がないかが最も不安な点である。持ち物をチェックしたが、最終的には、パスポートと乗船券と財布があればなんとかなると考える。また、船酔いはしないかも不安である。乗船日前日は偶然大学の授業がないので、クルーズ船の準備をしっかりとできて良かったと思う。不安な点もあるが、1週間非日常を味わえるということで楽しみ、期待が大きい。
16. 期待がほとんどだった。次の日から自分はどんな生活をするのかを想像するのが楽しくて前夜は全く寝られなかった。唯一の不安は持ちものだった。一週間前からキャリーケースを部屋に開け何がいるのかゼミ仲間と相談しながらパッキングを行っていたが、どれだけ入れても何か入れ忘れてる気がして家を出るまでとても不安だった。
17. パスポートや乗船券などに不備や日用品の忘れ物がないか、船の揺れはひどいか、天候がニュースでは良くなかったので天候は良くなるかが不安だった。船の上のエンタメ、船内施設がどれくらいの規模感で、クルーズ船はどのようなものなのか、今まで行ったことのないチェジュ島や鹿児島はどんな町なのか期待していた。
18. 大きく三つあり、一つはコミュニケーションについて。乗船時はすべて英語でのやり取りと聞いていたため、うまくいくかが不安だった。次に、クルーズに初めて乗る私たちにとっては、ネットで調べながらの手探り状態で準備した荷物に過不足はないのかが心配だった。最後に、何度も書いているように富裕層のみが利用するイメージのあるクルーズ船でどれほどの現金が必要となるのかが不安だった。
19. 期待としては、クルージングという私自身の夢の一つを叶えることができるという点である。今回参加を決めるまでは、退職後の夢としていたが、大学生で夢を叶えることに喜びを感じた。不安としては、長時間洋上で過ごした経験がなく、洋上生活に慣れることができるか不安だった。また、テーブルマナーなど、普段の生活では意識することがない部分にも不安を感じていた。
20. 船で海外に行ったことがなかったため、飛行機で行くのとはどう違うのかが気になった。特にクルーズ船での生活において心配事はなかったが、当日の朝きちんと起きることができ、無事に船に乗ることができるのかは心配事であ

はあった。

21. 神戸乗船だったため、横浜から出航したというニュースを見て、「明日にはこれに乗るんだ」というワクワクがあった。最大級の船ということを知り、さらに期待が高まった。その一方で、忘れ物はないか、大荷物を持ちながら京都から神戸に移動は大丈夫かななどの不安もあった。
22. 期待に関しては、船内もそうですが船で海外に行くことに関してかなり楽しみにしていました。しかし一方で、他大学の人と馴染むことができるかや、台風の時期なので高波による船酔いや事故の可能性に関しての不安も正直ありました。
23. 乗船日前夜は期待と不安が 50:50 の状態だった。期待という意味では最高の仲間（ゼミ生）と日本で最大級の船に乗って、これまでには経験したことがない経験ができることに対する期待が大きくありました。逆に不安としては初めての経験だったため、何もできないまま 9 日間が終わってしまうこと、日本語が通じないことで本当の意味で楽しむことができないこと等の不安がありました。
24. 乗船日前夜は楽しみで仕方がなかった。人生初のクルーズ船という事もあり早く乗りたくて前夜はずっとそわそわして眠れなかった。不安だったことは荷物である。フォーマルな衣装やドレスコードが本当に場に合っているのか不安だった。
25. 忘れ物をしないこと。船内への持ち込みが禁止されているものが多いので、資料を読み込む。言語の心配があるため、韓国語の簡単な挨拶や役立つフレーズをまとめる。いままで体験したことのない旅の形態なので期待が大きい。横浜から一緒に乗船する社会人 2 名の人柄が気になる。
26. 乗船前夜は楽しみという気持ちが強かった。期待している部分としては、海外の人とコミュニケーションを取りながら送る生活に期待を抱いている。英語の勉強をしているので、自分の英語力を試す良い機会になればよいなど思っている。不安な部分としては他大学との交流である。事前に班で集まったミーティングでは、あまり雰囲気良く行えなかったため、乗船後巻き返したい。2 日間早く乗る分、自分たちにしかできない楽しみ方で思う存分満喫する意気込みです。
27. 乗船日前夜には、不安なことが二つあった。一つ目は海外船ということもあったことから言語の壁に不安があった。英語が苦手だったことから、とても不安だった。もう一つは、飽きが来ないかという不安である。9 日間同じ船にいることでやる事がなくなることはないのか、暇にならないのかがとても

不安だった。

28. 横浜から乗船する人の中で女性が一人しかいなかったことや同じ部屋の人が一度もあったことが無い他大学の人であったことが不安であった。一方で、たくさんの人と交流できることが楽しみでもあった。また、乗船日前日は、これまでに 8 泊もしたことが無かったので持っていく服や靴は足りるか、変圧器は必要だろうか、洗濯機が無いので一度来た水着はどうしようか、など持ち物に関する心配も大きかった。
29. 申込後の乗船前夜は、船に入る際の手続きが自分 1 人でちゃんとできるか不安でした。また出航後の船酔いの度合いも想像できなかつたので過剰に酔い止めの薬を持ち込んでいきました。期待していたことは、どれほどの大きさの船なんだろうと実際にクルーズ船を目の前にするまで楽しみにしていました。
30. まず同室の方が初めてお会いする方だったので仲良くなれるか受け入れてもらえるかの不安があった。英語が話せないので乗船するとき会話が少しでもできるのか不安だった。長い旅は初めてに加え初めてのクルーズなので持っていくものや、使えるもの限られているものが未知な部分もあったので心配だった。新しい体験で期待は大きかった。
31. このような大きな国際クルーズに行くのは初めてで、いろいろな国の人たちと英語で話すのをとても楽しみにしていた。
32. 申し込み後、乗船日前夜。人生初の海外とクルーズの経験にわくわく感と忘れ物がないかの不安が大きかった。特に電子機器はぼくにとってのライフラインでありながら持ち込めないものもあると聞き、またかなりの荷物になるので試行錯誤した。服装についてはなんとかなるだろうと考えていた。

乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想

(規模・スケールなど)

1. 想像以上に大きいと感じました。集合場所をあまりきちんと確認せず、とりあえず神戸のポートターミナル駅に着いてからなんとかしようと考えていたところ、駅の隣にあまりにも巨大な船が鎮座していて、一瞬でそれだと分かりました。これまで乗ったフェリーとは桁違いに大きく、度肝を抜かれました。
2. 想像以上に船が大きく、一つのマンションが動いているようであった。これまで船に乗った経験が国内を移動するフェリーだけであったため、大きさのギャップについては特に大きかった。それと同時に、自身が 1 週間この船の

中で生活することに対して、非常に楽しみな気持ちが沸き起こり、クルーズ旅行に対する期待が最大に高まった。

3. 今まで乗っていた国内フェリーと比べ物にならないくらいサイズが違って圧倒された。外から見ても船内に様々なものが盛り込まれているのが分かり、今からこれに乗るのか、とさらに期待が膨らんだ。私はタイタニックの映画が好きなので、タイタニックで見た通りのザ・豪華客船だと感じた。
4. 測りきれん!と思いました。神戸で見たときは、ほぼゼロ距離から見たので、大きいのかどうかも分からんという気持ちでした。色々なところを見ながら、MSC のロゴや、ウォータースライダーの少しの部分などを見て、かっこいい、厳かであると感じました。また、多くの人が写真をとっていて、いいな〜等喋っていて、自分は今からこれに乗るんだぞという誇りも感じました。
5. 率直にいうと一艘の船だとは到底考えられない。巨大マンションが神戸港に建ったのかなと感じるほど大きくてこれがまさか海の上に浮いているとは想像がつかない。私自身がこの船で 1 週間旅をするのも信じられないし、なにより多くの人がターミナルまで見学に来ていてその重大さ、人をひきつける凄さにも気づいた。まだ動画で見たほどの高級感が見た目だけでは伝わってこなかったので中に入るのもとても楽しみになった。
6. 三宮駅からポートライナーでポートターミナル駅まで行ったときは、遠くからだんだん近づいていったので、船が大きいなという感覚はあまりない。しかし、駅を降りて、港の建物を抜けて、乗船直前の船が目の前に来たときはカメラに収まりきれないくらい大きくて、流石に大きいなと感じている。
7. 大きい。予想していたよりも大きい。ポートライナーで港に近づき、窓から見ると、これから自分がこの船に乗るのだという実感が少しずつ湧き始め、高揚してくる。ポートライナーの中でほかの乗客が船の写真を撮っているのを横目に、自分はあの船に乗るのだぞ、という優越感も少し感じる。
8. 思ったよりもめちゃめちゃ大きくてびっくりした。マンションのように窓がズラッと並んでいて規模の大きさを感じた。あんなにデカくて重そうな大きい船が海に浮かんでいるのがとても不思議だと感じた。早く中に入って探検したいという期待が膨らんだ。
9. ポートライナーの中から船が見えるが、どれが船か分からない。自分が今見ているものは船なのか、それとも高級リゾートホテルなのか。遠くから見ると、どこからどう見ても船にはまるで見えないほどの建物だ。駅について税関を通過して船の目の前まで来た時に、その建物が船であることがようやくわかった。近くに行くと首を限界まで上に曲げないと船のてっぺんが見えないほど

に大きく立派な様相であった。

10. 想像の何倍も大きいなと思った。とても大きく重たそうなのに沈まないのが不思議だなと思った。外から見える部屋だけでも多いのに、内側にも反対側にも部屋があると思うと、たくさんの人が乗れるのだと思った。緊急用のボートも大きいと思ったが、船に乗っている客とクルーが全員乗れるのかと不安になった。下から船を見ると、スライダーの一部がはみ出ているように見えて、危ないのではないかと思った。船自体が大きいので、一週間乗っていても、部屋の位置を覚えられないと思ったので、1 人行動はしないようにしようと思った。
11. クルーズ船を初めて目にしたのはポートライナーに電車に乗っていた時である。ポートターミナル駅に近づくにつれて見えたクルーズ船は私の想像を遥かに越えていた。とにかく大きくて驚いた。同じ電車に乗っていたゼミの仲間とは「すごい」「大きい」を連呼していた。まるでビルが出現したかのようなスケールで、これが大海を運航することは信じ難かった。大海原に出現した巨大な船が周りからはどのように映るのだろうかなど、まだ乗船してもいないのに先のことを想像してしまった。
12. 一見、高層マンションのように見える大型客船で、海の上に浮いていることに違和感を覚えた。遠くから見ても、屋上にあるプールやジムなどが見えて、期待が更に増した。備え付けのオレンジのボートも大きく、数も多く設置されていたので、沈没しても大丈夫だという安全面でも安心した。
13. 電車で乗り場に向かう時に初めてクルーズ客船が見えた。見た目はマンションとショッピングモールが合体したようで、カメラに収まりきらない大きさにとにかく圧倒された。スライダーが屋上についているのが見えてわくわくが増した。船の真ん中部分にあるレストランは窓から船の中が見えてゴージャスな雰囲気を感じた。
14. クルーズ船を初めて見た時、その大きさに圧倒した。近くで写真を撮ろうとした時に、クルーズ船が大きすぎて、写真に収まらなかったのが印象に残っている。これから乗るクルーズ船に、これまで楽しみにしていたプールやジム、レストランなど、たくさんの施設が備えられていると、ますます楽しみになった。
15. 神戸のポートライナーでターミナルに向かっている最中に、ビルだと思っていたものが、私たちが乗船するクルーズ船だ。大きさと迫りに圧倒された。乗船する直前に船全体の写真を撮ろうと思ったが、スマホのカメラでは全く収まらず、動画を撮る。こんなに大きい物体が海の上に浮いていることがす

ごいと思うし、不思議だと感じ、どのように浮いているのか気になる。

16. 以前にポートアイランドに行った際にダイヤモンドプリンセスを見たことがありその大きさをある程度理解していた。しかしそれよりも大きいと聞きとてもわくわくしていたが、私たちが乗る前日にLINEグループに写真が送られてきてとてもわくわくしていたのに少し失望したことを覚えている。私が船を見つけたのはポートライナーに乗っている途中で見つけた瞬間とても興奮した。今からこれに乗るのかと想像しただけで口角が自然と上がっていて一緒に乗っていたゼミ仲間と驚きを共有しあったこと覚えている。
17. 電車に乗ってポートアイランド駅に近づいてクルーズ船が見えたとき、写真の画角に入れたときの写真に写らないクルーズ船の想像以上の大きさ、高さに驚いた。前回モニタークルーズに参加したときの船もかなり大きくて、その船の規模感や船内の設備に感動したばかりだったのに、その時の船より大きくてさらに感動した。
18. 事前にテレビやネットで確認していたものの、実際に目の前にするとそこらの施設やホテルに比べても圧倒的に大きい。船というよりは、海底に建てられた巨大建造物といったイメージだ。これほどのものを接岸させるための港は、知識がないながらもそうそうないと思われるし、船の中はまるで迷路のようになっているのではないだろうか。「わくわく」が止まらない思いだ。
19. あまりの大きさに正直かなり驚いた。テレビや写真では、クルーズ客船を見ていたものの、実物を目にしたときには改めて、その大きさに圧倒されるとともに、このクルーズ客船に乗船することへの期待が一気に増した。また。今回の乗船がクルーズ客船での初めての旅であるが、他のクルーズ客船がどのような大きさや見た目であるのか、見比べたいと感じた。
20. 想像以上の大きさ。海の上に超高層ホテルがそのまま立っている感じ。自分が今からこれに乗るのかという期待でいっぱい気持ち。1週間後、クルーズの旅を終えた自分はどんな気持ちで陸に降りるのか楽しみ。
21. 想像以上の大きさに驚いた。ホテルやマンションなどの建物が海に浮いている感じだった。神戸のポートライナーに乗っている時に、プールのウォータースライダーが見えて、本当に、船だとは思えなかった。予想をはるかに超える大きさに驚きながらも、ワクワク感が高まった。
22. 船を見て真っ先に心に浮かんだ言葉は「ホテルやん」でした。建物に見えるくらいかなり大きく、目の前にあるものが船だとはなかなか受け入れることができないくらいの衝撃を覚えました。今まで大きめの船といっても中にレストランなどがあるフェリーが最大だったので、数え切れないほどの客室の

- 窓や上を見た時に少し見えるウォーターライダーなど、胸が高鳴りました。
23. 初めてクルーズ客船を目の前にしたときは、雨で視界が悪く全体像をはっきりとみることはできなかつたですが、「パット見て近くのビルよりも大きかったことや、横浜にある大きなブリッジを通ることができないほどの大きさ」があり、衝撃を受けた。普段、使っている大学のビルやイオン等のショッピングモールよりも大きいクルーズ船であった。これまで見てきたどんな船よりも大きい船で「どうやって作ったのか？どうやって動かすのか？」シンプルに気になった。
24. クルーズ客船が目の前に見えたときはとても大きいと感じた。自分が東京に初めて行ったとき、ずっと上を見て歩いていた頃と同じような感覚だった。また、神戸で下船した際、メリケンパークに行きクルーズ船を見ると一つ新しいビルが神戸に建ったように感じた。それくらい大きかった。
25. とにかく大きい。その巨体ゆえに橋の下をくぐれず、入江から近い橋の手前のところで停泊しているのを見て、その大きさを比較し実感する。ひとつひとつの窓が小さいことから大きさを実感する。ただし想像したよりも高さは無い。
26. 第一印象は見たことない大きさの船で圧倒された。またここまで大きな船に自分が乗ることができる嬉しさが込み上げた。入船の際、船を岸壁で見た時、動くビルだと思った。なぜこんな船が浮いているのか疑問になるくらい圧倒させられる船であった。また岸壁に船を係留するためにロープをつなぐ係船柱に驚いた。ビットが巨大な船を支えていることに感動した。
27. 横浜で乗船した時は大雨が降っていて、外できれいに見ることは出来なかつたが、山下公園からベリッシマまでバスで移動している時、全体像を初めて見て、本当に高層ビルを横に倒したような迫力を感じた。とても興奮した。
28. 雨天だったため乗船前にしっかりとクルーズ客船を見ることができなかつたが、シャトルバスの中から少し見えた時に高さも長さも本当に想像以上で驚いた。それまで、「どれがクルーズ船かな」と友達と話していたが、クルーズ船が見えた瞬間すぐにそれだと分かるくらいの存在感であった。本当に地上のビルが海に浮いているような感じだと思った。
29. 私は、乗船前に神戸に前乗りしており、ホテルから徒歩で港まで向かいました。歩いていると想像以上の大きさの船に驚きました。船が見えてから港に到着するまでは距離的に時間がかかりましたが、近づいていくにつれ船の様子を見にきている地元の方たちがいて、多くの人が足を止め、船の写真を撮っていました。多くの人が足を止め写真を撮るほどの大きな船にこれか

ら乗るんだと考えると気持ちが高まりました。

30. めちゃでかい。これに今から乗るのか。芸能人やん。と思いました。近くで見ると大きいなぐらいだけど出港時や離れてみるとより大きさやこれだけの人が乗っているんだという実感がわいた。流石日本で最大のクルーズ船と言われるだけあると思った。写真で見るのとはやはり違いますね。
31. クルーズ客船が目の前に見えた時、想像以上の大きさだった。これが本当に船なのか、浮かんでいることがすごいとおもった。こんなに大きくある必要があるのかとも思った。七日間で味わい尽くせる気がしないと感じた。
32. クルーズ客船を初めて見たのはポートライナーの中からだだった。電車の中からもこれだけ大きいのだから、実際に乗ったらどんなに広いんだろうと思えた。ディズニーランドに見えた。これに乗る人はさうとうお金と時間に余裕があるのだろうと思った。

乗船直後の感想

(自分のイメージしていた内容と比較した「船内の様子」)

1. 想像以上にクルーに外国人が多いと感じました。クルーズ船に乗った後は外国と同じということ、神戸港でパスポートチェックがあったことで改めて実感しました。クルーはみなフレンドリーでしたが、英語を使う習慣が全く無かったのでしばらくは戸惑いました。
2. クルーズ船のクルーは想像以上に皆フレンドリーで、たとえ自分から話しかけなかったとしても、向こうから話しかけてくれることが多く、部屋の場所も笑顔で教えてくれた。船内のパブリックスペースやショッピングモール、カジノなどを最初に見学したが、予想以上にラグジュアリーな空間であり、若干ではあるが自分の場違い感を感じた。
3. まず船内の雰囲気に関しては、思っていた通りの煌びやかさだった。特にアトリウムやスワロフスキーの階段はキラキラしていてまぶしかった。また、キャビンはもっと簡素な部屋かと思っていたら、普通のビジネスホテル並みの広さ、綺麗さで驚いた。船員さんもホテルのきびきびした接客というよりはリゾート地のフレンドリーな接客だと感じた。
4. 荷物チェックをされる人が、怖かったです。迫力のある強そうな人を置いていて、適材適所だなどと思いました。部屋に行くまでには、親切に声をかけてくれる人が多くて、thank you と5回ぐらい言った記憶があります。6階をみて、これが船内か!と非常に驚きました。イオンぐらい広くて、(映像によっ

て広く見せる工夫もすごくて)感動しました。

5. 船内の様子としては、動画で見るよりも規模感が大きいと感じた。スワロフスキーの階段やショーの会場がもっともギャップがあったように感じる。船員さんたちはもっとフォーマルで、お堅い感じかと思っていたが非常にフレンドリーで学生でも迎え入れられているような感じがして居心地がよかった。職務中も普通に歌ったりしていて自由だな、とも感じた。
6. 入ってきた直後にアトリウムが出てきてとても眩しい。船の中では考えられないほどのプロムナードの天井の高さが驚きである。クルーの人たちは思っていたよりもおもてなしの心があってこれにも驚いている。ベビーカーを3人がかりで運んでいるのを見て、素晴らしいサービスだなと感じている。
7. エレベーターから廊下、部屋、ビュッフェに至るまで、まるで高級ホテルのように感じる。これが本当に船の中なのか、海の上なのかと思うほどに、大規模で、しっかりとしている。施設や船員、乗客のすべてに高級感を感じ、自分のようなお金のない若者がいることが場違いに感じる。
8. 入って初めて見たのがスワロスキーの階段で、キラキラしていて高級感が漂っていて、とても衝撃を受けたしワクワクした。また船内には思っていたよりもクルーの方や乗客など人がたくさんいると感じた。クルーの方は外国人ということもあり、思っていたよりもフランクで接しやすいと感じた。
9. まず手荷物検査を済ませて一番初めに五階のエントランスにやってきた。小さい船には何度か乗ったことはあるが、それと比較してしまうせいか、本当に自分が船の中にいるのか分からないぐらいの立派な内装である。天井も高く、高級ホテルのエントランスにいる様だった。すぐに部屋に向かったが、エレベーターを降りてから自分の部屋までがとても遠く、改めてこの船の大きさを実感した。絶対に一度は迷子になるだろうと思う。
10. 船に乗っている人(他のお客様やクルー)はとてもフレンドリーで、よく話しかけてくれた。特に、他のお客様は私達のような若者がたくさん居るのが不思議なようで、よく話しかけられる。外から見たとおり広くて迷子になると思うので、1人行動はしないようにする。船の中と言うよりも、大きな商業施設の中にいるという感じ。揺れも全く感じない。宿泊する部屋はインターネット上で見ていたイラストよりも広く感じる。アクティビティは船に乗っている間に全て楽しむことはできるのかと心配になるほど多い。日本発着のクルーズだからなのか、日本語で表記されていたり、日本語を話せるクルーがいたり、日本食のコーナーがあったりしたので安心だ。
11. まず驚いたのは、鏡張りの階段に、5つものエレベーターがあることだ。まさ

かエレベーターがこれだけあるとは思っていなかったため、この時点で、まちにある商業施設に入ったのではないかと錯覚してしまった。次に驚かされたのは、5～7階のキラキラとした空間である。写真や動画でも見ていたが、実際に見るスワロフスキーのキラキラとした階段に、グランドピアノに、吹き抜けの空間に圧倒され、暫くその場から動けなかった。吹き抜けであるため、ピアノの響きは綺麗で心地よい音だった。スワロフスキーの階段に関しては「この靴で歩いていいのか？」と躊躇ってしまった。この後、荷物を置きに部屋に向かったが、部屋の数も多く、迷路のようで、自分の部屋を探すのにも一苦労した。部屋に入るドキドキの瞬間、部屋を覗いてみると、案外広くて、大きめのクローゼットがあって、ベッドは気持ちよく、バスタオルはふかふかで、申し分なかった。船内探索をすると、想像以上に長い道や、想像以上に大きなシアターや、1つと言わず3つもあるプールなど、船の中とは思えなかった。乗船直後ではあまり船員さんとは接することがなかったが、船内用のカードとクレジットカードを紐づける作業がうまくいかず、インフォメーションセンターに行ったときは、英語でうまく伝えられるかという心配は必要なく、日本人である私たちを確認した日本人の船員さんが真っ先に声をかけて対応してくださったため助かった。ここで少し安心感を覚えた。

12. スワロフスキーの階段があるメインスペースでは、船内規模の大きさとラグジュアリーさを感じた。また、乗船から1週間のクルーズでの滞在への期待が最高潮になった瞬間でもあった。船員さんはすれ違っただけでも挨拶してくれたため、おもてなしの心を感じ、好印象だった。
13. 乗船して最初に吹き抜けのスワロフスキーの階段の場所に着いた。今まで見たことのない世界だった。自分がこの場にいていいのかという不安も少しあった。自分の部屋を探す際にこの船の広さを体感した。歩いても歩いても同じ景色で気が遠くなりそうだった。でもすれ違うスタッフの方々が Hello! と挨拶してくださり少し元気が出た。
14. 乗船直後すぐに見たのは、キラキラしている階段であった。船内の雰囲気は予想以上に高級感があり、すごいところに来てしまったと思った。船の従業員の方も、笑顔で迎えてくれたのが嬉しかった。また、船内では、ほとんどの従業員が外国国籍であり、英語をうまく話せるか緊張していた。
15. 船内のクルーは外国人が多く、英語でコミュニケーションをとることは乗船前から知っているので、英語で話すことができるか不安である。しかし、乗船直後自分たちのキャビンに向かう途中にすれ違ったクルーが全員フレンドリーで、明るく挨拶してくれるので、すぐに心地よい気持ちになる。乗船直

後にみんなで船内を探検し、ウォーターライダーやスワロフスキーの階段の迫りに衝撃を受ける。

16. 行く前にある程度先生から話は聞いていたが、思ったよりもアジア系の船員が多いなと思った。人種差別的な発言になってしまうかもしれないがもう少し肌の白い人たちがいると思っていたためそこはかなり衝撃を受けたかもしれない。また船に乗った瞬間綺麗なフロアがあることを想像していたが船にの瞬間に荷物検査がありそれに驚いた。そこを抜けると綺麗な階段があってそこでクルーズ船に来たことを確信した。5階に上がると多くの人がいましてそこからはなんとなく自分が想像していたイメージとあってとても興奮した。
17. 船員さんのラフさに驚いた。日本のお店だとあまり話しかけられないし、話しかけられたとしても固い内容だけど、レストランにいて日常会話や食事のことについて気軽に話しかけてくれたり、レストランで歌を歌っていたりして、日本とは違う雰囲気や柔らかさや賑やかさに日本と違うところを感じた。
18. 私が乗船前からイメージしていた通り船内は驚くほどキラキラしていて、はやく船内を探索して色々な施設を見に行きたいという気持ちが抑えられない。乗っている人たちは思っていたよりも若い人や家族連れも多く乗船前のイメージとは少し違っている。船員はみな陽気で、国や文化の違いからなのか、単に陽気な人が雇われているのかは分からないが、こちらもハイな気分になる乗船時の対応が多い。
19. 船内の様子は、テレビや写真で確認していたものより想像以上の豪華さと装飾で、ワクワク感が止まらなかった。クルーの皆様も、明るく丁寧に接してくださり、初めてのクルーズでも安心して楽しむことができると感じた。船内は想像以上に広く、早く全体像を見たいと思い、船内を探検したいと子どもに戻った気分になった。
20. 高級ホテルのような作り。最初に乗船する際、職員さんとの対応に少し緊張したが、皆優しく接してくださり、安心して乗ることができた。施設を見て回っても、どこも無駄にしている空間はなく、「これからこれらの施設を自分たちが見たいんだ」と思うと期待で胸が高鳴った。
21. 非常にラグジュアリーな船内で、また、スタッフの方々がほとんど外国の方であることに驚いた。ショッピングができる通りがあったり、バーやレストランがあったり、スワロフスキーの階段があったり、プールがあったりと、本当にこれらの施設が船の中にあることが信じられなかった。
22. 乗船前のイメージでは、船内で使われる言語はもっと日本語があると思っ

ていました。しかし、意外と日本語を話すことができないスタッフさんも多く、あくまでも「日本に寄港する外国籍の船」なんだなと実感しました。また、スタッフさんも陽気で接しやすかったです。しかし、やはりケチると少し嫌な目で見られることを痛感しました。

23. 乗船直後のことは衝撃的過ぎて下船してから1週間たった今でも鮮明に記憶に蘇る程すごかった。というのも乗船したらまずスワロフスキーの階段に通されるつくりになっているのだが、そこがすでに写真や動画で見ていた船内の状況よりも煌びやかで「非日常」ということばが一番あっている光景だった。中央にはインフォメーションがありそこには日本人のスタッフの方もいて、すごく安心感があった。
24. 自分のイメージしていた印象をはるかに上回った。乗船してみて、パブリックスペースの広さに驚いた。船内は日本語で会話をする事が出来ると思っていたが、船員は英語がメインであったことはイメージと異なった。言語の壁を少し感じた。
25. 乗船後、船内での過ごし方など何の説明もなく、放り出されたため初見の人は困惑すると思う。部屋の場所もクレジットカードの登録方法もわからない。船内は複雑で広大なので、経験者である社会人2名と同乗しなければ何もできず困惑していたと思う。
26. 自分がイメージしていた船内の様子は実際乗った際の印象と大きな差はなかった。海外の船ということでクルーは海外の人が多く、お互いが乗客のように会話して、通りすぎる度必ず笑顔であいさつをしてくれる印象があったが、本当にイメージしていたままの事が目の前で起きていた。
27. パブリックスペースはクルーズ船の概要を先生から見せてもらったときに、きれいそうなスワロフスキーの階段があると聞いてとても楽しみだったが、予想以上に輝いていてきれいだった。クレジットカードの登録等、社会人の方々にとてもお世話になり新鮮な気がして楽しかったのを覚えている。
28. 床や階段がキラキラしていて写真で見た通りの豪華さであった。また、乗船直後から生演奏による音楽が流れていてそこから非日常的な雰囲気を感じられた。船に乗ってすぐに夕食を食べにレストランに向かったが、30分程指定された時間から遅れてしまっていたため、入れなかった。時間に対してはシビアだと感じた。
29. 乗船直後、1人で船に乗り込んだ私は早速道に迷ってしまいましたが、近くにいたスタッフの方が声をかけてくださり、話している英語の意味は全くわかりませんでした。船員さんは皆さんとても優しく、

話しやすかったです。やはり日本で働いている人より、きっちりしていない感じでした。普段あまりみない光景だったので新鮮で良かったです。

30. 船員さんは暖かく迎え入れてくれるが全てが初めての私には緊張と不安でパスポートを渡すときなどドキドキした。何人もの相手をしているにも関わらず気持ちよく明るく挨拶してくれるので乗船しやすかった。意外にも日本語表記が多かった為カードを渡されただけで説明がなくてもすんなりと入れた。一日目に乗船したわけではなかったのが割と船内はもう賑わっていた。
31. 思っていたより豪華で、この規模だと贅沢な感じがした。スタッフの多くはインド系とアフリカ系だったが、みな歓迎ムードでフレンドリーだった。勤務時間が長いためか、ウェイターの顔に疲れが見えることもあった。
32. イメージしていたよりキラキラしていて、スケールと相まってゴージャスさを全身で感じた。乗船する際、インド系のスタッフが多かったように思える。台湾系の人もいたがみんな温厚そうで親しみやすかった。ただ日本人スタッフの少なさから、いよいよ海外に行くのだなという感覚が強まりわくわくした。

避難訓練、(事故・防犯上の)安全対策、感染症対策への感想

1. 避難訓練ですら、紋切り型のものではなく少しでも乗客に当事者意識を持ってもらおうという船社側の意識を感じました。大きなシアターで行われる避難訓練は、通常のものとは一線を画すものであり、たいへん印象に残りました。
2. 避難訓練は一度シアターに集まり、自分の乗船カードに書かれた避難場所番号に移動するというものであり、分かりやすくはあったが若干適当な印象を受けた。事故や防犯上の対策は、プールの監視員など十分になされていたと感じた。感染症対策については、ほとんどないに等しい印象を受けたが、個人的には全く気にならなかった。
3. これだけ大きな船でクルーさんも合わせると沢山の人が乗っているのに、きちんと時間を取って避難訓練を行っており安心した。口頭の説明のみにとどまらず、実際にアルファベット番号ごと避難場所まで行くという形式の避難訓練で良かったと思う。乗客の半分が海外の人だったこともあり、ほぼノーマスク状態で、あまり感染症対策は感じなかった。
4. 避難訓練については強制参加であることに驚きました。訓練の人の動きで、生存率がどれだけ変わるのか気になりました。溺死という死に方は嫌だなと思いつつ、死んだら死んだという気持ちでした。安全対策は、あまり気づ

かなかったです。落ちようと思えば落ちれるものの、景観とのバランスも考えなければいけないので、色々難しそうだと思います。防犯としては、スタッフ側にどれだけ意識があるのか気になりました。お客さん自身の自己防衛を基本としているのか、多数の目があることで盗難を抑止しているのか、どういう教育方針か知りたいです。ただ、お金持ちで余裕あるやつばかりなのかなと思うので、特に心配もしなかったです。

5. 大型の船というとタイタニックであったり、セウォール号事件であったり、ネガティブなイメージが付きまとうことも多少あったが、出航前にかなり大がかりに訓練をしてくださったので安心できた。感染症対策に関しては最低限であったとは思いますが、自分自身も帰宅してすぐ新型コロナウイルスへの感染が判明したが、もうそういうご時世でもないのであまり気にしすぎてはいけなかなとも思っている。
6. 避難訓練はしっかり集まって行われていた。安全対策はこれといって発見できなかったが、そもそも防犯対策をせずとも、ものは取られることはないのではないかと思った。プールに入っているときに、ものが取られることはなかったし、サングラスをパブリックスペースに置き忘れたときも取りに帰ったら、ちゃんとあったので治安はとてもいいと感じた。
7. 避難訓練が行われているとは知らず、安全対策が講じられているのが実感できた。プールのすべてに監視員がいて、注意を行っている所も、安心絵の意識が感じられた。防犯への対策は特に感じられなかった。特に乗船カードにお金を含めすべての情報が入っているので、特にプールに行くときなどに、不安を感じた。感染症対策は特に行われていなかったが、海外のコロナ対策や日本国内での風潮も含めて特に疑問にも心配にも思わなかった。
8. 感染症対策は、あまり徹底されているようには感じなかった。アルコール消毒の方がビュッフェにはいたけど、テーブルや、貸し出し物などの定期的なアルコール除菌などは行われていないように感じた。収束してきたとはいえ少し不安は感じた。避難訓練は、義務付けられていて全員参加しないといけないなど徹底されているのがいいなと感じた。
9. 正直感染対策は万全とは言えない。マスクを着けている人は数えるほどで、食事中もみんな話しまくっている。PCR検査をしたわけでもなく、体温も自己申告制だから、もしコロナの感染者がいたらあっという間に広がってしまうだろうと思う。しかし、今のご時世にそれほど強力な感染対策をしているところは少なく、食事前のアルコール消毒がある程度であるが、時代に則していると思う。避難訓練は船に乗ったこともあるし、飛行機に何度も乗って

いる自分からすると、「いつものやつ」という印象で、特にこだわりもなく普通。

10. 避難訓練のときは、クルーがライフジャケットを着用していたりしたので、避難訓練をしていることが一目で分かってよかった。日本語でも説明があったので十分に理解することができた。感染症対策は、アルコール消毒がビュッフェの入り口に設置してあって日本にあるレストラン等と同じような感じだなと思った。船の中にある大きな家具（ベットや机、椅子等）は床に固定されてなかったのが少し気になった。大きな揺れがあったときに危なくないのかなと思った。
11. 避難訓練は、映像と説明と近くの船員さんの実践で分かりやすく、思ったより簡潔で時間を取られなかった点が良いと感じた。安全対策に関して、まず金銭面では、部屋に金庫があることが安心に繋がり、クレジットカードは肌身離さない船内用のカードと紐づけられているため、盗まれる心配も落としてしまう心配も少なかった。Make up room に関しては、頻繁に部屋に入られるとは思わなかったため、慣れなかった。感染症対策はどのように対策されているのか分かりづらかった。自動ドアであることや、ディナーの食事会場前やビュッフェの入り口前で消毒することは感染症対策として良いと感じたが、部屋が異常に乾燥していたり、使用後のものを消毒している様子がなかったり、そういう点で少し不安を感じた。しかし、誰もマスクしていないように、そもそも乗船客の大半は、感染症を気にしていないのだろうと感じた。クルーズ船でのアフターコロナの様子を実感した。
12. 映画でタイタニックを見たことがある人なら、クルーズ船初乗船の際には沈没の心配を必ずするだろう。外面の備え付けのボートだけでなく、船内での避難訓練があったことで、事故があっても冷静に対応すれば安全だと感じ、安心した。キャッシュレスで、一枚のカードで全て支払いができたので、感染症対策がきちんと施されていると感じた。船内では、換気があまりできない印象があったため、ビュッフェ会場で大勢の人が食事をしている際にきちんと換気されているのかが気になった。ただ、食事を選ぶ場所での感染症対策は厳重に行われていたので気持ちよく食事を選ぶことができた。
13. 避難訓練は英語と日本語どちらでも説明していて分かりやすかった。実際にライフジャケットを着用して見せてくれたスタッフの方の説明も分かりやすかった。ビュッフではお皿をすぐに回収してくださり、感染予防の観点でしっかりと対策が行われているように感じた。
14. 避難訓練の場所を案内してくれたが、私の記憶力の悪さもあり、正直最終

日には避難場所がどこであったのか覚えていないのが感想としてある。また、感染症対策として、私も今は気にしておらず、マスクの着用もしていなかったが、同様に従業員の方も誰もマスクを着用していなかったり、アルコール消毒液が、設置されていなかったりと、感染症対策はあまりされていないのが印象としてある。

15. 乗船してビュッフェを食べ落ち着いてから避難訓練を行った。ショーの会場で行われ、避難場所ごとに座席する位置を決められており、ライフジャケットなどの着用方法の説明を受けた。日本語と英語で説明してくれたので安心した。ショーの会場から、避難場所も案内されたが、自分のキャビンからその避難場所への行き方も教えてほしいと感じた。
16. 避難訓練は思っていたよりもすぐに終わった。船員がライフジャケットの着方を散らばりながら実践していて自分たちが実査に着用することはなかった。その後グループに分かれて避難場所に連れていかれたが私たちはカジノフロアが避難場所になっていて少し面白かった。感染対策としては一応自分もわからなかったためマスクを持参していったがつけている人は全くいなくて自分もそれに合わせたし、これが当たり前になっていてうれしかった。全く感染対策がされていなかったというわけでもなく、バツフェ会場の入り口で挨拶をしながら消毒をしてくれる船員がいて、目につかない部分で所々で感染対策はされていたと思う。
17. 日本語でも避難訓練について説明してくれたので、容易に理解することができた。プールに監視員の方がいて見張っていてくれたり、アクティビティを利用する上での規約に合意する誓約書があったりと安全面には細心の注意を払っているなど感じた。食事会場に入る前に手を洗うスペースがあったり、エレベーター付近にアルコール消毒があったりしたので、感染対策はしやすかった。
18. こうしたクルーズ船では避難訓練の実施が義務付けられていることは乗船前から知っていたが、実際に行われるととても大規模なものとなっており驚いた。ただ、シアターでそれぞれのグループが各施設に避難するところまでは理解できたが、そこからの行動についての説明が少し不足しているように感じた。また、あれほどの人数が冷静に避難するためには言語の問題や、車いすへの対策も重要になりそうだ。
19. 避難訓練に関しては、かなり簡素なものだという印象を受けた。事故発生時に本当に無事に全員が避難することができるのか不安に感じた。もう少し、丁寧に説明があっても良いと考える。感染症対策に関しては、最低限度

の対策（アルコール消毒など）はあっても良いのではと感じた。私自身の責任でもあるが、下船後にコロナに感染してしまった（現在自宅療養中）。

20. 避難訓練自体は、シアターに乗客全員が集められ、そこからそれぞれの客室に応じて分けられている避難場所へ移動するというもの。避難訓練と言うぐらいだから、少し物騒なものを想像していたが、意外とあっさりと終わり、少し拍子抜けした。感染症対策は、乗客はもちろん従業員もマスクをしていなかった。しかし、ビッフェに行くと入り口付近に消毒液をかける専用の従業員が立っており、食事の際は、一応感染対策を行っているというものだった。（消毒液がいい匂い）。
21. 全員参加必須の避難訓練があり、各自の避難場所まで案内してくれる状況は、安全対策がされていると感じた。ブッフェは感染症が広まりそうだったが、入り口で消毒をするスタッフがいたり、手洗い場が隣接されていたりと、感染症対策もしっかりされているように見受けられた。
22. 乗船後に避難訓練があったことから、事故に対する安全対策は思ったよりもしっかりしているなど感じました。一方で、感染対策については、もうコロナ禍以前に戻っていると感じました。コロナと同様の症状があってもマスクをせず人と接している人も見受けられていたので、その辺は少し不安になりました。
23. 避難訓練や安全対策に関するレクチャーは乗船後すぐに行われた。今回のクルーズ船は日本人観光客が多く乗船していたこともあり、日本語での説明もあった。このため、緊急時の対応には困らないと考える。感染症対策に関しては船内の各所にアルコール消毒があり、ショーなどの人が密集する場所は強制的にアルコール消毒をする仕組みとなっていた。船内ではマスクをしている人はほとんど見かけなかったが、そこは個人の判断でどうにでもなると考える。このため、感染症対策は船の上ではあるが、陸にある日本の施設とも変わらないと考える。
24. 避難訓練はとても分かりやすかった。日本語でも説明をしてくれて、事故があった時でもしっかり対応することが出来るようになった。感染症対策は、至る所にアルコール消毒が置いてあり、ビュッフェの入り口には手を洗う所もあり感染対策はばっちりであった。
25. 避難場所へ誘導された後に具体的にどのようなルートで船外へ出るのか説明がないので、不明瞭なまま終わる。マスクを着用する人は誰もいないので、コロナ感染症への意識はほぼない。単純に疑問だが、船体の側面に取り付けられているオレンジ色のカバーを被った小さな避難船は全部で

10 隻あるが、それだけで船内の人間が全員避難できるのだろうか。足りるのか？

26. 非難訓練では英語、日本語の両方で実際の救命胴衣を使いながら説明をしてくださり分かりやすかった。安全対策に関しては、プールやアスレチックには必ず監視員が駐在しており、事故が起きた場合の準備ができていたと思う。感染症対策に関しては、アルコール消毒が所々散りばめられていて、環境は整っていたと思う。また日本ではスタッフ側はマスクの着用必須の事が多いが、船の中のクルーの方はしていなかったのが少し驚いた。
27. 船内に入ってしばらくして、避難訓練を行ったが逃走経路を確認しただけで、思ったより早く終わったので驚いた。緊急ボートの乗り方などまだまだ分からないことも多く、不安もあったのでもう少し詳しくしてくれるとよいなと考えた。
28. 防災訓練はルームキーを使って出欠席が確認され、乗船客全員の参加を義務付けていた点や部屋のテレビでいつでも避難の仕方を確認できた点から安全対策はきちんと取られていたと思う。一方で、感染症対策についてはクルーも乗客もそこまで気にしていなかったイメージがある。一応、ビュッフェの入口に手洗い場が複数設置されていたり、消毒を持ったクルーがいたりしたが、強制ではなく消毒を持ったクルーはいたりいなかったりで徹底されている印象はなかった。
29. 避難訓練は、救命胴衣の着用方法と避難場所の確認でしたが、実際に避難集合場所の確認をしてわかりやすかったです。ビュッフェでは消毒アルコールの設置は行なっていましたが、他の場所ではあまり置いていなかったと思います。ただ、コロナウイルスもだいぶ落ち着いてきているので、私個人としてはあまり気にはなりませんでした。
30. イタリア語、英語とともに日本語でも伝えられた為わかりやすかった。乗船別に毎回行っているのは徹底していると思いました。乗船人数が多いため説明や避難場所を覚えるのは大変かと思いはした。ジムなどの感染対策はあまりよくないと思った。コロナも明けマスク生活が遠のいてはいるが気にする方はいるのでウェットティッシュなどはあっても良いのではないかと思った。
31. 学校の授業の予定があったので、リアルタイムで参加することはできなかったが、対応は迅速で寛容だった。避難訓練は必須で徹底していると感じた。開始前のアナウンスや、アナウンスが届かなかった人へのアナウンスなど。
32. 自分は授業と被ってしまったため、リアルタイムで受けることができなかった

が、そのときの対応が迅速で寛容的だった。避難訓練は義務化されていて徹底している感じが伝わってきた。(開始前の放送や受けていない人に対してのアナウンスなど。)

クルーズ船としての船内施設(ハード面)全体の感想

(船内施設・施設のレイアウトなど)

1. 想像以上に広がったというのが第一の感想です。今回 1 週間をかけて、なんとか全体の 9 割ほどを体験できた気がします。自分は特にカジノとバーに入り浸っており、とても気に入りました。陸では体験できない非日常を体験できるハード施設がたくさんあると感じました。
2. どの施設も豪華であり、内容が充実している印象を受けた。特に施設のレイアウトでは、きらびやかな装飾などが使われており、いわゆる「クルーズ船に乗っている」感覚を味わうことが出来た(同時に、店への入りにくさも感じたが)。クルーズは今回が初めてであったためクルーズ船の基準が分からないが、他の船に乗った際にも着目したいポイントである。各キャビンにおいて、船内 Wi-Fi が全くつながらない点は非常に残念であった。改善して欲しい。
3. いろんな場所にいろんなアクティビティがあり、テーマパークのようだった。初めの数日は何がどこにあるのか、どのエレベーターを使えばよいかなど慣れず、度々迷子になった。部屋が端っこの方だったこともあり、全体的に移動に時間がかかり、大変だった。7日間乗船していてもすべての施設を回り切れず、それだけの施設を船内に収容しているのは本当に凄いことだと感じた。
4. 歩くのは面倒だなと思いつつも、綺麗に整えられた限界点はこれなのだろうなと思いました。広く、楽しい場所が色々な箇所があり、歩くのは仕方ないのかも知れませんが、速度の遅い loop などを取り入れることによって移動を楽しむのもありだなと思いました。プールについて3箇所に分散されているのが、混雑を避けるという意味で非常に良いなと思いました。あえて穴場が生まれるようにしてるのか、アクティビティが多いからなのか、そもそもの乗客が少ないのかも気になりました。最後に 6 階の天井を映像にしているのは、非常に賢いと思いました。コンテンツも作れ、奥行きのある景色を

映すこともできるという点で、感心しました。

5. 全体的にかなり豪華で非日常的な世界の演出が非常に上手になされていると思った。とても満足する施設ばかりでお値段以上と感じることが多かった。一つ不便だなと思ったのは、使うエレベーターによって行けるフロアが異なるということだ。エレベーターフロアの見え目がどこでも大体同じなので慣れるまでに時間がかかった。
6. ベリッシマは良くも悪くも大きすぎた。大きいとプールなども大きくできるの
でいいが、自分の部屋に帰ろうとしたときに、逆のエレベーターを使うとまあまあ歩かないといけなかったのが大変だった。しかし、あの大きさが楽しさを生むと思うので、船内施設に関しては大いに満足している。
7. スワロフスキーやメインストリートの電子天井、お店の外装に手が込んでいて、高級感を演出しようとしていることが感じられ、実際に高級感があった。前後にとっても長く、上下にも多くの階があり、移動が少し大変に感じられ、初めのほうは迷いもした。プールがいたるところにあり、そこまでプールに需要があるのかと驚いた。
8. 夜になったら、プールがライトアップされるのがとても幻想的だったり、お店が並ぶ通りのところは天井のデザインが定期的に変わったり、通る人を飽きさせないデザインさがされていて楽しかった。また、私はジムを愛用していたが外からは顔が見にくいガラスになっていたのがとても良かった。
9. クルーズの中の施設には様々なものがある。プール、ウォータースライダー、ジム、球技場、ボーリング、ゲームセンター、カジノなど。すべての施設を体験したが、どれも申し分ないものばかりで満足できるものである。しかし、すべて無料かと思っていたら有料だったのが残念。船の上だからしょうがないが、やはり地上の施設に比べるとクオリティや規模感は劣る。それなのに有料コンテンツはかなり高い。ボーリングはラウンドワンの方がミニゲームやチャレンジゲームがあったり、ゲームの速度やボールの種類が豊富だったり、明らかに優れているが、ラウンドワンと比べるとかなり金額が高くてやる気がなくなるものであった。
10. 全体的に豪華な装飾がされていて非日常を感じられた。船内は商業施設
のようで、海の上にいる感じがあまりなかった。船自体が広いので施設の場所を覚えるのに時間がかかった。景色が見えたり、通ってきた道筋が見えたりするのでデッキが1番お気に入りの場所だった。
11. エンターテインメント施設がたくさんあるため乗船客は分散され、その施設も十分な大きさを確保しているため集中的に人が集まっても窮屈しないの

だろうと考えられた。大人になれば、食事やお酒を楽しむ人が多いと思うが、そのニーズに対応するかのように様々なジャンルのカフェやバー（日本食やビール専門など）があって、一週間ある旅でも飽きさせないと感じた。また、大人だけではなく、子どもに対しても、ウォーターライダーや体育館、その他子ども向けの施設も充実しており、どの世代でも船内を楽しむことができるのだろうと感じた。船内には美味しい食べものがたくさんあって、つい食べ過ぎてしまうが、食べるだけでなく、ジムやサウナ、ウォーキングルート、プールで身体を動かすことができ、健康的な生活を送れるのも魅力的だ。加えて、船内だけで過ごすのではなく、デッキに出れば、リラクステアに寝転び、海や風、太陽などの自然を感じられること、船内施設が充実しているため、スマホを見ることなく、デジタルデトックスに繋がること、といった人間にとって良いことづくめだと感じた。

12. 船内施設はとても綺麗で、掃除が行き届いていることがよく分かった。体育館の入り口が分からなかった。船尾にビュッフェ会場があり、自分の客室は先頭にあったため、移動距離が長くて大変だった。船の中では常に音楽が流れていたことで、ずっと楽しい気持ちでいられて良かった。
13. プールが3つもあることに驚いた。クルーズ客船に乗っている人が入りたい時に入れるなど感じた。ショーが見れる場所も十分な広さがあった。ショーが終わった後にショッピングストリートにおいてダンスで盛り上がるという導線がすごいと感じた。ショーの熱を覚めさせない工夫があると思った。ラウンジやレストランなどの大人向けの施設とスポーツ施設や子供向けの施設が、場所や階をしっかりと分けていて行き届いた配慮があると感じた。
14. クルーズ船の施設として、ビュッフェやレストラン、屋外プール、ジムなどあり、どれもとても充実していて満足しているが、ほとんどの施設が船の後ろ側にあり、前側に自分の部屋があったので、だいたい施設を利用する時には、移動に時間がかかった。また、広すぎて1人で自分の部屋に戻る時に迷子になることもあった。
15. デッキについて、1周することができるのはジョギングやウォーキングがしやすいため非常に良いと感じた。ビュッフェについて、乗船人数はすごく多いにもかかわらず、どれだけ混んでいてもどこかしら席は空いていたので、収容力がすごいと感じた。プールについて、屋外プールは3箇所ほど、室内プールもあり日焼けや天候を気にせず楽しめるのがよいと思った。
16. 客室に行くのに多くの時間を費やしたのを覚えている。部屋の位置もかなり悪かったこともあるが部屋にたどり着くまでの最短ルートを4日目ぐらいま

で見つけることができずかなり遠かったのを覚えているが部屋に行くまでに友達とそれまでに船であったことなどを話しながら歩いていたらわりかしあつという間に部屋の前についていたことが多かった。部屋の中は3人部屋ということもありかなり狭く感じた。2人部屋の人の比べてみたらクローゼットが一つ多くてそれが部屋を狭く感じさせているのではないかと思った。ベッドに関しては普通ベッドと二段ベッドで三つあり、自分は二段ベッドの上段だったが頭が当たらないように天井が少し高くしてあった。風呂場に関してイメージしていたよりも良かった。シャワーとトイレがしっかりと仕切られていたため普通のユニットバスよりも快適に生活できた。しかしトイレに関していうとさすが海外という感じだった。便座はとても冷たくて流す音もかなり大きくて不自由に感じた。またフロアごとにあるトイレの小便器も日本で見たことがない形状をしていて驚いた。このように日本の生活がよすぎて失望してしまうことはいくつかあったが、それに勝るアクティビティ施設があったため不快さはなかった。アクティビティは、プールを始め、ジム、体育館、ランニングコースなど様々あり、一番衝撃を受けたのはウォータースライダーだ。船の上ということもあり特別期待はしていなかったがいざ乗ってみると想像の何倍も楽しくて何回も乗ってしまった。他の施設においてもかなり充実していてとても満足した。

17. 日常では絶対に見ることができないスワロフスキーの階段を登ることができたり、滅多に行かないバーにも行くことができたりしたので楽しかった。船内が広すぎて道を調べようと思ってもMSCのアプリは回線が悪くて中々繋がらなかったのも、屋外施設に行ったり、バーに行ったりするときに迷ってしまった。部屋が真ん中の方だったので、エレベーターから自分の部屋に戻るまでに時間もかかるし、迷いやすく大変だった。
18. 階段やエレベーターの設置台数が多く上下間の移動はとても便利だと感じた。しかし、特に客室階層では船の構造上仕方のないものではあるだろうが、通路が入り組んでおり、船首側と船尾側を行き来するのに大変手間取った。またトイレの多さも便利に感じた。各部屋に付属しているトイレに加えて各階に多く備えられていることで船内での生活がストレスフリーなものになっていた。
19. 船内施設も充実しており、レイアウトにおいても非常に使いやすいものとなっていた。しかし、スカイラウンジやbuffet会場に移動する際に、部屋の近くのエレベーターを利用できない点が課題であり、他のクルージング客と時間帯が重なると非常に混雑している印象であった。部屋の広さに関しては、

内側の部屋でも十分の広さであった。

20. 施設面の感想については全く文句がない。自分が想定していた以上のクオリティーと数を誇っていており、正直1週間で全ての施設を満喫することはできないほどであった。またシアター前にある大きな廊下もイルミネーションが綺麗で、夜な夜なダンスパーティーが行われていて楽しそうだった。
21. 乗る前は、暇を持て余しそうというイメージだったが、ジムやプール、スポーツ場など、利用できる楽しい施設がたくさんあり、飽きることがなかった。また、ゲームセンターやカジノなど、子どもから大人まで楽しめる施設があるので、幅広い層が利用できると感じた。
22. 船内の施設に関しては大変充実していると感じました。トイレの数やエレベーターの数も多く、比較的混雑することはないので快適に過ごせていたと思います。しかし、客室に関してはわかりやすいものの、船内が広すぎて(部屋までの道のりが長い)逆に不便を感じる節もありました。
23. クルーズ船の船内施設に関する感想としては、無料で使える施設と有料でしか使えない施設の区別が初めて乗船した人にはわかりにくいと感じた。私自身もクルーズ船に乗船して5日を経過したタイミングでやっとほとんどの施設の料金の有無を把握することができた。あとは船内の客室についてだが、船の前方と後方で波の揺れを感じ方が違った。私が乗っていた前方では雨や風が強い日、眠れないほど強い縦揺れを感じた。施設全体の構造やレイアウトとしては、あまり気になることはなかった。私も乗船3日目にしてどのフロアになにがあるのかを把握していたため、船内でかくれんぼすることもできたと考える。
24. 船内施設の感想は、天井のプロジェクションマッピングや鏡の階段がとても良かったと思う。非現実を体験することが出来た。ホライズンバーやスカイデッキでは雰囲気を楽しみながらお酒を飲むことができとてもよい場所だと思う。プールの横でも海風を浴びながらタバコを吸うことができとてもいい場所であった。
25. エレベーターも多く良い。施設レイアウトに関しても豪華に感じた。本船のグレードはカジュアルらしいが、私にとっては十分ラグジュアリーに感じた。プールが夕方8時頃には利用停止になってしまうのが早いと思った。ナイトプールがあればいいと思う。
26. 船内施設全体の感想としては、本当に船の中なのかと疑問に思うほど不自由な施設であった。15階以上はプールやbuffet、体育館、ジム、ホライズンバーなど様々な施設が集まっていて移動にも時間を要さなかった。施

設が隣接している分、多くの海外の人や高齢者、実業家の人と遊びながら、飲みながら交流をすることができたと思う。

27. センタープールや室内のプール、ジムにはサウナが設置されていたりと、すべてにおいて豪華で一日では到底回れないような設備があって驚いた。室内プールのレイアウト、さらにプール横にジャグジーがあるところなどがとても良いと思った。
28. とても充実していて大満足であった。9日間も乗っていたらすることが無くなってしまわないかと思っていたが、プールやアスレチック、サウナや体育館、カジノ、バー、ジムなど、とにかく多くの施設があり食事や観光にも時間を取られる中で船の中ですることが無い暇な時間はほとんどなかった。
29. クルーズ船内は鏡が多く使われていて、船内のライトも明るかったのもキラキラした高級感のある空間でした。カジノスペースもそれにあった壁紙が使われていたりして、スペース、場所によって違った空間を感じることができました。船内全体的に清潔感があり気持ちよく利用することができました。ですが、清掃員の方を見かけることがあまりなかったのもどのように綺麗な状態を保っていたのか不思議でした。
30. 非常に充実していたと思う。ジムからプール、シアターなど大人から子供まで。特に新生児だったとしても行けるような施設は多かった。ガッツリからサラッとまでを揃えていたので長い船上期間を有意義に過ごしやすい施設だったと思います。作りも無駄がないと思った。
31. 船内の施設に関しては、本当に退屈する暇がないほど幅広い施設がある。特に印象に残っているのは、ウォータースライダーと船上のロープ施設。アクティビティだけでなく、プール横のリラクゼーションエリアなど、リラックステキなスペースがあるのもありがたい。他の人たちと交流できる場所もあった。
32. 船内施設について、多種多様な施設があり本当に退屈しなかった。特にウォータースライダーのクオリティが高く感動した。アクティブな施設だけでなく、プール横のくつろぎスペースなどゆったりできる空間もありありがたかった。ジャグジーなど、ほかの人との交流場所があったのもよかった。レイアウトについてもプールが二つに分かれていたり不便がなかった。唯一自分の部屋が見つけにくいこと、アクセスが複雑なことがネックだった。

"船内サービス(ソフト)の感想

- ①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」,
- ②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」,
- ③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」,
- ④「カジノにおける接客サービスクオリティー・雰囲気について」

1. 最も印象に残ったのは、清掃をきちんと行ってくれたということです。部屋の設備は基本的に綺麗に整理されており、ホテルと遜色ないサービスが提供されたと感じました。一方、レストランでは少しサーブに時間がかかっているという印象を受けました。チップを払わされている以上、もう少しサーブに関してはスピーディーな対応が可能だったのでは無いかと感じました。また、カジノのディーラー達はいずれも洗練された動きをしており、感動しました。
2. レストランなどでも接客は丁寧に感じたため、大きな不満はなく非日本的な接客を堪能することが出来た。強いて言えば、コース料理においてはテーブル担当のウェーターが決められているため、何か注文したいときに呼べず、中々来てくれないことがあった。清掃に関しては、寝ているときは避けてくれ、寝ていないときに丁寧にしてくださり助かった。パスポートも丁寧に手渡ししてくれ、規則ではあるだろうが対応にはおもてなしを感じた。カジノにおいては、一部のディーラーさんが場を盛り上げるような発言をしており、楽しかったが、上手く乗せられないように注意が必要だと思った。
3. まず、コース料理は普段食べないようなメニューもあり楽しかったが、常にお腹がいっぱいなので、あまり食べられなかったのが残念だった。次にビュッフェは日によって時間によって少しずつメニューが変わっていたので飽きることがなかった。特にピザやオムレツが美味しかった。②気さくなスタッフさんが多く、少し会話もしたりして気分よく食事をとることができた。誕生日祝いで食器で音を鳴らすなど日本ではあまり見ない祝い方で面白かった。③毎日ベッドメイキング・タオル交換をしてくれてありがたかった。キャビン清掃はいつも同じ人だったので、担当の方と仲良くなった。日本のホテルだと清掃は高齢の方が黙々と行っている印象だが、クルーズでは清掃のクルーさんまで楽しんで働いていたのが印象に残った。④カジノは見ていただけだったのであまり接客は受けなかった。大人の遊び場という感じで他の施設と比較して落ち着いた雰囲気だった。
4. メニューはとても良かったです。洋食も和食もあり、フルーツもサラダもあり、

ピザもバーガーもあり、ちょっと食べるにも、しっかり食べるにも、バランスよく食べるにも、背徳感のある食べ物もあり、様々な点でのバランス感覚が優れていると感じました。ただ、「キウイだけ食べずらい!!」という気持ちです。サービスについて、挨拶をしてくれて、食べたものを持っていってくれて、充実しているなと思いました。ただ、金を持っていない自分はドリンクを頼めず、周りのスタッフに申し訳ない気持ちも生まれました。この点は少しネガティブな点として残っています(私の属人的な問題もあるとは思いますが)。清掃については、非常に行き届いているなと思いました。深夜 2 時ぐらいまで起きていて探検したおり、様々なところで、細かなとこまで丁寧に掃除していたので感心しました。カジノの人らは、フレンドリーでした。チップがゼロになって、おやすみと言われた時は、少しイラつきつつ面白いなと思いました。

5. "メニューは種類も多く、体調に合わせて食事の内容や量も選べてよかった
②従業員の方たちはフレンドリーで毎日ビュッフェやレストランに行くのが楽しみだった。スープの入れ方やアルコールメニューの勧誘だけがすこし残念だった。③清掃は本当にこまめにされていてよかった。ただいつ部屋に来るかわからないので荷物だけ、特に貴重品には気を付けるようにしていた。④カジノは年齢的に見るだけにとどまったが、マスターの人たちの技術には感心していた。もう少し大人になったらもっと楽しさを味わいたい。"
6. レストランのメニューは毎日日替わりのものとずっと一緒のものがあって、全て美味しかった。何品も注文させてくれたので、食べたいものを全部食べることができたので、大満足だった。②外国人のウェイターの方はとても陽気で楽しかった。誕生日を祝うときはクルー総出で食器を持って楽しそうに祝っているのを見るとこちらも気分良く祝えた。また、イタリアンナイトのときはクルーと一緒に盛り上がれてとても楽しかった。良くなかった点としては、自分達のテーブルの時間が押していて、おそらく焦っているのだろうというときに、日本人のスタッフが気分を害するような言い方をしてきたときはもっと違う言い方があるだろうと思った。③キャビン清掃に関しては文句は全くないほど素晴らしかった。部屋に帰ると、ベットは綺麗に整えられ、タオルはしっかり綺麗なものと取り替えられていて、ボディソープが減っていると補充されていて、洗面台付近は水滴がきれいに拭かれていた。さらに、僕が適当に脱ぎ散らかした靴が壁際に揃えられていたときはここまでののかと驚嘆した。④カジノは初めてで、すごくいい雰囲気だった。ディーラーの人は優しくて、たまに解説してくれていた。
7. 初めのうちは食事すべてに感動していたが、日がたつにつれて飽きがでて

きて、最後には食欲が後退してしまった。イタリア船なので美味しいイタリアのデザートや食事かと思っていたら、アメリカンなものが多かった。②レストランの接客は、私たちがあまりお金を落とさなかったこともあると思うが、正直雑で、注文した品をだし忘れることも何度もあった。レストランでは注文や配膳の順番が接客がレディーファーストで行われ、さすがだと思った。○全体に関して、業種に応じて働いている人のバックグラウンドが異なっており、やや偏見を感じた。具体的には、プールでは南米らしき黒人の人、食事会場では西アジア系の人、カジノやハウスキーピングでは東アジア系の人、など。

8. バーでは、ビールがたくさん種類が置いてあったり、デザートが無料でサービスしてくれたり、音楽を聞きながら楽しめるものに非日常で素晴らしいと感じた。清掃も丁寧に行われており、これだけの部屋があるのにすごいと思った。また、レセプションやカジノなど、しっかりとお客さんに説明したりしないといけないところには日本人がいて、日本語でもちゃんと伝わるようになっていたのも、トラブルの回避にもなるしいなと感じた。レストランも5日間毎日メニューが変わったり、イタリアンのコンセプトの日を設けたりして5日間飽きないように変化があったのが素晴らしいと思った。
9. 基本的にどれも日本のコンビニの方が安い。種類は確かに豊富だが、一週間もすごしていれば同じようなものしか食べていないことに気づく。②レストランがかなりひどかった。コースメニューは前菜が到着するのに1時間。デザートまで食べ終わるのに二時間もかかってしまっていた。料理を食べ終わってもなかなか次の料理が来なく、暇な時間が多すぎた。できればビュッフェに行って30分で食事を済ませて、残りの時間は船を満喫したかった。しかも、ワインを頼んだのだが、売り切れと言われ選び直させられることが一度の食事でも三度あった。ピーク後の人気飲食店じゃないんだから在庫管理ぐらいしてほしいと感じた。ちなみに三回選りなおさせられるやり取りで一時間テーブル全員のフードが来なかった。③清掃に関しては特に問題なく満足できる内容だった。④最初入っても特になんの説明もなく、従業員が常に回ってくれてるわけでもないの、やり方が分からなかった。マニュアルを分かりやすいところに置くか、従業員が説明しに来てくれるといいと感じた。
10. 様々な国の人に対応する為なのか、様々な国の料理があった。英語と日本語両方でメニューがあったのでわかりやすかった。(日本語訳がたまに違うときもあった) 全体的に味が濃いなと思った。②クルーが気軽に話しかけて

くれる。ジョークで笑わせてくれたり、おすすめのお酒を教えてくれたり、雑談をしてくれたりした。私が英語をあまり話せなかったので、英語を話せるようになりたいなと思った。③清掃をしてくれたクルーは、すれ違う度に挨拶を英語や日本語でしてくれた。友達の誕生日のときには、部屋のベッドにタオルで付くったウサギとバースデイカードがあって素敵なクルーだなと思った。④カジノは、明るくて綺麗だった。ディーラーさんを初めて生で見て立ち振る舞いが綺麗でかっこいいと思った。テーブルでやってる人達を見学して、チップになってるからわかりにくいけど、一度にたくさんのお金が動いていると思うとすごい世界だなと思った。

11."メニューは、地上のファミレスよりも、居酒屋よりも、種類が豊富であった。ビュッフェは毎日どれを食べようかと迷う程に種類があって、選ぶことから楽しかった。迷ううえに、美味しいものはリピートしてお皿に乗せてしまうため、つい取り過ぎることが多かった。スイーツは小さいため、色んな種類を取って味わえ、フルーツもドレッシングもたくさんあって、みんながみんな自分に合った食のスタイルを取ることができるのだろうと感じた。バーではお酒の種類がたくさんあり、例えば、可愛いカクテルがあったり、普段はお目にかかれないビールがあったり、特別感を味わえることができた。②サービスについて、ビュッフェでは、食べ終わったお皿をすぐに下げてください、お湯の出し方に困っていたら助けてくれたり、団体で行動していることを覚えられて、みんなで食事ができるように机をくっつけてくれたり、混雑している時に乗船客同士がぶつかってお皿ごと落としてしまったときは慌てずに対応していたり、大量のコップを乗せた大きなおぼんを片手に乗船客の邪魔にならないようによけていたり、ホスピタリティの意識が高いと感じた。私はどこかで外国人に対しての偏見があり、サービスに関してはあまり期待していなかったが、このクルーズでその偏見が崩された。また、ビュッフェでもバーでも、「修学旅行?」「どこから来たの?」と気軽に話しかけて、「大学生?何学部なの?」「神戸いいよね。好きだよ。」や「将来は何をしたいの?」と将来のことまで質問をしてくれたり、逆に質問したらたくさん応えてくれたり、その船員さんのことが好きになるほど親しみやすかった。日本では無い体験だった。外国の方の接しやすさに驚いた。ディナー会場は忙しいのもあると思うが、料理を忘れられていることや、誕生日のサプライズがサプライズではなくなりかけたことがあった。しかし、特に嫌な気持ちにはならなかった。③いつもきれいな状態を保ってくださって、部屋の前の通路であれば笑顔で挨拶してくれて、気持ちが良かった。下着を浴室に干

しているため、「入らないでください。タオルはベッドの上をお願いします。」と書いたら、それにきちんと応えて下さっていた。印象的だったことは、ゼミの仲間の誕生日を祝うために、部屋に“HAPPY BIRTHDAY”の飾りをしていたら、キャビン清掃とともに、シーツを使ってウサギを作ってくれて、さらにバースデーカードも置いてくれて、素敵な船員さんだと感じた。おそらく誕生日の子にとっては忘れられない瞬間になったと考える。④日本のスタッフがいたため、カジノは初めてだと伝えると、慣れてないならテーブルよりもスロットの方が良いということや遊び方を丁寧に教えて下さった。テーブルのカジノの方は、案外怖くなくて、ディーラーに「やり方を教えて」と行ってみると、簡潔に分かりやすく教えてくださった。カジノでは、レストランやバーとは違って、プレイヤーだけと向き合っているようで、外野は視界から外されているように感じた。ディーラーとプレイヤーが創り出す独自の雰囲気がかじの雰囲気なのだろうと個人的に受け取った。”

- 12.メニューは、表記に日本語版もあったのが良かった。お酒の種類など、名前を見るだけでは分からないが、入っているものの表記があって良かった。②サービスについては、どの方も明るく、つたない英語だったが、しっかり聞いてくれた。③清掃はとても綺麗に行ってくれた。しかし、一日に何度か部屋に入っていたので、貴重品の管理や洗濯物を干すタイミングに困った。④カジノは、喫煙している人が多いことに驚いた。喫煙ゾーンも作れば良いが、場所自体は禁煙にして欲しかった。
- 13.メニューは日本人にもなじみのあるものが多くとても充実していると感じた。そしてどれも本当においしかった。全種類食べきれなかったのが残念だった。②メニューが日本語のものもあったので助かった。オーダーをしたい時、スタッフの方がすぐに気づいてくれたのが嬉しかった。③これまでの経験上自分の部屋にスタッフが入って掃除をしてくれるということがなかったため、毎日清掃して下さることに少し戸惑いはあった。洗濯物などを干すのに抵抗があった。途中からはお風呂場だけ入らないように張り紙を貼ったため不安は少し解消したが、タオル交換だけという選択肢が最初からあっても良かったのではないかなと思った。④カジノが初めてだったのでやり方が分からなかったとき日本人のスタッフの方が優しく教えてくれたのがとても助かった。
- 14.レストランでは、日によって違ったメニューがあり、どれも美味しそうで選ぶのに迷った。バーでも、豊富な種類のお酒が楽しめて、可愛いお酒がでてきたので、とてもメニューに関しては満足した。②レストランやバーでサプライ

ズで誕生日をお祝いしていただいたのが、とても嬉しかった。従業員の方が盛大に盛り上げてくれたので、とても思い出に残る 1 日を過ごすことができた。③キャビンの清掃もとても良く、毎日綺麗にしてもらえたので、部屋でも快適に過ごすことができた。また、誕生日の時にバースデーカードと、ベッドの上にタオルで動物を作ってくれていたことがとても嬉しかった。④カジノの接客については、カジノについて無知な私たち学生にとって、丁寧に説明してくれた従業員の方がいて、とても親切だなと感じた。また、海外出身の従業員がフレンドリーに話をかけにきてくれて、英語で話ができ、良い経験ができた。

15. レストランでは、毎日メニューが変わるものがあり、全く飽きず料理を楽しめた。また同じメニューもあり、気に入った料理も好きなタイミングで食べることができた。バーに行ったとき、ドリンクの種類が非常に多くメニュー表を見るだけでも楽しめた。私はあまりお酒が飲めないので、ノンアルコールのメニューも充実していたのが個人的にすごくうれしかった。ドリンクは見た目もかわいく味もおいしかったので行ける日は行きたいと思った。②乗船日の夜にスカイラウンジのバーに大学のメンバーで行った。大人数で行ったにもかかわらず、日本人の店員さんが快く対応してくれた。その日は友人の誕生日で、私も気づかないほどうまくサプライズをしてくれ、さらに小さなケーキもプレゼントしてくれてとても楽しかった。③朝にビュッフェに行っているたったの 30 分の間にキャビンが掃除されていて驚いたことがある。乗船前は、勝手にキャビン清掃は 1 日 1 回だと思っていたので、朝とお昼に清掃されていたときは驚いた。④人生で初めてカジノに行ったのでわからないことが多かったが、日本人の優しい従業員の方がわかりやすく説明してくれたので安心してすることができた。

16. "①バッフェのメニューは特に充実していました。普段口にしないものからなじみにあるものまで多くの種類のメニューを扱っていたため自分の気分に合わせて食べることができたのでとても良かった。特に私が嬉しかったにはオムレツだ。中に入れ具を注文したらその場で作ってくれて朝からとても良い朝食をとれた。レストランはいつもなかなか食べないような高級なものを口にできてとても良い経験となった。食事とともにレストランでのマナーを学ぶことができたこともとてもよかった。また私はバースデーケーキをレストランで注文したが値段の割にサイズが大きくてとても驚いた。バーのドリンクも種類豊富で友達と飲み比べながらとても良い時間を過ごすことができた。②サービスに関してバッフェでは近くにスタッフがいたため自分は何も

しなかったが声のかけやすい雰囲気だった。レストランは僕らのテーブルを担当して下さったスタッフが僕たちの名前を憶えてくれたことがとても嬉しかった。そのスタッフはとても親切で話していてとても心地よかった。別の日にテーブルを移動したときに提供スピードが全く異なっていたところはよくなかったと思う。テーブルごとにも全く異なっていたので友達とのその後の予定が狂うことがあり調整が大変だった。全体を通しては満足したがそういったミスは減らしていつてもらいたい。バーの接客はとても完璧だったと思う。案内から写真撮影まで私たちが快く飲めるようにサービスしてくれた。ユーモアにあふれた方が多く学ぶことが多かったため私もバイトで取り入れていきたいと思った。③キャビン清掃のお兄さんもとても親切だった。僕たちが部屋に忘れ物を取りに行くとき自分の作業を一旦止めて私たちが部屋を出るまで他の作業をしてくれていた。部屋の清掃も毎回きれいで毎日新しいベッドの上で寝ている気分だった。また誕生日の人がいる部屋にはサービスでバスタオルを鳥の形に折って部屋に飾ってあった。受付は常に人がいていつ行っても親切に対応してくれた。列ができるとそれぞれの客の要件に合わせて対応の仕方を変えているのもとても素晴らしいと思った。④カジノではわかりやすいことを聞くとスタッフがわかりやすく対応してくれたのが印象的だった。雰囲気もとてもよかった。カジノフロアに入るところにランプやすごろくなどが壁に描かれていてそこからカジノ雰囲気を味わうことができた。中に入るといろんな機械が光っていてその様子にとっても興奮した。

17.メニューが豊富で毎日食べても飽きなかった。日本食が普段食べている日本食ではなかったのも、少し残念だった。②すぐにお皿を下げてくれたり、話しかけてくれたりしたので気持ちよく過ごせたが、座るテーブルによって料理を持ってくる早さが異なっていて、食べ終わっているのにまだ料理が届いていないような状態が続いていた。③部屋が自分の衣服で散らかっているのに、毎日部屋を綺麗にしてくれた。誕生日の友人のためにタオルを折ってくれていて嬉しかった。④ルールが分からず困っていたときに、日本人の乗船員の方が助けてくれた。カジノは日本では味わえないことで、入り口からすでに非日常空間が漂っていた。

18.メニューはとても多く充実しているように感じた。英語のみでなく日本語でのメニューも準備されていたためあまり迷うことなく選ぶことができた。②サービスは丁寧なだけでなく、それぞれの場で話しかけてもらえることで、こちらからも意欲的にコミュニケーションをとる気持ちも芽生え、良い経験にもなる場となっていた。③キャビンの清掃はとても丁寧で清掃員と通路で

すれ違ふと笑顔で声をかけてくれると気持ち良かった。またキャビンの担当の清掃員が顔と名前を覚えており、会話がスムーズになったところも多く素晴らしい配慮を感じることができた。④カジノは初めてでもはいりやすい雰囲気になっているところが良かった。外国の人たちの手慣れた様子を見て、自分たちでも真似しながら徐々に慣れていく過程も楽しめた。

19.①については、非常に充実しており、毎日の食事の変化や選択を楽しむことができた。世界各国のワインもあり、非常に美味しく頂けた。②については、サービスも非常に充実しており、雰囲気作りも最高だった。ただ、ブッフェ会場での有料のショーへの勧誘は少し、マイナスの印象であった。③については、毎日綺麗に清掃していただき、快適に過ごすことができた。ハウスキーピングのスタッフさんも気さくに話してくださり、安心して生活できた。④については、学生である若者を軽く見られている印象を受けた。しかし、カジノエリアのサービスは高く、装飾も豪華で、雰囲気を楽しむことができた。

20.レストランやバーのメニューは非常に充実していて、全て楽しめるものとなっていた。料理のクオリティーも最高で、毎日の食事を楽しんで取ることができた。ただ一つ言うと、レストランの中では、少なくとも水だけは無料で出して欲しかった。食事の際水分を摂るとなると、お金を払って水やドリンクを飲むか、ビッフェで汲んできた水をグラスに入れるしかないため、せっかくコース料理を食べているにも関わらず、少し気分を壊しかねなかった。

21.①メニューは非常に充実していて、日本食もあり飽きることがなかった。②気さくに話しかけてくれるスタッフの方や、話しかけても優しく答えてくれるスタッフの方ばかりで、サービスも良かった。③キャビン清掃については、1日2回タオルの交換をしてくれることもあり、非常に助かった。レセプションでも、優しく対応していただき、安心して楽しむことができた。④カジノは、軽く行っただけであり、初めてだったので、あまりわからない。

22.①種類が豊富で飽きがこず、楽しむことができました。レストランやバーの数は想像よりも多く、まだ楽しみ足りないと感じるほど豊富であったと思います。②サービスも比較的良かった。ですが、「なんでわからないの?」という雰囲気を出される場面もあり、やはりある程度のマナーやルールなどはもっと把握すべきだと感じました。③キャビン清掃は素晴らしかった。タオルは1日2回変えてくれていることもあり、とにかく迅速だった印象です。④「知っていること」を前提とされている雰囲気がありました。たとえルールを知っていても賭ける額が桁違いなため、ディーラーがいるゲームを学生は避けるべきだと感じました。

23. ①それぞれのメニューについての感想としては、毎日変わらないメニューと変わるメニューがあった。大半が自分で選ぶことができるため、飽きることなく飲食を楽しむことができた。②それぞれのサービスについてですが、日本と違う点が多くあった。このため、海外経験がなかった私は戸惑うことも多くあった。しかし、お客さんの誕生日を祝う文化や定期的にパーティーを開催してくれる文化はすごくいいものだと感じた。不満な点としてレストランの食事の提供がテーブルによってかなり差があったことが少し不満であり、また提供に時間がかかりすぎてしまうことも不満な点としてあげられる。③キャビン清掃とホテルのレセプション対応に関しては素晴らしいと思った。特にキャビン清掃は私たち船の客が寝静まったころ、誰も見ていなくとも一生懸命働く姿があり、私自身も見習いたいと感じた。”
24. ①レストランなどのメニューに対しては、当たり外れが多かったと思う。大人数の食事を作るため仕方のない事ではあるが初日ディナーのサーロインステーキはとても硬かった。②レストランのサービスについては、レストラン内でお水が有料であったことが不満である。水はせめて無料にしてほしい。③キャビン清掃も素晴らしかったと思う。部屋に帰るととてもきれいな状態に戻っていた。このサービスのクオリティーはとても高いと思う。④カジノの雰囲気はとてもよくルーレットで当たるととても盛り上げてくれました。
25. ①日本にはないメニューが多く、各国の様々なものを食べれた。とくに日本ではあまり見ないビーガンメニューが毎食用意されていることから多様性を感じられて印象的だった。②卓ごとに専属のウェイターがついて仲良くなれたのが印象的だった。また、バーでは頻繁にドリンクオーダーを聞かれたことから、マージンなどに積極性を感じた。③ルームクリーンが素早くきれいだった。④プレーしない場合、席にも座れないことからマナーなどを学べた。初心者にもそれらをきちんと教えてくれたことから意外と敷居は低いと感じた。
26. ①レストラン、buffet共に、自分で好きな料理、品数を選ぶことができたため、食事のメニューは非常に満足度が高いと感じている。しかし前菜で毎日同じサラダを頼んでいたのも、メニューをあらかじめ指定される日があっても良いかなと思った。②サービスに関しても、挨拶は必ず笑顔で、積極的に会話をしてもらって満足度が高い。メニューを頼むだけではなく、「好きな料理は？気分はどう？楽しんでる？」食事全体を満足させてくれるサービスであった。しかし一度頼んではいけない料理がきた時もあった。③キャビン清掃に関しても同部屋の子と「掃除が早くて、素速い」と高評価だった。部

屋中を使って洗濯物を干していて、ベッドの清掃をする隙間もないのに、洗濯物は元のままで綺麗にしてくださった。キャビン清掃を頼んでいないのに、タオル、シーツの交換をてきぱきとおこなってくださった。④初心者にも優しく笑顔で、対応してくださった。

27. ①レストランでのメニューがほとんど毎日違うことに驚いた。オレガノやキャビア、ロブスター等普段は食べないような食材をたくさん食べることができてとても楽しく満足した。②レストラン・バーのスタッフの方々はとてもやさしく、気さくに話しかけてくれて、さらに私の不慣れな英語も優しく聞いてくれて毎日話すのがとても楽しかった。仲良くなったスタッフの方とまたどこかで会いたいです。③私のキャビンは三人部屋で洗濯物もたくさん干してあったことからとても掃除が大変だったと思うが、毎日驚くほどきれいに掃除されていて頭が上がりません。私が心の底から楽しめたのは清掃の人のおかげです。④カジノは日本にはない海外特有の雰囲気です。非日常感が強くとても気に入りました。
28. ①良い経験になった。特にレストランでは普段食べない珍しいメニューがあり面白かった。外国籍の船なので仕方ないが日本食が恋しくなることはあった。②良かった。特にビュッフェでは、自分が食べた食器をそのままにしてもクルーがすぐに下げて来てきれいにしてくれるところが良かった。③良かった。毎日必ず部屋がきれいになっていた。また、部屋のドライヤーが故障した時にはすぐに修理しに来てくれた。④今回、初めてカジノを経験したため比較はできないが、防犯面の管理が徹底されていると感じた。
29. デイナーではメニューは豊富で誰もが何かしら食べるものを選択できるようになっていたと思います。またビュッフェでは、営業時間が長い中でも朝、昼、夜など時間によって、置いてあるメニューに変化があり楽しめました。船の上でお腹が空いた時にビュッフェに行くだけでお腹いっぱい食べることができて最高でした。日本人の私的には日本食がありとても助かりました。ピザも好きですが、ずっとピザを食べるわけにもいかなかったのでライスとお味噌汁があって本当に良かったです。
30. レストランは清掃が行き届いている他スタッフがすぐに空いたお皿などを片づけてくれるので席が空いてなくて困るという現象が無くて素敵だと思った。海外では果物は自分で剥くのが普通ということを知らなかったのが新しい発見であった。しかし、剥いてくださいと頼むと剥いてはくれる。時間はかかるのでお勧めはしないが。清掃は行き届いていたし短い時間ですぐにこなされていたのでプロだなと思った。カジノは思ったよりも静かだった。スタッ

フによっては厳しい人もいたし優しく応答してくれる人いたイメージ。厳しい人のところはあまり人が入らないイメージであった。

- 31.メニューについて、質は普通だ、美味しかった。2 サービスについてですが、いろんな人がいます。礼儀正しい人もいれば、疲れた感じの人もいた。3 掃除と洗濯について：ハウスキーピングの人が荷物を移動してくれたり、化粧品が壊れているのが初日に発見したり、それからシーツとタオルは毎日交換してくれた。4 カジノの雰囲気ですが、タバコの臭いがとても不快でした。
- 32.メニューについて、クオリティが高い。ヴィーガンや砂糖不使用など個人的にテンションが上がる内容だった。2 サービスについてはいろんな人がいた。丁寧な人や疲れてそうな人など笑。ただ話してみるとみんな優しくフレンドリーだった。3 清掃、レゼプションについて、満足だった。日本語を話せる方がいたり毎日ベッドシーツとタオルが交換されていることが幸せだった。片言英語でも真剣に聞いてくれた。4 カジノの雰囲気について、タバコのおいが雰囲気を出していた。店員さんもカジノが好きらしく好意的に教えてくれた。

"船内の SHOW やエンターテイメントの感想

【船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー】'''

1. 船内でのダンスエンターテイメントは非常に印象に残っています。クルーの方がダンスを教えてくれたりして、普段では味わえない非日常を体験することができました。また、ショーでは特に最後の「ジャーニー」というショーが印象に残っています。ダンスだけでなく、歌でも大きく感動しました。
2. ロンドンシアターでのショーはどれも個性的で示唆に富み、大変興味深かった。プロのエンターテイナーのショーはあまり見たことが無かったため圧巻であった。様々な動きや歌唱があってショーは非常に面白かったが、一つ挙げるならば事前のストーリーやコンセプトの説明が欲しいと感じた。内容やメッセージ(あるのかわからないが)が分かるとより面白くなるのではと感じた。
3. 以前からミュージカルやエンターテイメントショーが好きなので、非常に楽しめた。特に最終日のショーの最後が感動的でとても印象に残っている。ショーの時間が他のイベントと重なっていることが多く、すべてのショーを見に行けなかったのが心残りである。また、6F のメインストリートの天井の景色が通るたびに違って楽しかった。

4. show は凝っていてすごいなと思いました。ただ、起承転結が入って来なかったです。自分自身でもう少し、歌舞伎やバレエなどの言葉ない感じの show を嗜んでいきたいと思います。クラブのような 6 階でのダンスは非常に楽しかったです。リミットを外して、はっちゃけることができました。見本となり踊る人もいて、全員が楽しめるようになっていたなと思います。
5. 船上とは思えない豪華なセットや豪華な衣装、レベルの高いエンターテインメントが毎日見られてとても満足している。ショーに関しては、一日三回ほどありそれが毎日行われていたが、総勢どれくらいのスタッフ、キャストがそれらを支えているのかも気になったし、キャスト一人一人の人生ドラマみたいなのも気になっていた。次のクルーズではそういったスタッフたちとももっと話してみたい。
6. ショーは自分たちが知らない曲や歌ばかりであったので、日本発着クルーズではもう少し日本人が知る曲を増やしてもいいのかなと思った。内容はどれも面白かった。ホライズンバーは日付を超えても爆音で音楽が流れていたの、外国人の方々とたくさん交流ができた。
7. ショーはせっかくの機会だからと何度も鑑賞したが、英語が分からないのもあり、内容がなんとなくしか分からないのが残念だった。しかし、パフォーマンスは良く、見ていて楽しかった。メインストリートで行われるパレードやパーティーはとても活気があり、その場にいるだけで楽しかった。
8. 船内のショーは、ダンスや歌がとても上手くて綺麗な方のショーが見れてとても感動した。自分からそのようなショーをわざわざお金払って予約して見に行ったことがなく、そこまでするのはめんどくさいと思っていたが、実際に目の前で見てみるととても迫力があり、特に歌の歌唱力がすごくて見入ってしまった。有料のショーが見れなかったのは少し残念なのでお金持ちになってまた見に行きたいと思った。
9. 普段ショーなどを見る機会がないということもあり、臨場感あふれる生パフォーマンスに感動できた。テレビで見るのと違い、観客全員で盛り上げられる環境だったし、何なら観客も一緒に盛り上がって一つのショーが完成している感じだった。だからこそ、アーティストと観客が一体となって楽しく過ごせたという感覚が大きく、普段感じることができない体験ができてとても満足した。
10. ショーで 1 番印象に残ったのは、普段クルーとして働いている人がステージでパフォーマンスをしたものだ。1 番最初のクルーが日本の曲を歌っていて、とても上手かったし、海外の方が日本の曲を歌うことが嬉しかった。また、誕

生日祝いやイタリアンの日の盛り上がりもすごく楽しくて、毎日船にいても飽きないようになっているのだなと思った。

11. シアターはミュージカルのようなものから、演芸のようなものまで、様々なジャンルがあって飽きなかった。船員さんによるタレントショーは、船員さんとコミュニケーションを取って認知したあとの、乗船してから日数が経った日に行われたため、知り合いが舞台上に上がっているような感覚で、見ていても楽しかった。ディナーに行われたイタリアンデー(?)では、音楽が流れて皆がナプキンを振り回して、初めての光景で驚いた。大きな通りで行われるパレードのようなものも、ダンスパーティーのようなものも、日本にはない外国的なもので見ているだけで新鮮で楽しかった。
12. 日本語での司会や解説などがあったので、その日のショーの内容や演出者について知ることができたので、ショーがさらに楽しめた。時間は 30 分だったので、寝る前や食後、隙間時間にみることができ、ちょうどよい時間であった。ただ、30 分では物足りないショーもあったので、1 時間のショーなどもあれば良いと思った。
13. 乗船後最初に見たビューティフルというショーは、女性の迫力ある歌声に圧倒された。ショーをみる習慣が無いためとても新鮮な空間だと感じた。英語で何を言っているのかはあまり分からなかったが十分に楽しめた。プラスでお金を払っていないからかすごくリラックスして楽しめた気がする。下船前最後に見た船内スタッフの特技披露のショーは 1 回目のとは雰囲気が大きく違い、これもまたとても面白かった。同じゼミの子がこのショーに出るスタッフと既に仲良くなっていたこともあり親近感のあるショーがとても楽しかった。日本語の歌を歌っていたスタッフもいてみんなで盛り上がっている感じがとても楽しいと感じた。
14. 船内のショーは 2 回見た。ひとつ目のショーは、いろんな歌とダンスがみれて、衣装や雰囲気もそれぞれ異なっていて、とても楽しむことができた。二つ目にみたショーは、従業員の方の特技を見ることができ、それぞれ歌やダンス、演奏など、さまざま披露してもらったので、それぞれ人の特性が分かり面白かった。
15. 2 回ショーを鑑賞した。1 回目は、女性と男性で別れてダンスや歌をうたっており、特に歌がとてもうまいと思った。女性のダンサーの方が鏡を使用していた演出が最も気に入った。2 回目は、クルーたちの特技を披露するというもので、歌とダンスを披露していたケニア出身の知っているクルーの方も出場していて非常に楽しめ、会場もとても盛り上がっていた。

16. 私が鑑賞したショーは二つあり、一つはミュージックショーでもう一つが船員による一芸披露である。一つ目はダンサー、バンド隊、歌手それぞれが生き生きと自分のパフォーマンスを披露しているのが印象的だった。二つ目の方が個人的に好きだった。なぜなら出ていた船員に知っている人が二人もいたからだ。一人目は二番目に出てきたケニア人の男性だ。彼は初日に船後方のプールで会い、ジョークを交えながら写真を撮ってくれた。そんな面白い彼があんなにも力強いラップとダンスパフォーマンスをしていてとてもかっこよかった。二人目は最後に出てきたワンさんだ。彼とはバーを探しているときに出会った。とても親切にオススメのバーを紹介してくれ、困ったら声をかけてと言ってくれたのを覚えている。そんな彼が観客全員を圧倒するボイスパーカッションを披露していた。そのギャップにとっても驚きを感じた。このように船員が趣味を披露できるようなイベントがあることで船員も快適に働く環境づくりを行っていることがわかった。
17. ショーは 2 回しか見ることができなかったが、楽しむことができた。1 回目のショーは Beauty ショーで全てが英語で歌を歌っていたので、分かるところと分からないところの差が激しかったが、ずっと聞いていると英語が聞き取れそうだなと感じ、英語の学習には最適だなと思った。2 回目のショーは船内ゴットタレントで前から 3 列目の席という前列の席で見ることができた。このようなショーは見たことがなかったので、終始楽しく見ることができた。
18. シアターには何度か足を運んだが、陸でお金を払ってみるようなショーと遜色ないものを見ることができたと感じる。特に船内のスタッフがそれぞれの仕事とは別の特技を披露するショーでは、私たちに会うたびに話しかけてくれたためによく知っている船員も出ていたため、とても盛り上がることができた。
19. 毎晩日替わりで開催される SHOW は、非常に魅力的だった。私自身が昔から親世代の歌や雰囲気が好きだったこともあり、そのほかのダンスパーティーやイベントも楽しむことができ、私のような若者世代はより一層クルーズを楽しむことができると感じた。もちろん、そうでない若者世代であっても SHOW を十分楽しめる。
20. ショーのクオリティは素晴らしく、無料のショーでも十分楽しめる内容だった。自分は体験できなかったが、有料のショーもシルク・ド・ソレイユ並みのクオリティということもあり、今度乗った際には、それも体験してみたいと思った。
21. 時間帯も複数に分けてしてくれることもあり、毎日のようにショーを見に行っていた。また、30 分前後のショーであるため、他のアクティビティやイベント

も楽しむことができるので、適切な長さのショーであったと感じる。毎日、異なる素晴らしいショーを見ることができた。

22. イベントはかなり充実していたと感じます。特に、ドレスコードが指定されている日は船内に一体感が生まれて通常の倍以上にその場の雰囲気を楽しむことができたのではないかと感じます。一方で、夜間のゲームやカラオケなどなどルーチン化されているイベントはクルージング初心者には馴染ずらかった印象があります。

23. 船内でのSHOWやエンターテイメントに関する感想を20代前半の若者としてあげる。SHOWに関しては若者の中でも楽しめる人と楽しめない人の2通りがあると感じた。理由はSHOWのほとんどが英語で行われていたことと、内容的にかなりジェネレーションギャップを感じるものが多かったからだ。(知っている曲や内容がほとんどなかった) 逆に、船内でのイベントはアクティブなものが多く若者も楽しめるものとなっていたと感じる。

24. 船内のショーは若者はあまり盛り上がる事が出来ないと感じた。若者が知っている曲や今の時代の曲が流れると盛り上がるが、海外の曲や日本の曲がショーで流れても昔の曲である為、少し退屈してしまう事があった。しかし、ショーのクオリティーは非常に高く、これを無料で見る事が出来るのは得をした気分になった。

25. 観客のうち日本人の高い年齢層がほとんどで、派手な若者のノリが生まれななかでも、ダンサーやエンターテイナーは全力で演じていたことからプロ意識を感じた。外国語でダンスや歌などの生パフォーマンスを観るのは初めてだったので新鮮だった。

26. ロンドンシアターでの感想としては毎日違うジャンルで、違うダンスチームで新鮮さを与えてくれた。初日から夜公演は、ほぼ全部鑑賞したが、日本のショーでは見られない曲や言語、ダンス、派手な衣装で、つつい明日も見たいと思わせられる内容であった。男女で踊るシーンが多く、性別を超えて心から楽しんで踊っている姿を今でも覚えています。

27. 私は、クルーの人たちが特技を披露する SHOW やマジック SHOW 等、今まで見たことがなかった SHOW や興味を持ってこなかったジャンルの SHOW を見ることができてとても新鮮でした。これから日本で興味がある SHOW には応募して見に行こうと考えた。

28. 良かった。特にプールがあるデッキで行われていた星空映画鑑賞が良かった。スクリーンの前に椅子が移動され寒さ対策にブランケットが用意され、海上の静かな環境でゆったりと映画鑑賞ができて良かった。また、マイナー

な映画ではなく、有名な映画が流れていることが多くそこも良かった。参加型のイベントが多い船内で、ゆっくり鑑賞できたこの時間は少し休憩したいときにぴったりであった。

29. 船内のショーは毎日楽しみにしていて毎日予約して観に行く様にしていました。旅に慣れてきた頃には朝起きてまずはルームメイトと船のショーの確認、予約するというのが朝のルーティーンになっていました。旅の後半にはせっかくなので有料のショーも見にいきました。有料のショーはステージと客席の距離も近く、出演者が近くで演技をしてくれたり、無料のショーよりも迫力がありました。
30. ショーは本当にものによるなと思った。タレントショー、ロックショーは見ごたえがあり歓喜したがミュージカルチックなものは30分では良さを理解するには難しかった。タレントショーのボイスパーカッションの方凄かったです。ショーがこまめにあり生バンドを目の前で見れるところは一体感を感じられて素敵でした。
31. 全日程を観戦したが、非常に質の高いショーで感動した。歌はとてもうまく、感動した。彼らの歌にも感動した。船上で毎日行われるショーがとても良かったので、毎日見なければならなかった。その後、有料のショーも買ったが、これも同様に良かった。
32. SHOWの感想としてはクオリティが非常に高かった。あまりの歌のうまさに感動した。歌以外でも画像演出やダンスのクオリティが高かった。また会場全体がいったいとなって盛り上げている気がして非常に楽しめた。ただどうしても夜遅い時間になってしまうのが惜しかった。ぼくは朝型人間なので朝でも楽しめるイベントがあればいいと思った。

"船内の施設での体験に関する感想

(ジム・ゲーム(ボーリング、VR、FI)・カジノ・SPORTPLEXなど)や体験型イベント(ダンスPARTY・ビンゴなど)

1. 最も印象に残っているのがこの部分です。特にダンスや歌を通して、本当にたくさんのクルーや外国人観光客と仲良くなることができました。英語がつかない自分達でも、ダンスや歌という非言語的コミュニケーションを通して交流することで関係構築ができるというのは、今後の人生においても示唆を与える貴重な経験となりました。

2. どれも大変楽しく、良い経験になったためここではカジノとダンスパーティーについて取り上げる。人生で初めてリアルなカジノゲームを遊んだが、非常に面白く、もう二度としないとさえ思えたため良い人生経験になった。ダンスパーティーについては、始めは巻き込まれる形であったが、いざ参加してみるといつものと違うことを実感できて楽しかった(が、毎日はずらい)。
3. ダンスショーが一番楽しく、印象に残った。もともと人前で踊るのが恥ずかしいタイプなので普段だったらあんなに踊ることはないが、クルーズでは周りの人も皆踊っていてクルーさんも明るくて踊りやすい雰囲気だった。ダンスショーにいるクルーさん達と会話したり、横で踊っている乗客の方と会話したり、乗船中一番英語を使った場だったと思う。また、ジムも利用したが、機械が本格的でサウナまでついていて面白い経験ができた。
4. ジム内の設備が、デジタルで回数を数えるもので、だいぶ新しいものを整えてくれているのだと思いました。サウナも良かったです。(もっと熱ければ尚更良かったです)。カジノ体験も良かったです。日本ではできない exiting なことをできて、いい経験となりました。ゲームは高すぎました!
5. お金がかかるような体験は今回していないし、年齢的にカジノも見るだけにとどまったが、見るだけでも非常に楽しめるコンテンツが多かった。人生で初めてジムに行ったが、美味しい料理を食べて太った体を元に戻すことができたので行ってよかったと思う。
6. ジムは少しだけ利用したが、器具は充実していた。ジムの横についているサウナがあったのはとても良かった。もうちょっと温度を高くして欲しかった。有料ゲームは利用しなかった。ダンスは人生で数えるほどしかやったことがなかったが、雰囲気の良いところでやるととても楽しかった。
7. ジムにはたくさんの機器があり、サウナまであり、とても充実していた。海や夕日などを見ながらの運動は爽快だとは思いますが、クルーズに乗ってまでしたいかといわれると、微妙だと感じた。カジノに入るのは初体験で、雰囲気を感じるだけでも面白かった。カジノはチップを介するので金銭感覚が麻痺することを体感した。ギャンブルというのは、終わった後に初めて、辞め時が分かるのだと実感した。悔しい。
8. 人生初めのカジノに行って、5 ドルだけ使って遊んでみたが、本当に運だということがよくわかった。でも、増えていく時のワクワクはとても面白くて、上限決めて楽しむ程度に遊ぶのが一番いいなと感じた。他大学の方もルーレットやブラックジャックをしていて、入ったことのない世界でルールも何も知らなかった私は見ていただけだけど、大きなお金が目の前で動いていると

感じたらとても面白いなと思った。

9. ジムは日本にあるような内容でそこまで変わらなかったが、海を眺めながら鍛えることができる点が新鮮でとても満足できた。サウナにも入ったが、温度が低いように感じた。そもそも日本と海外でサウナの温度に差があるのか走らないが、なかなか汗かかなかった。ボーリングは値段が高すぎる。一週間我慢してスポッチャいった方がお得。ダンスレッスンに一回参加したのだが、そもそも船に乗っているお客さんの年齢層が高いのか、来てる人は大体ご老人ばかりでアウェイ感がすごかった。
10. 私が一番驚いたのは、夜の後方デッキがクラブみたいになっていて、陽気な人達がたくさん踊っていたことである。初めてそこに行ったときは、クラブ状態になっているとは知らなかったのが本当に驚いた。最終日に初めて体験できたスライダーもとても楽しかった。3種類もあって、それぞれ違いがあって面白かった。また、スライダーの近くにあったアスレチックは、風があったりして、下から見ているよりも怖かったけど十分満足できた。
11. たくさんの船内施設を堪能した。ジムでは、ただ走るだけでなく、他の乗船客の方から教えてもらいながら、今まで使ったことのない器具にも挑戦してみたり、サウナに入ったり、十分に身体を動かすことができ、それが気持ちいいと感じ、地上に戻ってもジムやサウナに通いたいとまで感じた。体育館は、他の乗船客とコートに分け合いながら遊べるほどに広くて、バスケやサッカー、バレーボールにハンドボールまででき、時に他の団体と混じって一緒に楽しめた。日本ではなかなか無い光景だった。初めて体験したのは、カジノと夜のクラブのようなダンス、そしてスイーツビュッフェである。カジノはテーブルで実際に参加する勇気がなく、スロットをするか、外からテーブルを見るだけであったが、初めて生で見る光景で、次にできる機会があれば、実際にチップを触って、賭けてみたいと感じた。夜のクラブのようなダンスは、お酒が入っているように皆が開放的に踊っていて、曲も勝手に体がノッてしまうような曲で私も踊れて、身内だけで踊っていれば離れているところから他の乗船客も混じり、輪になって踊って、言葉を使わずに全力で楽しめた。スイーツビュッフェは、見た目が楽しくて、美味しそうで、揉みくちゃになりながらスイーツを取って面白かった。スイーツは日本とは違って、砂糖の塊のように甘くておもしろい外国のスイーツで、食べるのに苦労したのも良い思い出である。他にも、アスレチックでは、真下が海で、潮風が吹いている状態で綱渡りのような体験ができるため、よりスリルを味わえることができた。プールサイドのジャグジーは泡がぶくぶくとしていて気持ちよかった。日本海のり

アス海岸に住んでいた身としては、一面に広がる水平線も、朝日も、初めて見る光景で感動した。海の近くで、そして夕日のきれいな場所で育ったため、海も夕日も、もともと好きであったが、さらに海が好きになるとともに、朝日の綺麗さも知ることができた。バースデーサプライズは、バーやレストランという雰囲気のある場所に、ネイティブなバースデーソングも相まって、とにかく最高だった。フェアウェルパーティーでは、着飾ったり、スワロフスキーの階段で写真を撮ったりも特別感があるが、何より、海に囲まれた船上で行われていることが特別であるように感じた。船の生活は、初日は慣れず、胃腸の調子が悪くなったり、揺れて睡眠が浅くなってしまったりしたが、次の日には熟睡でき、揺れが心地よく感じるまでになった。船での生活に気持ちよさを覚えて、もう一週間ほど船で生活したいと感じた。

12. カジノは、初めてであったので、ブラックジャックやルーレットなどのやり方が分からずに少し困った。カジノの初心者講習会もやったようだが、参加できなかった人のための遊び方・ルールが記載されている紙などがあれば良かったと思う。スロットはカードのチャージ方法や遊び方が分からず、日本人の方の船員さんがいなかったら楽しめていなかったと思う。
13. ジムに 3 回ほど行った。ジムは人生で初めてだったのだがいろいろな機械を試すことができるとても楽しい場所だと感じた。ちょっとした空き時間に気軽に來ることができるとてもいいなと感じた。サウナもあり本当に充実していると思った。ダンスパーティーにも2回ほど参加した。THE 海外といった雰囲気だととても刺激的だった。日本では恥ずかしがって踊ったりできないのだが、この場でなら楽しく踊ることができた。
14. 船内施設の体験として、ジムは 3 回以上利用した。ランニングマシーンでは、カロリーや走った距離、走った時間などが分かるので、ビュッフェやレストランで食べすぎた分、消費しようという目的で何度も利用した。ランニングマシーンだけでなく、ほかの機材も試すことができ、いろんな部分を鍛えることができたため、とても満足した。スポーツ施設も数回利用し、バスケやバレーサッカーなどさまざまなスポーツができ、とても楽しめた。
15. ジムは友人たちと 3 回ほど行き体を動かした。食べ過ぎたときなど、気が向いたときにすぐに運動できるのがとてもよいと思った。ゲームは有料だったので全くしなかったが、今思うとできることはすべきだったと少し後悔している。カジノについて、人生で初めて行ったので不安が大きかったが、日本人のスタッフの方に教えてもらい、安心して楽しめた。遊び程度にするつもりだったが、初日に勝ったので結局 3 回行き、合計で 35 ドルほど勝つことが

できたのでカジノが好きになった。

16. ジムを私は普段利用しないためどれくらい充実していたのか分からないが多くの機器類があったように感じた。カジノはとても楽しかった。最終日に20ドルをかけた。初めの15ドルはいつの間になくなってしまい泣きの5ドルを最後にかけた。するとだんだんいい感じになってきて機械を撫でれば撫でるほど機械が頑張ってくれて20ドルまで増やしてくれ±0で終わることができた。人生で一度も賭け事をしたことがなくあまり好きではなかったがこのような機会に経験としてやってみることはとても大切だと感じた。また普段絶対に賭け事をしないゼミ仲間がカジノにはまっているのを見て新しい一面を見ることができた。これを機に無理のない範囲で賭け事を行ってみるのもいいなと思った。またやりたい。スポーツ施設もとてもよかった。ボールの貸し出しがあったためいろんなスポーツを楽しむことができた。最終日に他の大学と一緒にバレーボールをしたのがとても楽しかった。
17. 船内では主にジム、カジノを利用した。ジムはランニングマシーンなどの機械が豊富にあり、充実していて使いやすかった。また、6時から22時まで空いていたので使いやすかった。カジノは日本では認められていないので、体験することができてよかった。ルールが分からなくてスロットしかできなかったのも次、もし利用できるならテーブルのカジノに挑戦してみたい。
18. ボーリングやVR、FIのゲームに関しては利用してみようと思っていたが、料金に関する抵抗がありなかなか手が出なかった。一方でカジノやジムに関しては何度も足を運ぶほどだった。特にジムに関しては、ジムで働いていることもあり、かなり最新の機器が使われていることが分かった。どの施設も使ったものに関しては、大満足できるものばかりだった。
19. 特に終日航海の日には、開催された各種パーティーへの参加やスポーツ施設を利用しての、運動する機会の獲得（特に、クルージング中には運動量が減り、食べる量が増える）と有意義な時間の使い道となった。また、1ドルでカジノを体験できることも私にとって大きな経験であり、そのほか屋上のプールやウォータースライダーも楽しむことができ、充実した洋上生活を送ることができた。
20. 自分はダンスパーティーと最終日にカジノを体験したが、どれも十分に楽しめた。特にダンスにおいては、老若男女全員が楽しめる内容となっており、ご高齢の方向けの70s~90sをテーマとしたダンスパーティーやDJが選曲する若者向けのダンスパーティーが開かれるなど、すごく考えられているなど感じた。（自分は曲がかかればすぐに踊っていました）カジノで言えば、

日本では楽しめない世界観を楽しめ、海外に来たという感覚を、身をもって感じる事ができた。(トランプを使うカジノは、富豪たちが多く近づきにくい雰囲気は漂っていたが)

21. ジムでは、更衣室にシャワーとサウナが完備されており、またバスタオルもあったので非常に良かった。また、眺めも最高だった。また、ダンスパーティーでは、たくさんの人が一気に集まり、踊ることができ、また、楽曲も聞いたことあるものばかりだったので、楽しかった。
22. 船内は年齢層が高めに設定されている一方で、DJ によるホライゾンバーでのパーティーでは私たちしかおらず、とても躍りやすく楽しめました。私は個人的に人混みが好きではなく、通常のクラブは避けているため船上のダンス系のイベントはゆとりがあって楽しかったです。カジノはお金のことやシステムのことを考えすぎて正直あまり楽しめませんでした。
23. 船内施設に関しては基本的に無料で使えるものしか行っていないが、ジムやプール、サウナ、卓球、ミニボードゲームなどがあり、無料でも十分楽しめるものが多かったし、飽きなかったと考える。また、唯一有料なもので遊んだこととしてカジノがあげられる。カジノは様々な種類のものがあり、お金さえあればいくらかでも楽しめる場所だと感じた。表記がすべて英語だったため初めての人にはルールを理解するのが大変だと考える。私はルーレットを体験して、日本ではできない経験なためすごく刺激的だった。
24. 私は、ジムとカジノを個人的に利用させて貰った。ジムに関しては、ランニングマシンが半分を占めていて、走って運動したい人にはとても魅力を感じる事が出来ると思うが、身体の部位を鍛えたい人からしたら機材が少なく、物足りなさを感じた。ジムの更衣室にあるサウナも扉の下が開いており、熱々のサウナではなかったことが物足りなかった。カジノでは110ドル勝つことが出来たためとても満足。
25. ジムはフィットネス器具が多かったが、重量計の器具も少数ながらそろっていてすべてのターゲット層にマッチしていたと思う。ダンス PARTY では推しのダンサーと仲良くなれたり、距離が近くダンスの世界に没頭できた。スポーツコートでは他の外国人乗客と即興でチームを作り英語でコミュニケーションをとりながら遊べたことから、乗客同士のつながりの場があったのがよかった。
26. 船内施設で特にジム、体育館、ダンスパーティーでは今までにない経験をして夢のような時間だった。中国とイタリア、カザフスタン出身の乗船客と、スマート・クルーズ・アカデミー参加の他大学の学生とカブクでバレーコート

立てて3時間も試合をした。14,15歳と若いのに僕らよりも運動ができて海外の方の運動神経の強さに圧倒された。点数で何度も揉めたり、ずる賢いプレーをしたり、問題はたくさんあったが、スポーツは言語の壁なく交流を深められるものだと知った。

27. 船内の施設で一番思い出に残ったのはカジノだ。やはり、日本では経験することは出来ない雰囲気、知らない人とギャンブルをするという楽しさを経験することができた。今回のクルーズでは負けたが、また機会があったらスロットやバカラなどいろいろなゲームに挑戦したいと考えている。
28. 全て船の中にあることを忘れてしまうくらいにクオリティが高く驚いた。ジムに関しては、使い方の説明が機械に書いてあり、ペースは機械の画面に出てくるタイミングに合わせればトレーナーが居なくてもしっかりトレーニングできた。困ったことがあればクルーの人がすぐに助けに来てくれた。また、カジノでは、ルールが一切わからなかったがプレイしている年配の方に教わりながらルーレットを体験した。貴重な経験であった。
29. 船内の施設では主にダンスパーティーに参加していました。今回の旅はカジノは様子を見るだけでした。私のなかで一番印象が残っているのはバスケットコートで見知らぬ外国人の人とバレーボールをしたことです。日本では体育館で出会った人と自己紹介をしプレーすることはあまりないと思いますが、みんな初めましての状態から友達になり仲良くなれたのが印象的です。
30. FI とカジノは人生経験として絶対やるべきと思いました。カジノは一人よりもみんなで行ってワイワイやるから違う楽しみがありました。スポーツ体育館？は貸し出し制限があったのとバレーのネットが最初張れなかったのが難しかった。貸し出し時間ももう少し長くても良いんじゃないかなと思いました。ジムは器具が充実していてとても良かった。
31. 船内施設の体験については、ダンスパーティーが一番好きだった。普段の日では、私たちアジア人にとって音楽やダンスを解放して楽しむことは難しいのですが、クルーズでは、私でもリラックスして楽しく踊ることができ、素敵な時間だった。
32. 船内施設での体験について、ジムはクオリティが高く器具の種類も多く非常に楽しめた。時間内なら自由入退室だったのがありがたかった。ダンスパーティーが一番好きだった。おじいちゃんおばあちゃんたちもノリノリでかわいかったし、ダンスも踊りやすく僕でも楽しむことができた。

乗船港(横浜)での感想

(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. 乗船港(横浜)での評価は100点中90点だったと考える。私自身初めてこういったクルーズ船に乗船したのですが、港までのシャトルバスの手配や出国までの手続き、船に乗る前の写真撮影等のサービス含めてかなり満足度がたかかった。逆に満点に達しなかった点として雨が降っていた中でテントの下を移動したのだが、想像よりも服や荷物が濡れた点が満点に届かなかった理由としてあげられる。
2. 横浜港での感想は、今回の船が大きいこともあり、バスで違う港に移動したから乗船した。このバスに乗ることは仕方がないことではあるが無いに越したことはないと感じた。港の近くに横浜中華街や赤レンガ倉庫があり、観光地としての魅力はすごく感じた。港の場所がいいと思う。
3. シャトルバスの乗車場(山下ふ頭)は駅から近く立地が良かった。乗船時の荷物アナウンスや船までのシャトルバスなどの案内も快適だった。横浜に関しては、付近に観光地が複数あるが、広大な港がそれ自体で見ている飽きないものだった。乗船直後のターミナルは広大で雨に濡れることもなかったので施設は充実していた。
4. 山下ふ頭から大黒ふ頭へのバス、アクセスが大変であった。船が大きい分、港近くまで入れないため、乗船の位置が遠くなったとお聞きした。駅周辺から船までスタッフが駐在しており、迷うことなくスムーズに乗船ができた。観光地としての魅力は大いにあると思う。実際横の中華街には海外の方が多く、飲食、写真スポットなど多く、港としては是非立ち寄りたいと思う。
5. 乗船港ではクルーズに登録する際の顔写真をとるなどの手続きを行ったが、とてもやさしく対応してもらった。ベリッシマの全体写真の前で写真を撮ってもらったが、そこで写真を撮ってくれたスタッフも気さくでノリがよく、写真撮影でさえも濃い思い出となった。
6. 乗船時間が少し遅く、他の乗船客が少なかったこともありスムーズであった。パスポートと乗船券を事前に手元に用意しておけばそれを見せてすぐにシャトルバスに乗ることができた。乗船直前の手続きもスムーズだったと思う。ただ、乗船前に撮った写真が何に使われるのか説明が欲しかったと思う。

乗船港(神戸)での感想

(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. クルーズ船が寄港する港からゼロ距離のところにポートターミナル駅を設置し、交通の便を最も良くしていた神戸港が、自分の中では最も評価が高かったです。クルーズ船観光客の経済効果を確実に地元経済の振興に利用していくためには、多くの観光客になるべく多くの時間とお金を使える余地を残したまま寄港してもらうことだと思います。ゼロ距離で電車で飛び乗ってすぐに市街地に向かえる神戸港のスタイルは非常に経済的であり、クルーズによる経済効果を最も効率的に地元還元できるスタイルでは無いかと感じました。
2. 神戸港はポートターミナルの駅から非常に近いため利便性が極めて高く、三ノ宮に近いため観光地としての魅力は非常に高いと感じた。他の港との比較にはなってしまうが、シャトルバスや長い徒歩を経由することなく市街地に向かえるというのは寄港において大きなメリットであると思う。実際に、中華街など近場に向かう観光客が多かった印象にある。
3. 神戸港は視察で 2 回ほど訪れたことがあったが、実際に利用者として行くのは初めてだった。三ノ宮というターミナル駅から電車で一本で行けるのは便利で立地的には良いと感じた。乗船時の対応としては、日本語が話せるスタッフがほぼおらず、最初どこに行けばよいか戸惑った。英語が苦手な高齢の方はツアーのアテンド等いないと大変そうな印象を受けた。観光地という観点では、神戸自体もちろん大阪、京都、奈良など近くに観光地が沢山あり、クルーズの寄港地としてもってこいの港だと思う。
4. 電車から降りて、乗船するまで非常にスムーズでした。MSC の海外のスタッフのかたが陽気に話しけてくれ、荷物を預けて、手ぶらで部屋に行くまで想像よりもかなり早かったです。観光としては、神戸のうりが港であるので、アクセスのしやすさや、景観、中華街などととても整っているのではないかと思います。
5. 神戸は観光で何回も訪れたことがあるが、南京町や異人館街など観光地として魅力的なだけでなく、整備されたターミナルや高速道路、高速バス、電車での便利さも含め、寄港地としてかなり良い環境なのではと考えた。明石海峡大橋の下をくぐれたら瀬戸内海航路も確保できてさらにいいコンテンツが増えたのにな、と考えてしまった。

6. 他の港とは違って、公共交通機関が港のすぐそばまであったので、とても便利だった。建物の中は広くて、使い勝手が良かった。神戸港では MSC 以外の人は関わらなかったのも、特になかった。神戸は大阪、京都に近いので、そこに観光に行く人にとってはとても便利な港だと思った。しかし、神戸市港湾局の人もおっしゃっていたが、神戸に立ち寄らずに、大阪、京都に行ってしまう課題はついてくるだろうなとは思った。
7. 神戸は乗船港だった。遠目にターミナルを見たことはあったが、中に入るのは初めてだった。動線や手続きなどは案外簡素なものだったが、他の港と比べると、一番しっかりとしていたように思う。甲板から神戸の街並みを目にすると見覚えのある建物が立ち並び、横の船が小さく見え、感慨深かった。
8. ポートターミナル駅に今まで行ったことがなかったが、とても整備されていて綺麗な所だと感じた。駅も神戸から近く、駅から乗り場までもすぐでとてもアクセスのよい所で行きやすかった。神戸は普段からよく遊ぶところだけど、船での出航の時、やっぱり夜景はとても綺麗だと感じた。観覧車がベリッシュマ仕様の模様になっていて驚いた。
9. 神戸港は乗船場所までのアクセスが非常に良い。公共交通機関があるので、ものの数分で三ノ宮駅まで行ける。ただ、乗船場所付近には何も残念。ポートターミナル駅に着いてから、お茶を買いだいたいと思ったが、周りにコンビニも無く、買わずにあきらめた。確かにそんなに頻りに船が止まるわけでも無いからコンビニを作っても客が来なくて潰れるとは思ったが、小さな売店でもいいから何か店はあった方が便利だと感じた。
10. 他の港と比較して、圧倒的に交通のアクセスが良いと思った。荷物を持っているとクルーの方が声を掛けてくださり、丁寧に案内して下さった。神戸の夜景は有名で何回か見たことはあったが、海側から夜景を見ることは初めてだったので新鮮だった。出港する時にポートターミナルからたくさんの方が手を振っていて、船に関心がある人が多いのかなと思った。
11. 神戸にはたくさん突堤があるのだと再確認した。コンチェルトなどが停泊するところ以外に、今回のような大型の船が停泊できる港があり、ターミナル施設もあることは、他の港にはなかなか無い魅力的な部分だと気づいた。ターミナル施設は広くて、十分な人が収容できる空間があり、パスポートや乗船券を引き渡す作業も簡単であつという間だった。ターミナルを探検することはなかったため気づけなかったのかもしれないが、神戸の観光マップ(移動方法や移動時間も記載したマップ)やお土産を販売できる場所があると良いと感じた。神戸の乗船のため、観光はしていないが、出航する時に

みた神戸の夜景はとても綺麗だった。船が大きいので、デッキからは広範囲の神戸のまちを見ることができた。六甲山からではなく海側から見る夜景は新鮮で、山から見るとまちの動きが見えるようだった。出航時、停泊所からいくつかのライトが左右に振られ、お見送りをしてくれていて、ずっと振ってくれている人もいて、少し寂しく感じた。

12. 港の入り口や手荷物預けなどの流れがよく分からず、案内されるがまま動いてしまい、友人とはぐれてしまったことがあったので、乗船前の手続きや流れを事前に伝えておくか、看板を立てる等をして欲しいと思った。出港する際は、いくつかある港の中で、神戸港が一番、大勢の人が見送りをしてくれて、自分たちを歓迎してくれていることが伝わった。
13. ターミナルに到着した時に先に荷物を預けていいのかがよく分からず他の大学と違った行動を取ってしまったのが少し残念だったことだ。ターミナルで働く方々はハキハキとしていて頼りがいがあると感じた。ただターミナルの周りには何もなく、コンビニまでも遠いという点は気になった。
14. 神戸での乗船時の受付は、部屋ごとに行われ、比較的スムーズに行われた印象であった。また、ポートターミナルから三宮や南京町などの観光スポットから少し距離があるため、南京町や Be Kobe などの観光スポットに向かう無料シャトルバスは便利だと感じた。
15. ポートライナーに乗りポートターミナル駅に着くと、すぐにターミナルがあったので非常にアクセスが良いと思った。スマート・クルーズ・アカデミーで参加していることをスタッフにうまく伝えられず、集合より先にチェックインしてしまった。スタッフの方も焦っていたようで話をしっかり聞いてもらえない様子だったので少し困った。神戸は、ターミナルと観光地が、ほかの寄港地に比べて近いと思うので、クルーズ船の寄港地としては最適だと考える。
16. ポートターミナル駅はとてもきれいだなと思った。友達が乗船券のコピーを忘れコンビニダッシュしていたので施設を詳しく見ることはできなかったが新しさを感じるものが多かった。待っている時から炭酸水の無料提供がありとても嬉しかった。船に乗るときの船員の対応は特に違和感はなかった。私は神戸に住んでいて当たり前感じていたが船から見た神戸の港町は他の港町よりも充実していて景色も綺麗だった。海から神戸の街を見ることもなかなかなく非常にいい経験になったと思う。
17. 駅に着いてすぐのところで荷物を預かってくれたので、手軽にターミナル内を移動することができた。ターミナルには今まで行ったことがなかったので、想像していたよりも広くて綺麗だったことに驚いた。神戸は南京町や水族館

があり、施設面での楽しさはあるけど、外国人が何かを体験できる体験型の施設や伝統的な文化財などに触れられる機会があまりないので体験型のイベントを求めている人達にとっては物足りなさがあるのかなと思った。

18. 神戸は、自身の大学があることもありよく足を運ぶ場ではあるが、港のほうまではなかなか行く機会がなかった。そのため、あれほど大きな船の接岸も可能であることは知らなかったし、観光地として以外の魅力があることも知ることができた。乗船時もスムーズで臨機応変な対応を見ることができ、飛行機の搭乗時のような殺伐とした空気が見られないことも良かった。
19. 他の寄港地よりも立派なターミナルであり、神戸空港からもモノレールで直結しているなど、クルーズ船の受入れに非常に長けていると感じた。観光地としても、神戸から大阪や京都に日帰り観光することができ、神戸港寄港時の乗客による経済活動に大きな期待を持つことができ、関西エリアに大きな影響を与えていると感じた。
20. 神戸港は、さすが昔からの港というだけあって、非常に乗船施設も充実して何も困ることはなかった。しかし観光地としては、南京町の中華街や三宮の街など少し港から離れる必要があるため、アクセスの面では少し不便かなとも感じた。
21. 荷物を預けるのも非常にスムーズで、整理券のような番号をもらい、パスポートチェックやキャビンのカードの受け取りができたので、ほとんど並ぶことがなく、快適だった。また、ポートライナーからすぐ近くなので、交通の便が非常によく、移動においても非常に快適だった。
22. やはり、今回の寄港地の中でも圧倒的にアクセスがしやすく、かなり便利だった。乗船時もスムーズで快適だった。観光に関しても、今回はしていないが中心地に近いため観光も比較的濃密に楽しむことができるのではないかと感じる。また、船を間近で見ることができるスペースがあった点も良かった。(写真撮影のしやすさなど)
23. 神戸では、あまり観光することはできませんでしたが、散歩をしたのでその時のことを書きます。夕方に買い物がてら散歩をしたのですが、街並みがとても綺麗で気持ち良かったです。特に加納町にある大きな広場は街の中でも緑が多く、地元の若い人々が友達や恋人とゆったりとした時間を過ごせるような空間で癒されました。個人的には、神戸市立博物館で期間限定でジブリ展示されていたので観にいきたかったのですが時間がなく行くことができませんでした。
24. 暖かい対応でとにかく人が多かった。乗船するだけなのにこんなに人が来

るのか。出迎えられるのかと驚いた。観光地としてもそもそもの人口も多い
ため地元とは全然違うなと実感しました。大きな港なのでそれだけの人数
がいるのも納得ですが全体的に雰囲気の良い港だと思えました。後、夜景
綺麗ですね。

25. 神戸での乗船はチェックイン時間を過ぎていたため、どこで乗船すればい
いのかわからず混乱しました。しかし、中国人クルーのおかげで無事にチェ
ックインすることができた。私は英語も日本語もあまり得意ではないので、
質問したいときに中国語を話すクルーがいたのはとてもうれしかった。

26. 神戸での乗船の際は、チェックイン時間が過ぎていたために乗船する場所
が変わっていて混乱した。英語対応が難しかったが、親切なクルーのおか
げで無事乗船することができた。実験でもっていったかぼちゃがOKで、延
長コードが持ち込み不可だったのが意外だった。また出港時にはたくさん
の方々がお見送りをしてくださり、神戸の美しい夜景と相まっていい思い出
になった。

"寄港地(広島)での感想

(港・ターミナルの施設評価、観光地としての魅力など)

1. バスの接続が、五日市駅か宮内串戸駅行きであるという点が、少し物足りないと感じました。クルーズ観光客の需要と自治体のリソースを考慮すると、原爆ドームや平和公園等の集客力のある観光地を持つ広島市内と、厳島神社を持つ宮島に絞った観光政策(自治体からもシャトルバスを出すとか)があると、より効率的に観光客がお金を落とす構造ができるんじゃないかなと思いました。
2. 下船の手続きは非常にスムーズで、広島市内・五日市駅・宮島方面といった複数方向に対してシャトルバスが無料で運行されていたため、港のアクセスの悪さを解消するだけでなくお財布にも優しい印象を受けた。観光地に関しては宮島や原爆ドームなど一度は見ておくべき観光地があり、集客力があるが、寄港時間の短さがネックでどちらもにはいけない点が残念であった。
3. 各駅への無料シャトルバスが運行していてとても助かったと同時に、これだけのバス、運転手さんを稼働して料金を取らないのは日本人のおもてなしを感じた。濟州ではシャトルバス代がかかったのと比較すると、採算の観点から広島含め日本の港も料金を取ってもいいのではないかと感じた。広島は原爆ドームと厳島神社が二大観光地だが、船で出会った外国人と話してみると特に厳島神社は外国人受けが良かったように思う。ただ、日本人はもう両方とも行ったことがある人も多そうだったので、原爆ドームと厳島神社以外にも何か看板となる観光地があればより良い街になると感じた。
4. 非常に楽しかったです。初めての広島であり、厳島神社も行ってみたいところであったので大変満足でした。下船から、バスへもスムーズでした。どこに行けるのかという特徴が書かれていたらいいかなとも思いましたが、係の方がその場で丁寧に案内もされていたので、それが担保されているなら現状のままでも良いと思います。
5. 広島の良い点はみんなが向かいそうな観光地方面に無料のシャトルバスが出ていたことで、港周辺の交通網の発達こそ神戸港に劣っているものの、サービスとしては劣らないのではと思った。ただ少し謎だったのが、宮島方面へのシャトルバスがなぜか宮島口の 2 駅ほど前で降りなければいけなかったのが、宮島口駅までバスに乗せてくれればよりよい内容になった

のでは、と身勝手ながら感じた。

6. 広島は船を降りてから、バスに乗るまで少し歩いたが、大した距離ではなかった。バスが宮内串戸駅までだったが、そこまで行くなら、宮島口まで行って欲しかった。観光地としては宮島と原爆ドーム含め広島市があるので、クルーズで立ち寄るには時間が足りないぐらいの充実度だった。
7. 講演などで聞いていたが仮設のターミナルで簡素さを感じた。しかし、機能的には十分のように感じ、役人の方が課題として挙げていた割には、何とかなっているように感じた。シャトルバスは十分にあったので、交通手段に関しても特に不満はなかった。観光地としては厳島神社を訪れたが、シャトルバスを含めアクセスはよく、原爆ドームなども近いようなので、十分に魅力的だと感じた。牡蠣を食べ損ねたことが悔やまれる。
8. 広島は、シャトルバスのおかげで駅まで無料でスムーズに出れたのがとても良かった。それがなければアクセスは少し悪いのかもしれないけど、帰りもシャトルバスで帰って来れたのでとても便利だった。初めて観光したけど、宮島に行く時間もあつたし、観光を十分楽しめた。
9. 正直かなり驚いた。昨日つくったんかな?と思ってしまうような一夜漬けの港。ベリッシマまのような船を止められる場所があそこしかなかったのはしょうがないが。。。日本でクルーズが浸透しない。海外ではかなり主流と紹介されていたが、そもそも港の周りが不便すぎるのと、ターミナルと呼べるようなものが無いということが原因で船会社もお客さんも来たがらないのでは?と感じた。空港の方が公共交通機関が充実していて行きやすいから、という理由で飛行機に負ける。昔、滑走路の数が少なかった成田空港は着陸待ちになってしまい、無駄に燃料も消費するし、時間もかかっていたが、今は滑走路が増えたことで様々な航空会社が定期便で来るようにもなったし、増便する会社も出てきた。小さい不便な港にはお客さんだけでなく、船会社も来たがらないと思う。港を拡大させることで多くの船が着陸するようになり、自然とお客さんも増えるのではないかと感じた。
10. 船から下りるとスタッフの方が丁寧に案内してくれて、スムーズにバスに乗ることができた。広島は平和記念公園と宮島が観光名所として有名だ。港から無料バスが出ているおかげでどちらにもアクセスがしやすかった。宮島にある店は、私達が到着してから間もなく閉店していったのでお土産を買うことができず少し残念だった。店の営業時間について事前に知れるといいなと思った。最後、船まで戻るのにタクシーを利用したが、普段観光用に港が利用されていないためか、運転手の方に行き先が上手く伝わらなかった。

11. 広島といえば、宮島や広島風焼き、原爆ドームというイメージがあって、クルーズ船が停泊できるような港も、有名な企業も、コンテナ貨物の多さも、イメージがなかったため、広島に着いた時は驚いた。知っている企業がいくつか立地していることもそうだが、特に、完成自動車がずらりと並んでいた様子が印象的だった。コンテナ貨物の多くが自動車部品であることも初めて知った。神戸とは違い、観光地としての港が出迎えるというよりは、企業の集積地に出迎えられた感覚だった。ターミナル施設は簡易的で歓迎されている感覚はあまり感じられなかった。シャトルバスは常に運航しているようで便利だが、最終便の把握がしづらかった。観光したいであろう最寄りまで出ていることはありがたかった。五日市は栄えてるのか、ご飯食べたあとシャトルバスで帰れるのも良いと感じた。宮島には初めて行ったが、横丁のように出店がたくさんあって楽しかった。しかし、夕方頃にお店が閉まり始め、神社も早く閉まるため、広島入港はもう少し早めがよかったのかもしれない。もう少しゆとりをもって観光したかった。
12. 色々な団体の方が歓迎してくれたり、各方面に向かうシャトルバスもあったりして、受け入れ体制が整っていると感じた。シャトルバスの案内をしてくれた方や、バスの運転手の方がとても優しく親切に対応してくれたことがとても印象に残っている。広島港は宮島や規模が大きい駅が近くにあったため、観光地に行けてご当地グルメも食べることができたので大変満足した。
13. 広島港はすごく活気のある港だと感じた。人がたくさんいて、行きたい場所を伝えるとこれに乗ればいいよと優しく教えてくれた。雨が降っていたので下船後傘を差さないとターミナルに移動できないのは少し不便に感じた。シャトルバスの運転手の方がとても優しく、帰りは何時にバスがあるよと教えてくれたのがうれしかった。
14. 広島のターミナルは思ったよりも規模や設備に関しては、他の下船したターミナルと比べて程度が小さく感じた。しかし、無料のシャトルバスを利用して、安価で厳島神社に行くことができた点は、とても良かった。また、観光にあまり時間がとれなかったため、次は時間を取ってたくさん広島を観光したいと感じた。
15. 広島の観光地と言われると宮島が1番に思いつく。私と同じ考えの人が多かったからか、スマート・クルーズ・アカデミーで同じだった他大学の人のほとんど全員と宮島で会った。ターミナルから宮島は少し乗り換えが多く、時間がかかってしまった。しかし、ターミナルから駅へ行くシャトルバスがあったのがとても便利で良かったと思う。シャトルバスに間に合わなかった人は

タクシーで帰るなどの方法をとっていたので、もう少し遅い時間のシャトルバスがあればさらに良いと思った。

16. 神戸に比べて劣っているようには感じたが特に不自由な点はなかった。私たちはゼミで厳島神社に行った。宮島に行くまでも船に乗り船ばかり乗ってるなどと思った。初めての宮島でも楽しかったが時間が遅く神社の中に入ることができなかつたのがとても残念だった。しかしそれまでの道中で牡蠣や揚げもみじ饅頭を食べることができたり、鹿と触れ合えたり、顔はめパネルで楽しめた。その後一部のメンバーで広島焼を食べに行った。1200円という値段でボリュームな広島焼を食べれた。私が食べたものは麺ではなくうどんが入っており初めての食感だった。また食べたいと思った。
17. 無料のシャトルバスを複数出してくれていたたり、外国人への観光案内として複数人のボランティアの方がいたりしたので、歓迎してくれている感じがとても伝わってきた。シャトルバスで宮島まで行けないからこそ、宮島までの道中、電車内からの市内の様子を見ることができたし、地元の公共交通機関を使用して移動することができた。広島に行ったら絶対に行きたいと思っていた宮島に行くことができて満足した一方で始めに「宮島に行く時間はないかもしれない」と言われたときに船に残っておくか考えたので広島内の複数の観光地を広島に着く前に知れる機会があればいいなどと思った。
18. 港に関してはそれほど深く観察することは出来なかったが、バスと電車を取り継いでいった宮島は、きれいな島で観光にはもってこいの場所だという気がした。他の港でも同じことがいえるが、短い滞在時間はすべての観光地をみることができないというデメリットを抱えているが、同時にまたその場所を訪れたいと思わせることにもつながるという点でメリットにもなるのだと感じた。
19. 五日市の港（宇品港の様子がわからない）では、ターミナルが整備されておらず、今後 MSC ベリッシマ級のクルーズ船を積極的に受け入れていくなれば、整備する必要があると感じた。五日市の港からシャトルバスが出ていたので特段の不便さを感じることはなかったが、公共交通機関（特に鉄道）があればより多くの人利用しやすくなると感じた。
20. 広島に降りた際は、降りるとすぐにシャトルバスが待っていてくれて、観光地へのアクセスもしやすいと感じた。しかし、広島で観光するとなると、どうしても宮島に集中してしまい、また宮島もバスから降りて、また船に乗って移動しなければならないため、時間がかかってしまい、そこは少し不便に感じた。
21. 無料シャトルバスを3個の目的地別に用意してくれていたため、観光をする

際も非常に助かった。どのシャトルバスに乗ればよいか迷っていたところ、近くいた方が、丁寧に説明してくれ、無事目的地に着くことができた。あまり時間はなかったが、宮島が意外と近く、観光もできた。

22. 広島は港が郊外に位置しており、船を降りてからかなり歩く印象だったが、シャトルバスが充実しており、公共交通機関のアクセスはあまりよくないものの、そうしたサービスで補っている点が印象的だった。ただ、本当に「ターミナル」としての役を担っているという印象だった。
23. 寄港地（広島）での評価は100点中85点だったと考える。かなり手厚い説明とシャトルバスによる送迎があり、とても満足度が高かった。あいにくの天気の中でも広島観光を十分に楽しむことができたと考える。1つ不満点があるとすれば、シャトルバスの送迎先の駅である。送迎先の駅は比較的小さく電車の乗り降りや移動が大変だった。それならば観光地に直接送迎するのも1つの手なのではないかと考える。
24. 広島の港での感想は、もっと歓迎パーティーみたいなものを行ってほしかった。広島に着いた実感があまり湧かなかった。観光地も時間的に宮島と五日市駅周辺でお好み焼きを食べることしか出来なかった。宮島はほとんどのお店がしまっていたため、揚げ紅葉を食べることが出来なかった。もう少し営業時間を延ばして欲しい。夕日と宮島の鳥居はとても魅力を感じた。
25. 各方面への往路シャトルバスに関してはスムーズに乗車・発車して問題なかった。ただ、復路バスに関しては乗船場所や時間などの案内がなかった（あったのかもしれないが把握できていない）ため、帰りの予定を立てにくかった。宮島や広島市内が遠くないため観光地としての魅力はあった。ただ、外国人観光客に聞いたところ、ヒロシマ=原爆ドームの印象が強く、宮島の存在を知らない人もいた。情報量の偏りを感じた。
26. 港は中心地からは少し離れているが、バスや電車を使うとアクセスは比較的良かった。クルーの方と宮島行き船に乗って、船外でも海外の方と写真取ったり、宮島について話した。世界遺産ということもあり、下船する人が多かったと思う。クルーの方も美しいと言っていたので、港、観光地としては満足度が高い。帰り道は、シャトルバスが終了しており、駅周辺から約 25 分歩いて船に着いたので、タクシーかバスなどがないと駅までのアクセスはかなり悪いかと思った。
27. 最寄りの駅から歩いて行ける場所に港があり、とてもいいと思った。宮島に訪れたが、夕日と厳島神社はとてもきれいで、お土産屋さんも多く、焼き牡蠣がとてもおいしかったのを覚えている。観光スポット、食べ物共に最高の

観光地だと思った。

28. シャトルバスで駅まで向かい、宮島へ行った。宮島へのフェリーは頻繁に行き来しており、交通系 IC カードも利用できて便利だと思った。ただ、宮島へ行った帰りにお好み焼きを食べたため帰りの時間がギリギリになってしまった。クルーズ船での寄港地の観光はほどほどにして、特に気に入った場所に次回またゆっくり訪れるのが良いことを学んだ。
29. 今回のクルーズを含め私は今年で 2 回目の広島でしたが、時間は短かったものの楽しい時間を過ごすことができました。今回は、原爆ドーム周辺を散策しました。原爆ドームは何回見に来ても飽きません。折り鶴タワーも今回は展望台にはいけませんでしたが、前回訪れた際は折り紙で鶴を折り上の階の窓から下の階へと落とすというシンプルな体験でしたが普段折り紙をすることがないので家族で盛り上がりました。今回行けなかったのも、これも以前のお話になってしまいますが、厳島神社周辺も商店街がありお土産を買うことができたり、カフェでゆっくりしたり、お祭りにあるような屋台があったので食べ歩きしたり、鹿がたくさんいるのでプロのカメラマンさんが鹿と鳥居と一緒に写真を撮ってくれたり、行くまで知らなかったような事があり、想像以上に色々なもので楽しめた思い出があります。
30. 歓迎する様子や船への関心というものは少なく感じましたが気になるほどではなかったです。しかし、海外の方が宮島行くぞ! 日本だ! と楽しみにしていたのであればちょっと残念だったのかもと思いました。観光地としては現地の方も暖かく素敵な場所でした。
31. 広島で覚えているのは、駅から出ていたシャトルバスが好きで、そのあと路面電車に乗って原爆投下後に残された建物を訪れ、とてもおいしい広島焼きを食べたことだ。また、バスを待つ間、通訳として訪日外国人の質問に答えることを手伝った。
32. 広島の感想としては、宮島向けのシャトルバスが出ていたのがありがたかった。しかし宮島のフェリー乗り場まではいかず微妙な駅で降ろされたのが印象的だった。また二種類あってすこしややこしかった。観光地としての感想は厳島神社は非常に良かったが営業時間が夕方までだったのが惜しかった。夕方は特にきれいだったので是非その点も観光の一部として取り上げていただきたい。屋台も大半が四時で閉まってしまうさみしかった。

"寄港地(濟州島)での感想

(港・ターミナルの施設評価、観光地としての魅力など)"

1. 寄港時間がかかり短いと感じました。もちろん短い中でも抜群の満足度ではあったのですが、欲を言うなら濟州市にまで足を伸ばせるようながっつりした観光時間が取られているとなお良かったと感じました。神戸にはかなり長い時間停泊していたことを考えると、寄港時間が少し物足りなかったです。
2. 入国の手続きもスムーズであり、入国後も現地の方が民族衣装で迎えてくれておもてなしを感じた。クルーズターミナルからソギィポ中心部まではやや距離があったが、シャトルバスが用意されていたため安心して移動できた。自分自身が初めて韓国に行ったため、すべてが新鮮で魅力的に映り、観光地としての魅力を語るうえでのバイアスにはなるが、地元感のある市場と滝などの美しい自然が堪能できるため魅力は非常に高いと思った。
3. ターミナルに入ってすぐチマチョゴリを着た方が出迎えてくれ、日本語のうちわまで頂いてホスピタリティを感じた。濟州で驚いたのは話しかけた相手が高齢の方だったのもあるかもしれないが、ほとんど英語が通じなかったことだ。言葉が通じない分、身振り手振りで何とかこちらの言うことを理解しようとする姿勢が伝わってきて嬉しかった。日本と違う部分が沢山あったが、特にスタバが印象に残った。濟州のスタバでは、イートインとテイクアウトで値段がかなり違い、その理由がテイクアウトのプラスチック容器の上乗せ分だった。(イートインだと洗いまわしのできるコップだった)このように濟州は環境への意識だけでなく、実行に移している点で日本の遅れを感じた。
4. 関税のようなポイントはスムーズで、そこに行くまでの歩道も電動で、ストレスがなくなるようになんかなり整備されているという印象でした。また、観光地の滝2箇所はとても綺麗で、バス停地点から歩いても行けるところにあり、またマーケットもお土産からスタバ、昼食場所も多数と、さすが観光の島であるなと思いました。タクシーも安価で、学生も楽しみやすかったです。
5. 市場もあり、自然も多く、観光地ながらも少しローカルな雰囲気があって非常にいい場所だと思った。韓国軍の基地もあり、沖縄に重ねてみることもしばしばあった。税関等にもっと複雑な手続きが必要かと憂慮していたが、以外にもほとんどの手続きがスムーズでさすがだなと感じた。ターミナル自体整備されていて、寄港した場所から税関まで離れていたが歩く歩道もありお年寄りも安心して利用できるなと感じた。

6. 濟州島の港ではとにかく税関のところまで歩いたイメージがあった。動く歩道があったが、それにしても長かった印象である。観光地はすごい親切な人が多かった。また、日本に近いのもあると思うが、日本語をある程度話すことができる人が多くて、あまり海外に来た心地がしなかった。
7. 港としては、もてなしが良く、観光案内所やカフェなどの設備もよかった。観光地としては、日本人からすれば海外であるのでそれ自体魅力的である。アクセスの面でいうと、約半日の滞在で公共交通機関を乗りこなすのも難しく、ツアーやシャトルバスの利用が必須に感じた。しかし、十分に周知され、日英両方の言語を話せるバスガイドが乗っていたので、特に苦勞なく観光をできると感じた。
8. 立地が悪く、都市部の方には行けないと聞いてはいたけど、ほんとに地元のバスを使っての観光は結構歩いたし大変だと感じた。市場のトイレには本当にびっくりして、まずトイレトペーパーが外にあり、流せないというのが汚すぎて日本の素晴らしさを感じた。チェジュ島で行きたいところに行けず、迷子になった時、英語で案内してくれたとても優しいカップルに出会い、世の中の優しさを感じたし、ほんとに素晴らしい人に出会えて嬉しかった。
9. 大きくて立派な港だと感じた。税関もしっかりして印象で、税関を抜けてからも今回の旅の中では一番立派な港だと感じた。だが、場所が不便すぎる。ツアーを予約していてバスがある人は問題ないかもしれないが、ツアーじゃない人はとりあえずバス停まで15分歩いてバスに乗って街まで行くしかない。もちろん帰りも15分歩くことになる。観光できる時間が短く、もう一度行ってみたいとは感じたものの、次行くときは100%飛行機で行くだろうな、と思った。
10. ターミナルは、綺麗で広いと思った。港が街の中心から離れたところにあること、港から一番近いバス停まで徒歩で15分ほどかかったことから不便だなと感じた。韓国の人には優しかった。道を尋ねると目的地までいっしょに歩いて案内してくれた。都市部ではなかったのも、自然が豊かで綺麗な場所だなと思った。市場には魚屋さんが多く、お土産はオレンジに関連したモノが多いように感じた。
11. "チェジュ島到着間際、小型の船がクルーズ船に突っ込むように向かってる並走ってきて少し怖かった。チェジュ島のターミナルは想像以上に大きかった。空港のような長いオートウォークがあり、入国審査が終われば、チマチョゴリを着た美人な方を始めとして出迎えてくださって、日本のターミナルよりも歓迎されている感があった。飛行機に乗らずに入国審査があるのは新鮮

で、飛行機とは違い、船内で寝て食べて遊んでいるうちに遠隔地に行けるのは大きな魅力だと感じた。洋上で楽しんでいる間に韓国に着いてしまうため、着いた時は本当に海外に来たのか実感が湧かなかった。だからこそ、寄港地では「ここは韓国だよ!」「ここは広島だよ!」などとお出迎えを派手にしても良いのかもしれないと考えられた。海外でインターネットは不可欠だと感じた。特に、今回の韓国のように英語が公用語ではない国では必要だと感じた。例えば、まず観光地に行くうえでインターネットで行き方を調べるのが普通になっていることはもちろん、google マップを使って観光地に行こうとしても必ずしもルートが正しいとは限らず、現地の人に聞く時に翻訳機能に頼ることになってしまう。今回も翻訳機能に助けられた。一方で、英語ができる人も少なくなかった。今回の機会を通して、韓国人の親切さを身に沁みて感じ、韓国が好きになった。そのエピソードの 1 つ目は、滝への行き方が分からず、犬を散歩しているご夫婦に尋ねると、彼らは「分からない。」と言いながら、一緒に行き方を調べてくれて、さらに案内までしてくれて、優しさを受け取ったことだ。ご夫婦どちらも英語も日本語も話せて、優しく、素敵だと感じた。大好きになった。帰りのバス停までも教えてくれた。エピソードの 2 つ目として、ランチで韓国料理店に行き、1 テーブルに 4 人で座ったため、4 人前で 1 セットのものを注文しようとしたら、売り切れており、3 人前で 1 セットのものを注文することにして、3 人前を 4 人で分け合うつもりでいたら、スープなどは 4 人分用意してくれて、サービスが良いと感じた。他にもバスの運転手さんが行き方を教えてくれたり、お土産屋さんの店員さんは困ってる私達に気付いて、私達が聞かなくてもバス停の行き方を教えてくれたり、優しい人たちにたくさん出会えた観光となった。バス停にはタッチパネルがあって、韓国語、中国語、日本語、英語に対応していた。何分後に何系統が来るのか、どの順路を辿るのかも表示され、観光客に優しい国だと感じた。日本にも導入してほしいとも感じた。バスは揺れやすく、横断歩道では自動車がなかなか止まってくれないことは、日本と違うと感じた。滝と市場に行って、どうやらチェジュ島の南では、みかんが有名らしく、みかんのかぶりものや、みかんのシェイクや、みかんのお土産が多かった。市場は食べ歩きというよりも、八百屋さんや魚屋さんのように、新鮮な生物を売っているお店が多かった。出港時はクルーズ船を海軍のようや船が灯台まで並走していた。"

12. ターミナルは、歓迎してくれている方が思いのほか多くて嬉しかった。港の場所が利便性が悪く、有名な観光地までは滞在時間の関係で行けなかつ

たりしたので、時間が足りなかったという印象だ。ベリッシマのシャトルバスの料金も割高だったため、港は観光には不向きな位置にあると思う。せっかくの外国なので、もう少し滞在時間を長くしてほしい。

13. 下船から手続きをする場所までの距離の遠さに驚いた。行きはわくわく感があったからあまり気にはしなかったが、帰りはさすがにきつuitと感じた。チマチョゴリでお出迎えしてくださったのがとても印象的だった。そこでチェジュ島に来たんだということを感じた。私たちは市営のバスで移動する予定だったのでシャトルバスやタクシーは使わなかったが、ターミナルにはたくさんのバス、タクシーが止まっていたのが印象的だった。
14. チェジュ島のターミナルは広く、綺麗で設備が整っているなど感じた。また、チェジュ島では、市場に行ったり、観光スポットの滝を見に行ったりした。途中で、道に迷った時に親切な現地の人近くまで連れて行ってくれたので、とても良い人がいるまちだと思った。初海外だったこともあり、標識に書いてある文字や、バスに乗ること、買い物をする事などの一つ一つが新鮮で楽しかった。次は、チェジュ島の北の方を観光してみたいと感じた。
15. 下船してすぐにターミナルに入ったが、平面のエスカレーターのようなものがすごく長かった。行きはワクワクしていたのもあり短く感じたが、帰りは疲れていたからか少し長く感じた。乗船後船から見てもターミナルの長さに驚いた。ほかの寄港地に比べ、圧倒的にターミナルや港が大きかったのでさまざまな船が寄港するのかなと思った。済州島では滝を見に行きマイル市場でお昼ご飯を食べた。滝は非常に観光客が多く迫力もすごかったので、行ってよかったと思った。道やバスに迷いながらも、現地の方に教えていただき目的地にたどり着くことができ、こういった楽しみ方もあるのだなと思った。全体的に現地の人みんな優しく、また行きたいと思った。マイル市場ではお土産を買い、韓国料理を食べた。バスの乗り継ぎなどがややこしかったので14時ごろには市場を出てターミナルを目指した。そのため余裕をもって乗船の手続きをすることができたが、やはりせっかく海外に来たのでもう少し滞在したかったと思い、友人も同じことを口にしていた。
16. 船からターミナルまで結構な距離があったがその途中で済州島の有名スポットの写真が壁に貼られていて、友達とワクワクを共有していたので辛くは感じなかった。ターミナルに着くと多くの人が出迎えてくれたのが印象的だった。チマチョゴリを着たお姉さんがうちわをくれて、ターミナル職員が笑顔で対応してくれたのが好印象だった。私たちはツアーを申し込まなかったため自力で移動した。ゼミのしっかり者がどのバスに乗るべきかどこに行くの

が効率的なのか計画を立ててくれたためスムーズに回ることができた。初めにオルレ市場に行きお土産を見回りながら私はデコポンジュースを飲んだ。甘くておいしかった。日本人の観光客が多いせいか店員の多くが日本語で説明してくれた。不慣れな日本語を話している姿を見てうれしく思った。私も即席で覚えたマシツソヨーとカムサハムニダを連発することでうまくコミュニケーションが取れた。次に、またバスに乗り次にチョンジョヨンポッポに行った。バスに降りてから道が複雑で滝までかなり距離があったためとても困り現地の人に声をかけた。犬の散歩をしている夫婦でとても親切な方々だった。なんと滝の入り口付近まで私たちを送ってくれたのだ。かなり長い道のりだったが丁寧に案内してくれた。別れ際には帰り方も教えてくれた。私たちも申し訳なくなり近くのコンビニで何か買おうとしたが「大丈夫だよ」と言われた。人のやさしさを肌で感じることができた。最後に写真を撮った。その方々とお別れした後のどが渴きみんなでマンゴージュースの店に行った。みんなが王道のマンゴーシェークを頼むなか私ともう一人はブルーベリーミルクシェークを頼んだ。店内はインスタ映えしそうな装飾がされていてみんなで写真を撮った。その後飲みものを片手に滝に向かっていった。入園料を払いそこからゆっくり歩きながら10分くらいのところに大きな滝がありその迫力にとっても興奮した。その後先程の夫婦に教えてもらった方法で再びオルレ市場に戻り、初めに8secondsという日本でいうところのユニクロに行った。値段の割におしゃれな服が多かった。その後昼食をとった。キムチ鍋、鯖のひらき、わかめスープなど多くのメニューが出てきた。おいしすぎてすべて食べてしまいそうになったが、韓国では残すことが文化ということを事前に調べていたためである程度残した。とてもおいしかったのにもったいないようなことしているようでとても複雑な気持ちになった。食事をとったあとは急いでお土産を買って帰りのバスに乗った。疲れてバスの中で寝てしまった。それくらい充実していた。僕たちの行き方がモデルコースだったように思える。目的地につくまで多くの時間を要したがその合間に話す他愛もない話がこの旅を楽しくさせていたと思う。ゼミのメンバーともっと仲良くなれた。ほんとに楽しかった。また行きたい。

17. 港に着いてからチェジュ島に出るまで長かったけど、周りの風景や写真について友人と話しているとすぐにターミナルに着くことができた。多くの韓国人や日本人に歓迎してもらえて嬉しかった。港の周りにバス停や駅がなくて公共交通機関がなくて交通の便では少し不便だった。私たちが滝に行きたくて道に迷っていたときに韓国人のカップルと一緒に滝にまで着いてきてく

れて、帰り方も教えてくれて嬉しかった。以前個人的に韓国に行ったときはキムチチゲを食べることができなかったので、韓国をあまり感じるができなかったけど、キムチチゲも海鮮料理も食べることで以前より韓国を感じる事ができた。日韓関係が悪くなっているの、日本人に対して悪い印象を持っていたり、良くしてくれないのではないかと思ったりしたけど、会う人全員が優しく、韓国に対する印象がかなり変わった。

18. 主要な観光地である北側には行けなかったものの、車が右側通行であったり、町中に分からない文字が並んでいたり、とても新鮮な気持ちで街中を歩くことができた。観光地間はバスで簡単に行き来することができ、現地の方も新設に道を教えてくれた。港の隣には軍の施設があり、間違えて近づいた際は、少し怖い思いをした。
19. 西帰浦市のターミナルは、日本人観光客&外国人観光客に優しい施設であると感じた。また、市内中心部の市場へのシャトルバスの用意など、観光地へのアクセスも良く1日の観光に適している。しかし、済州市の方が済州島のメインの観光地ということで、そちらに寄港してほしかったというのが本音である。
20. 済州島は船から寄港する初めての海外ということもあり、どんな感じで入国するのかと少し気になったが、入国審査もスムーズで、降りてすぐの所にシャトルバスが待っていてくれたため、観光地へのアクセスもしやすかった。
21. ターミナルは空港のような感じで、船からは少し遠かったが、きれいだった。シャトルバスを用意してくれていたの、観光地にすぐ着くことができた。思ったよりも英語表記が少なく、韓国語が読めなかったの、苦労することも多かった。市場では、韓国料理を食べることができたので、よかった。
22. チェジュは寄港してからターミナルまでの距離が遠すぎた。しかし、歩く際に歩行エスカレーターがついていたり、船や軍事基地を見ながら歩くことができたりしたので退屈さは全く感じなかった。しかし、正直な感想として観光地としてはあまり向いていないと感じた。市場があったとしても、生物(なまもの)などは結局船に持ち帰ることができないのでお土産を買うことはできないし、ショッピング街などもほとんどなかったため。
23. 寄港地(済州島)での評価は100点中95点だと考える。寄港時間で十分済州島を楽しむことができたためこの点数である。シャトルバスの送迎も観光地に直通であったことやそこでの案内人のサポート体制があり、言葉が通じない土地ではあったが安心感が高かった。問題点としては寄港時間に

関する問題にはなるが、朝早すぎる点が問題だと考える。朝7時ごろに濟州島の市場に到着したがほとんどの店は開店しておらず、いける店が少なかった。船客は同じ場所に集まってしまっていた。

24. 濟州の港はとても良かったと思う。税関を出るとすぐに現地の人々が歓迎してくれた。そこで韓国にきたという実感がとても沸いた。濟州はタクシー代がとても安かったと思う。市場から滝までタクシーを使ったが300円くらいで行けることが出来た。昼ごはんはサムギョプサルを食べたがとても美味しかった。出来れば、濟州の反対側の港に停船して欲しかった。
25. 現地に公営の換金所がないのは大きなマイナスだと思う。また ATM も少ないことから現地での現金入手に難がある。MSC が手配している個人の両替商もかなり悪いレートで対応なので、観光客は損する。入港して船から見た景色の第一印象は「未開発な土地」だったので、もっと魅力的な開発が必要だと感じた。ただ、日本語を話せる現地人が親切にしてくれたりする。また、東南アジア風の雰囲気も感じられ、魅力的な市街地だった。
26. 港の税関から現地の人々が韓国語、日本語の挨拶で迎えてくれた。しかし市街地とは反対側の港だったので、ご飯と少しの観光で終わってしまった。港から市街地のバスで降りた後、換金する人、案内する人が足りていないのか、バス降り場近辺が混雑していた。しかしそこからの移動でタクシーを使ったが、10分くらいで400円だったので移動には困らなかった。日本語を話せる現地の方が多く、僕ら日本人にとっては観光をしやすい街であったと感じた。
27. 濟州島の港からバス停までとても遠かったイメージがある。市場と滝を見に行ったが、市場には日本にはない食べ物があるなど興味をそそられた。滝は、私が見に行ったことがある滝の中で一番きれいだった。海の近くにある滝を初めて見た。自然豊かでとてもいい観光地だと思った。
28. 日本語を話せる方が多く、逆に英語が通じないことがあった。短い時間だったが、カフェやコンビニ→正房瀑布→市場で買い物→バレーボール購入→海沿いの店で昼食→薬局で買い物 のようにたくさん移動した。こんなに移動できたのはタクシー料金が安かったからである。4人で乗って3000ウォン~4000ウォンという安さであった。タクシー移動が安いというのが韓国(濟州島)の魅力の一つだと思う。
29. チェジュ島では、朝から15時くらいまでの短い時間の中で、シャトルバスを利用して街の方へいきました。街の方はほとんどのお店が10時くらいに開店だったので、近くの市場を散策しました。ですがそこに売っていたのは

果物や生物がほとんどでした、少しお土産屋さんもありましたがそれほど時間を潰すことはできず時間を余してしまいました。10 時ごろからコスメショップでお買い物をしてその後歩いて30分の大型スーパーへ行きました。個人的にはこの大型スーパーが一番楽しかったです。市場の小さなお土産屋さんよりも圧倒的に品数も多く値段も安価でした。帰りはシャトルバスの集合場所までタクシーを使いましたが 3300 ウォンと想像以上に安くて驚きました。

30.ターミナルを降りてバスに向かうまでが一番長かった気がします。日本で韓国英語中国語表記をよく見るので濟州島で日本の表記を見ると違和感がある気がしたのですが、濟州島に来たぞ!という感じではなかった。街並みを見ると来た感が出ました。案内の方は発音的になのか少しきつく感じましたが話していると優しい方ばかりでした。英語より日本語の方が知っている方が多くて驚きました。

31.韓国は初めての訪問で、すでに悪い印象を持っていたが、今回の訪問で、以前から思っていたこと、つまり、環境は不潔で、人々は無礼で、公衆トイレは汚いということが確認できた。

32.濟州島では英語が全く通じないのが衝撃的だった。しかし、市場までのシャトルバスや現地でのガイドさんのおかげで楽しむことができた。今回行った市場は有名なほうではなかったが、お土産や飲食店も充実していたし、韓国の雰囲気存分に味わうことができた。以外にも滝で働く現地のガイドさんは英語も日本語も堪能だった。英語表記の看板が少なくアクセスに苦戦したが、市場のフリーWi-Fiのおかげでなんとか観光することができた。

寄港地(鹿児島)での感想

(港・ターミナルの施設評価、観光地としての魅力など)

1. 雨天だったのであまり綺麗には見えませんでした。晴天だった場合船の上から見る桜島は本当に美しいだろうと思いました。逆に言うと、船の上からの桜島が美しすぎて、わざわざ下船して桜島を見に行く需要は少ないのかもしれないと感じました。
2. 鹿児島も広島やチェジュと同様に、クルーズのターミナルから中心市街地までがやや遠いと感じた。ただ、シャトルバスが出ていたためこの点は問題ないように思われる。観光地に関してが、中心部にはグルメ以外のいわゆる

観光スポットはすくなく、自分自身はやや暇を持て余した。限られた時間ではあるが、鹿児島ではツアーに参加した方が本格的な観光を楽しめるのではないかと思う。

3. 以前訪問した志布志港は市街地までかなり距離があった記憶があるが、今回の鹿児島港は市街地まですぐだったので観光の時間が沢山取れ良かった。周りに何もなただだっ広い岸壁に船がとまっているのが目立っていたのが印象的であった。MSC の他の航路を見ると鹿児島で停泊する航路が多そうな印象を受けたが、たしかに鹿児島は地理的にも沖縄・アジアに近くて良いし、桜島や西郷隆盛など観光スポットもあって鹿児島ならではの魅力を改めて感じた。
4. 降りたポイントから見える船が非常に綺麗で、別の場所よりも大きく見えました。交通インフラの整備は、観光、物流への影響が大きいと思うので、重要であると思いました。海上の橋梁をつくる大変さも理解できました。観光に関して、市内へは2度目であったものの、美味しいご飯を食べられたのでよかったです。路面電車等の景観も、鹿児島にきたという実感を湧かせる、心情への変化を生むという意味で、有利な街並みであると思いました。
5. 鹿児島は雨だったので仙巖園というメインの観光地に行けなかったのはとても残念だった。鹿児島に関しては赤井先生のご尽力もあり、バスまで手配して頂き何不自由ない観光ができたが実際個人として行ったとき少し不便なのは、と感じた。やはり神戸や広島などと比較して外国語表記が少ないなど、大型クルーズが着岸できるハード面だけでなく、外国人観光客対応の方も大事になってくるのかなと肌で感じた。
6. 鹿児島は事務所まで歩いて行ったが、普通は使わない場所なのかなと思うので、大した印象はない。天文館に観光しに行ったが、九州はやっぱ飯が美味しい。最近では、福岡、大分、宮崎、鹿児島と行ったが、どこに行っても魅力溢れる料理やアクティビティが待っている。鹿児島で言えば、ラーメンがすごく美味しい。また、桜島や屋久島などの雄大な自然は他県にはない素晴らしいコンテンツだと思った。九州は本当に素晴らしい場所だと行くたびに思う。
7. 講義で港回りの整備を最近行ったと聞いたが、実際にきれいな施設が整備されていて気持ちよかった。個人的には鹿児島はあまり魅力的な観光施設が無いように思われる。天文館だけ半日を楽しめはしたが、鹿児島独自の楽しさはなかった。私たちは鹿児島の地酒を呑もうとし店を探したが、平日の昼間だったこともあり、天文館の商店街では開いている居酒屋がなく、結

局チェーンの串カツ屋に行ったので、開いている店があれば嬉しいです。

8. 雨だったので、急遽観光の時間が増えて、何も調べてはいなかったが、水族館に行ってとても楽しめた。路面電車は身近にはないのでとても珍しく面白かった。バスも定期的に通っていて、交通はとても便利だと感じた。黒豚ラーメンのチャーシューが柔らかく美味しすぎてびっくりした。
9. 帰りに港に帰ってきたときに、地元の人がお店を出していて、鹿児島の名産に出会えたのがとても良かった。そこでお土産も買えたので満足でした。港の周りは芝が広がっており、とてもきれいに整備されていた。今回は全員でバスに乗ってしまったが、港がある島についてはまた行って探索してみたいと思うほどであった。最近できたばかりだということもあり、充実してる印象があった。
10. 船が泊まった場所の正面に大きな芝生広場があって綺麗に整備されているなどと思った。路面電車は普段見ないので新鮮だなどと思った。日曜日だったのでどこも人が多かった。しろくまが鹿児島発祥だと知らなかった。スーパーで売っているしろくまとは異なり、かき氷がふわふわで美味しかった。天文館通りは屋根があったので悪天候だったけれど、観光はしやすかった。
11. 鹿児島ではターミナルの印象よりも、港に泊まったクルーズ船が鹿児島の景観と相まって画になっていたことが印象に残っている。植物が本州とは違ってヤシの木ばかりであることは新鮮で、また、まちを歩いてみて、山と海とほどよい市街地と路面電車がある様子が、鹿児島ならではの景観なのだろうと感じるとともに、住みやすそうなまちだと感じた。天文館は若者向けのサービス施設があり、歩いていて楽しかった。本州に住んでいる人にとって鹿児島に自力で行くには労力がかかるからこそ、クルーズという手段が広まると良いと考えられた。
12. とてもひろい芝生からは船の全体を見ることができたのがとても良かった。港の位置は電車が通っていなかったため、事前にバスやタクシーを手配しないと不便だと思った。有名な観光地やご当地グルメを食べることができたので、滞在時間はちょうど良かった。
13. 旗を振ってお出迎えしてくださったのが印象的だった。ターミナルを出てすぐに芝生の広場があり、良い環境だと感じた。あいにくの雨だったが、芝生のところから船全体の写真を撮ることができたのがうれしかった。自動販売機が近くに無かったのが残念だった。鹿児島の中心街はアーケードに覆われていたため雨でも楽しく買い物ができた。路面電車も新鮮だった。
14. 鹿児島のターミナルは、小さめだったが、綺麗な建物であった印象である。

鹿児島では、「豚とろ」という美味しいラーメンを食べ、かごしま水族館に行き、しろくまのかき氷を食べた。かごしま水族館では、たまたまいるかのショーを見ることができ、とても嬉しかった。しろくまかき氷は、店内は満席でテイクアウトにしたが、列があつて、人気なんだなと思った。可愛くて美味しかったので、とても満足した。

15. 鹿児島に寄港したときは雨が激しく降っていたが、船からターミナルまではほとんど屋根を設けてくれていたので濡れずにターミナルに行くことができた。ターミナルではお土産などが販売されていて、下船時も乗船時も多くの人でにぎわっている様子だった。鹿児島でもありがたいことにシャトルバスを出していただけて楽に市街地に出ることができた。当初の予定とは異なり自由時間が大幅に増えたので、鹿児島の豚を使ったラーメンを食べ水族館に行き、しろくまの本店でかき氷を食べることができた。また、移動手段で、普段乗らない路面電車に乗ることができたのも良かった。
16. 鹿児島のターミナルには顔はめパネルがあつたのが印象的だった。先生といっよに写真取れたのが嬉しかった。観光地としては急遽自由行動になり予定立てるのが大変だったがうまく計画たてられたと思う。はじめに豚トロというラーメン屋に行った。とてもおいしかった。その後水族館にいった。クラゲがとてもかわいかった。イルカショーも見れて良かった。白熊おいしかった。
17. 鹿児島の港は鮮やかな色の植物があり、非日常感があつた。ターミナルを出ると、高い建物がなくて見晴らしがとても良いなと感じた。晴れていればもっと綺麗な鹿児島を見ることができたのではないかと思うと残念だった。鹿児島は初めて訪れたところで、桜島を見たり、シロクマアイスの本店に行ってみたくたりとたくさんやってみたいことがあつた。雨が降ってしまったので桜島を見ることはできなかった。しかし、鹿児島ラーメンを食べたり、シロクマアイスに行っかき氷を食べたりと自分がやりたかつたことの一部を体験することができて良かった。鹿児島に行ける機会があつたら桜島を見たい。
18. 鹿児島の港では、港付近の渋滞緩和など、今なされている施策などについて知ることができ、これからのゼミ活動に生かせそうな内容についても知ることができた。観光地に関してはほとんど知らなかつたが、商店街や水族館など非常に楽しめる場所も多かつた。また私の地元では見ることでできない路面電車も多く走っており街を歩いているだけでも非常に楽しめた。
19. 全体的に非常に綺麗に整備されており、クルーズ船の受け入れに慣れてい

る印象を受けた。しかし、雨天時には濡れてしまう箇所が何か所もあるので、その対策をする必要がある。鹿児島市の中心部には、全国的に有名なアイス(白熊アイス)の本店や美味しいご飯屋さんがあり、雨天時で桜島に行けなくても十分に楽しめると感じた。

20. 鹿児島島の港は、港としてのスペースだけでなく、大きな芝生が敷いてある公園のようなものがあり、どこかへ移動するための中間地点だけではない役割も果たしていて、少し意外性を感じた。ただ、自分が見ていないだけかもしれないが、人が集まることができる休憩所のようなものもできれば、もう少し盛り上がるのではないかと感じた。
21. 港が広く、広場もあってよかった。市街地に行くことができ、白熊アイスなどを中心に、名物のものをたくさん食べることができた。また、ターミナルに戻った際には、お土産売り場ができており、にぎわっていて、すごくよかった。たくさんの方々に迎えられていることを実感し、すごく嬉しかった。
22. 鹿児島は、ターミナル内でお土産コーナーを設置してくださっていたことが印象的だった。タイトスケジュールで観光しないといけないので、そういったコーナーを設置してくださることによって、お土産の買い残しなどを防止できると感じた。今回はシャトルバスを用意してくださっていたので観光地としても充実していた(特に食べ物)。
23. 寄港地(鹿児島)での評価は100点中70点だと考える。今回は大雨が降っていたため、桜島を見ることができなかったこともあるが、ほとんど自由行動で観光地という観光地をめぐるができなかった。雨の日のプランも考えておいていただけるとありがたいと感じた。町としてはすごく魅力的なものが多いと思うのでPRや観光地の見せ方をもう少し戦略的に考えていただけるといいのではないかと感じた。
24. 鹿児島港は船から降りたらすぐバスに乗ることができ便利だと思った。観光地については、当日はあいにくの雨という事もあり、桜島を見る事が出来なかった。指宿に砂風呂体験にいきたかったが、公共交通機関を利用すると、時間的に厳しく、天文館周辺しか観光をすることが出来なかった。天文館周辺の居酒屋はもう少し、昼飲みを行っていて欲しかった。
25. 意外にもよく整備されていると感じた。アカデミー参加者のために赤井先生が無料シャトルバスを用意してくださったのは大変ありがたかった。対応して下さった自治体の方の誘致に関する本気度もうかがえた。桜島、天文館は路面電車やアーケード街などの観光地もあり、個人的に評価は高い。
26. 鹿児島も中心地からは少し離れているが、市街地近辺に水族館、食べ歩き、

飲食店が並んでおり、短い時間でも満喫することができると感じた。市街地まで行けば、歩いても移動ができる。お寿司を食べたが、僕が住んでいる愛知よりも物価が安いと感じた。食が美味しいため、観光地の魅力としては満足度が高い。

27. 鹿児島港は降りると広い芝生で遊べるようなところがあるなど、ほかの港とは少し違って良いと思った。天文館通に行ったが、通りにはたくさんの店があり、中でもしるくまカフェや焼ドーナツといった、その場でご当地の食べ物を食べるのできる店があるのがとても良いと考えた。
28. 晴天であればマリンポート鹿児島から桜島が見えるということで下船直後から美しい景色がみられる点が良いと思った。また、これまでの寄港地の中で障害物が無く、クルーズ船の全貌が最も見やすい寄港地だと感じた。観光について、観光地から観光地までバスで移動しなければならない点が大変だと感じた。
29. 鹿児島ではずっと天文館通りを散策していました。水族館があることは調べてわかりましたが、何をやるか迷っているうちに時間がなくなってしまい行けませんでした。また天気が悪かったこともあり桜島も見ることができませんでした。平和記念館も行くのが楽しみでしたが行けませんでした。人生で初めての鹿児島だったので鹿児島らしい観光名所に行けなくて残念です。今度個人的にまたいこうと思います。
30. 自治体の方が手厚く迎え入れてくれたほか、わざわざ案内の資料まで作ってくれて歓迎されているなど思いました。ターミナルは船が大きく見やすいので船だけ見に来る方も多そうだなと思いました。雨天だった為、桜島などは見えませんでした。商店街が大きいので一日過ごせるほどの充実感がありました。
31. 鹿児島には2016年来て、今回が2回目だった。前回は大雪、今回は大雨だった。だから、天気のいい日の鹿児島を見たことがない。鹿児島の和牛はとてもおいしい。天文館通りは大盛況だった。
32. 鹿児島ではマリンポートの開けた広場が印象的だった。なにもないがそれが逆に良かった。なにしろクルーズの中はせわしない日々を送っているため、何もないぼーっとくつろぐ時間が貴重に思えた。シャトルバスを手配していただいたおかげで快適に観光することができたと思う。ただ鹿児島の魅力をもっとリサーチしておけばよかったと思う。(屋久島は日を改めてじっくり楽しみに行きたい。センテラス天文館付近は見どころも多くアクセスも楽でいい観光スポットだと思った。)

"下船港(横浜)での感想

(港・ターミナルの施設評価、下船時対応の感想、観光地としての魅力など)

1. 山下埠頭から、山下公園や元町・中華街へは少し距離があると感じましたが、観光地としての魅力が沢山ありすぎてとても素敵でした。横浜や神戸といった、観光資源も港の規模も潤沢な港とそうでない港の間には、様々な面で想像以上に大きな差があると感じました。
2. 横浜港は下船時に初めて訪れた。神戸以外の港と同様に駅や中心部からやや離れた場所にあったが、シャトルバスが運行されたため問題は無かった。下船の際にも帰国の手続きも迅速で、荷物の受け渡しも分かりやすかったため非常に良かった。首都圏にある横浜は言わずもがな観光地としては優れているが、行政の意図した方向に誘導するには工夫がいると感じた(東京に流れてしまう)。
3. 船がでかすぎて橋をくぐり抜けられないので手前の港に停まると聞いた際に改めてベリッシマの大きさを実感した。港を降りてすぐ中華街という絶好の観光スポットがあるのが良かった。そのまま東京方面へ向かう外国人観光客も多そうで、横浜自体の海外での認知度はそこまで高くないのかもしれないと感じた。首都圏の窓口的な役割を果たしている印象を受けた。下船時対応としては、シャトルバスに乗る際に私たちが学生大所帯で居たらみんなが同じバスに乗れるよう気を遣って次のバスに案内して下さった。
4. 下船からバス乗り場まで、後ろの人たちは混雑していました。ただ、それも10、15分程度だったので、大きな問題ではないかなと思います。関税ポイントがさっと終わったことに驚きました。持ち込み放題?スーツケースはもう検査済み?等いろいろ思うところがありました。バスから、中華街へ行くのはスムーズで、そこでのご飯も美味しかったです。整備された綺麗な港、中華街、東京中心地へのアクセスが良好であるところなど、世界的にみても(浅薄な知識ですが)文句のない港なのではないかと思いました。
5. 横浜は帰りの飛行機の時間もあり、下船するだけとなったが下船場所から横浜中華街が近いなど神戸とよく似た性質を持っているように感じた。東京方面へのアクセスも良く発着地に適したよく整備された港湾だと素人ながら感じた。発着地なので大きな荷物を持っている人が多いことを考慮して、アスファルトの整備だったり、個人での荷物の運搬がしやすいように

整備していた方がよりよくなるのかなとは感じた。

6. 横浜では、下船の手続きはスムーズにやってもらって、満足だった。ベリッシマは大きいから仕方がないが、もうちょっと着岸するところの利便性が良かったら良いなと感じた。横浜自体は初めて降り立ったので、興味を持って回ることができた。さらに観光地が集約されているところが良い。
7. 着いてすぐ、さすが横浜、と思うほどに発展していた。その一方で、ターミナルとしてはやや仮設感があった。だが、それはそれで旅の終わりとしての風情があり、よかった。横浜は大都市で、観光地としては横浜にはあまり魅力を感じられないが、東京などへのアクセスはよいので、いいと思う。
8. 横浜はシャトルバスで観光地まで行こうと思ったが、ロッカーや帰りの手段も考えて、タクシーで横浜駅まで行くことにした。待ち時間もなくタクシーが何台も来ていてとてもスムーズに乗れたと感じた。初めて横浜を観光して、南京町とは規模の違う中華街の大きさにとても驚いた。
9. 横浜の港は神戸に比べると規模が大きく、迫力満点でもう少し見たかったと感じるほどでした。だが、港から観光地までが遠いうえに、公共交通機関がないのが残念。バスやタクシーは来ていたが、バスは微妙な場所に止まるから使いづらい。結局 1人2000円出して四人でタクシーで横浜駅まで行った。港の周りを便利にしない限り、今後横浜に行くときは絶対に船じゃなくて新幹線使っただろうなと感じた。横浜港は港が好きな人からすると迫力満点で、観光地としての魅力はある。
10. 朝早くから部屋を出なければならなかったのが大変だった。ビュッフェも人が多く席がほとんど空いてなかった。下船時間が分けられていたので、列に並んで待つ時間が短くてよかった。港では多くのバスやタクシーが待機していたので、スムーズにタクシーに乗ることができた。横浜は観光地が沢山あった。中華街では船で別れたはずの他大学の学生と出会ったので、やはり人気の観光地なんだなと思った。夜景も神戸とは異なり、一面に広がっていて綺麗だった。
11. 船から見た横浜は都会だった。高層ビルや曲線を描いた高速道路があった。ターミナルと下船時の対応に関しては、ゆっくりとできる空間ではないと感じた。人の流れを止めないように、人の流れに身を任せるような感覚だった。港から横浜駅にタクシーで行ったが、意外と料金が高くて、そこはネックに感じた。横浜の観光では、中華街、横浜スタジアム、赤レンガ倉庫、よこはまコスモワールド、ロープウェイ、スカイガーデンに行った。中華街は神戸とは比べ物にならないほどにスケールが大きく、食べ歩きだけでなく占いもたく

さんあった。またスカイガーデンから見る夜景も神戸とは違った風景だった。夜景は、神戸と横浜それぞれに良さがあると感じた。それぞれの観光地が近いため、歩きながら楽しむことも、交通の便が良いため電車で移動して楽しむことも、観光客にあった楽しみ方ができる地だと感じた。

12. 下船や入国審査の手続きがとてもはやく終わったことが良かった。預けていたキャリーケースもグループ分けしておかれていたため、すぐに見つけることができ、下船までがとてもスムーズだった。シャトルバスやタクシーなどがたくさん用意されていたため、移動手段に困らなかった。
13. とても大きなターミナルだと感じた。手荷物検査も非常にスピーディーで待たされている感覚はなかった。最初から番号順に案内されていたのが良かったのだと思う。ターミナルをでてからはタクシーを12人で利用した。その際にスタッフの方々が手際よく荷物を載せて下さりスムーズに乗ることができた。キャリーバックをコインロッカーに預けるために横浜駅にまず向かった。コインロッカーは足りたし移動も楽だった。中華街や赤レンガ、ロープウェイ、コスモワールド、ランドマークタワーなどたくさんの観光地を一日でまわることができたのがうれしかった。
14. 横浜で下船する時、スムーズに対応してくれた印象があった。また、タクシーやシャトルバスがあり、次の移動もすぐに来たのがよかった。横浜では、中華街に行ったり、赤レンガ倉庫に行ったり、遊園地に行ったりしてとても充実した。近くに観光スポットがいくつもあり、やっぱり都会だなと感じた。横浜には、夜まで滞在していたが、夜景も綺麗で来てよかったと思った。また、機会があれば絶対に行きたいと感じた。
15. 横浜で下船する人は非常に多かったと思うが、番号などで整理されていてスムーズに下船、手続きをすることができたのがとてもよかったと思う。中華街に行く予定だったので、その近くまで行くシャトルバスが出ていたが、その近くにロッカーがないと考えたのでタクシーで横浜駅まで行き、荷物をロッカーに入れてから電車で中華街に行った。中華街でお昼ご飯を食べ、横浜スタジアムに行き赤レンガ倉庫まで歩いた。みんな疲れていた様子で赤レンガで休憩をしてから、コスモワールドという遊園地に行った。夜ご飯を食べに横浜駅に行き、食後に夕焼けをランドマークタワーから見ることができ、1日中楽しめる市だなと思った。
16. 船から降りた瞬間すごく寂しかった。タクシーに乗ってベリッシマがどんどん離れていくのが寂しさの頂点だった。横浜駅に着いてからは荷物を預けてから中華街にいった。小籠包とマンゴーかき氷を食べた。その後、横浜ス

タジアムを經由しながら赤レンガ倉庫に向かった。店を少し回ってから椅子に着いたら眠たすぎて寝てしまった。寝たことで回復したのでコスモワールドに向かいジェットコースターに乗った。そこが見ていたドラマの撮影場所と知ってとても興奮した。そして YOKOHAMA AIR CABIN に乗りランドマークタワーに向かった。みんなで居酒屋に行き思い出を語り合った。とても楽しい時間になった。最後にランドマークタワーの最上階に行き、横浜の夜景を堪能した。降りたらこの旅が終わってしまう感じがして下りのエレベーターに乗りたくなかった。横浜の観光もほんとに充実していた。また行きたい。

17. 入国できるまで時間がかかると言われていたので不安だったが、スムーズに進むことができて観光に時間を使うことができた。横浜ではシャトルバスの目的地が1つしかなくて他の地域に比べて交通の便が悪いなど感じた。しかし、タクシーは困ることなくすぐに乗ることができたのでよかった。横浜では中華街や赤レンガ倉庫、横浜コスモワールド、都市型ロープウェイ、横浜ランドマークタワーに行き、横浜を思う存分楽しむことができた。
18. 港から横浜中心部までは、ほとんどタクシーでしか移動できないことには少し不便を感じたが、中心地からは中華街やランドマークタワーなどの観光地まですぐに行き来できるところは魅力的だった。もう少し足を延ばせば、東京や鎌倉などの別の観光地にも足を運べるため、寄港地としてはやはり優れた場所だと感じ、また機会があれば訪れてみたいと感じる場所だった。
19. 山下公園までの解散ルートにおいて、非常にスムーズに流れることができ、導線が確保されているという印象を受けた。また、山下公園の近くには中華街もあり、下船後も終日楽しむことができる。今回は神戸乗船であったが、横浜での乗下船になると、利便性の高さを実感できるのではないかと感じた。関東では横浜、関西では神戸、という印象である。
20. 港で下船する上で不便に感じた所は無い。観光地も横浜という場所自体が港町ということもあり、赤レンガ倉庫や中華街も近く、そうした場所にアクセスしやすい面はさすがだなと感じた。
21. 意外とスムーズに下船することができた。案内もわかりやすかった。また、無料のシャトルバスが出ていたので、それを利用することで、すぐ市街地に行けた。中華街や赤レンガ倉庫、みなとみらいなどに行き、観光地もたくさんあったので、一日中観光を楽しむことができた。
22. 下船は混雑してはいるもののかなりスムーズだったと感じる。シャトルバスもかなりの本数を出してくださっているため、不便さは全く感じなかった。観

光地としても、有名な中華街付近まで送迎して下さるので、立ち寄るつもりがなかった人でも気軽に足を運ぶことができる印象だった。

23. 下船港(横浜)の評価は100点中90点だと考える。理由は、来た時同様に素早い荷物の受け渡しとその準備、シャトルバスの送迎手配、かなり完璧なものだったと考える。しかし、下船した際の観光で荷物の多さからあまり長く楽しむことはできなかった。このため、乗船前の観光がベストだと考える。また、できることであるならば、下船後の荷物預かり所があれば観光する人が増えて町にお金がより落ちると考える。
24. 横浜での下船の感想は、スムーズに進むことができ良かったと思う。問題点を挙げるとしたらキャリーバッグを受け取った後の歩く道が狭いことだと思う。友人を待とうとしたら人の迷惑になるのでここでは待たないでくださいと言われた。友人を待つスペースがあればいいと思う。
25. スムーズに下船できたと思う。シャトルバスでの送迎も問題ない。午前中の早い時間での下船だったため、一日を観光に使えるがよかった。実際に我々も横浜中華街に行った。また、横浜から各地方へ帰宅する際は、みんな疲れてしまっているので長距離バスではなく、新幹線や首都圏宿泊を選択する人が多かった。このことから速い時間で下船することで、観光と高額な移動手段選択につながり、現地での消費増加にもなると思う。
26. 横浜での下船は9時にはラウンジで待機し、10時半くらいに呼ばれて下船することができた。やはり最終日の下船は今までとは異なり、乗客のほとんどが出るため時間を要した。しかし船を出てからの手続きや荷物の回収、バスへの乗車はかなりスムーズに進んだ。
27. ベリッシマから降りてシャトルバスに乗った後、中華街に訪れた。食べ歩きしやすいお店が並んでいるだけではなく、お店の中で本場の中華料理を味わうことができるお店も多かった印象がある。手相占いをしたがとても面白かった。港の近くにこんなに楽しめる観光地があるのがとても良いと思った。
28. 下船も乗船同様スムーズであった。キャリーケースは番号で分けられていてすぐに見つけられ、下船時に必要なものが事前に伝えられていたためスムーズに下船できた。観光については、帰りに中華街に寄った。神戸の中華街は飲食店の印象があったが、横浜の中華街は占いや売店など飲食店以外のお店も多く賑わっている印象を受けた。
29. 横浜ではルームメイトのフーさんと中華街に行きました。台湾人のフーさんは初めての中華街と馴染みのある食べ物にテンションが高かったです。その後、カップラーメンミュージアムに行きたかったのですが休館日でした。

残念。近くにある美術館も閉館で、アンパンマンミュージアムに行ってきました。チケットを買って中に入ることはしませんでした。ショップでまだ幼い従兄弟にお土産を買いました。あとで少し調べてみたらその横浜駅の近くのアンパンマンミュージアムは他のところより大きくシンボルとして外に大きなアンパンマンがいて多くの人が記念に写真を撮っていました。私も一枚撮りました。昨年も横浜に来ていたので今回は夜景を見ずに北海道に帰りました。日程に余裕があったら見たかったです。

30. 下船時はバタつきやすいので仕方ないかなとは思いますが意外と入国審査が海外の方に厳しかったイメージです。MSC スタッフは気持ちよく送り出してくれました。中華街が近いため観光して帰りやすいところが良いなと思いました。荷物が少なければですが。ターミナル事体神戸とともに大きいのもっと大きな船も来れると思うと楽しみが増えますね。
31. 横浜に入るのはちょっと面倒だけど、でも、船を降りたら貨物便があるし、坂の下の公園までシャトルバスが出ていてとても便利だし、中華街やみらいとみらいにも行きやすい。横浜の夜景が美しいので、温泉につかりながら夜景を楽しむために一泊した。
32. さすが横浜。下船上の規模も働いている人も多く、誘導もスムーズだった。おかげで難なく駅まで行くことができた。なによりクルーズ会社側での時間をずらす手配のおかげと感じている。下船する時間は遅くなったが個人的にはクルーズでの対応に満足している。

各港湾（自治体）からのプレゼン・パネル討論を聞いての感想

1. 各港で寄港回数、観光資源、防波堤の長さ等所与の条件が想像以上に違っていたという点に衝撃を受けました。また、クルーズによる経済効果を踏まえ、クルーズ船を誘致して行くことが大事だと感じました。
2. 各港の置かれている状況、今後の対応などを知ることが出来、日本におけるクルーズの現状と工夫が読み取れたため非常に良い勉強になった。一方で、費用問題（費用がないため整備が出来ないなど）については、船を運行する会社か自治体のどちらかが先に身を切らないと（どちらかが先に動かないと）結局前に進まないのでは？という印象を受けた。
3. 今回のクルーズの寄港地だけでなく、全国各地の自治体の方が乗っていたからこそ学びが増えたと感じた。いろんな自治体の方のお話を聞く中で、比

較的都市で現在クルーズ船をある程度呼び込んでいる自治体と、過疎地域でこれから何とかクルーズの寄港を増やしたい自治体の差が大きいと感じた。ただ、程度の差はあれど、どの自治体も共通して似たような課題を抱えていることが分かった。

4. 何人かの方は、クルーズ船社の担当者に気に入られることばかりに目が行っているという印象を受けました。クルーズ担当といえど、そのクルーズを呼び込むために、ウェブでの観光サイトを英語で整える、日本人じゃない人への魅力をどう伝えるか、という点への考慮が足りていないように感じました。会社から見ると、寄港というのは自治体活性化のためというよりも、クルーズの集客をするためのPR材料である面が大きいと思うので、そこから考えていけば、より日本の港が魅力的にみられるのではないかと思います。
5. そもそも港に注目することはこれまでの人生でなく、それぞれの自治体の方たちの熱量というのに初めて触れた。各自治体全体の港湾、特にクルーズ誘致への取り組みについて詳しく聞きたいと思いました。
6. 港湾関係には今まで全く精通してこなかったのが、イメージがあまりできなかったが、今回の自治体の方々のプレゼン等で少し知見が増えた。各県の課題がよく知れたので良かった。特に印象に残ったのが、タクシー問題について地方の港は仕方がないかなと思ったが、大阪港の方がタクシーを捕まえるのに必死だったというのはびっくりした。大阪住みとしてはその辺にタクシーおるやんとは思いますが、それはそれで難しい問題なのだと感じた。
7. どの港も課題としていることはおおむね共通することを知った。岸壁の整備、ターミナルの整備、バス・タクシーの手配など。各港に寄港するクルーズ船の数を聞いていると、個人的にその港がある県に感じる魅力との間に違いがあるものだと感じた。例えば、鳥取は鳥取砂丘という超有名観光地があるのに、寄港は少ない。逆に案外多く寄港している港もあった。その差は、各自治体の誘致への熱心さなのか、魅力なのか気になった。
8. どの港も、課題に交通の便やタクシーの確保などが挙げられていることがわかった。また、新たな観光地を作り出すと言った鳥取のプレゼンは興味を持った。私が鳥取に旅行に行った時、行くところがなく最終的にカラオケに行ったことがあったので、鳥取ならではの観光地を是非作り出してほしいと感じた。
9. どの自治体も当たり前だが真剣に考えていることがよくわかった。ただ、「今回実はクルーズ船に乗るのが初めてで、」と言う自治体の方が大半で、今回の乗船での体験は、仕事の効果を高めるだろうと思った。経験しなけ

ればクルーズの良さは絶対に分からないと今回感じた。クルーズ振興の担当に就いたらまずは乗った方がいいのではないかと思う。

10. どの自治体も同じようなことに悩んでいるのだなと思った。寄港地周辺の公共交通機関がなかったり、中心街へのアクセスが悪かったりする点は、今すぐにどうにかすることができないと思ったので、バスやタクシーを用意して、船に乗ってるお客様が不満を感じないようにすることが、継続して船を誘致するために重要だと思った。また、大きなクルーズ船が止められる岸壁がないという課題も、今すぐにどうにかできるものではないので、止められるサイズのクルーズ船の誘致とラグジュアリー船に乗るような人が楽しめる観光ツアーやおもてなしを考える方が良いと思った。
11. 正直、クルーズの寄港地としてこれだけの港湾があるとは知らなかった。それほどにクルーズを意識したことのない一部の人には認知度が低い。特に金沢や鳥取、山形など、日本海側は寄港地のイメージがないのではないだろうか。各港湾がクルーズを盛り上げることはもちろん、より認知度を高めるために連携協定などを結んで、全体で盛り上げたり、クルーズは働き世代にとって長期休暇がなければ選択肢にすら入らないと考えるため、寄港地に立地する各企業とも連携を図って、寄港地の企業の福利厚生として提供したり、全体で盛り上げていける仕組みがあると良いのではないかと考えた。その意味では、金沢のクルーズウェルカムクラブは面白い取り組みだと感じた。また、大阪のように半日しか観光してもらえなかったり、県外に観光に行ってしまったたり、他の寄港地のように観光地の認知があまり高くなかったり、という課題に対して、大阪は、交通機関の利便性が良すぎるのも理由にあるのかもしれないと考えられる一方で、大阪の隠れた観光スポット、地元の人が推す場所も提案できると良いのかもしれないと感じた。他の寄港地でも、観光スポットは知っていても、ルートや計画を立てるのが苦手な人のために、観光マップや様々な観光ルートの提案をして、紙媒体で配るのではなく、船内で QR コードを読み取ってもらうような仕組みがあると良いと考えた。その他、歓迎イベントは大切だと感じた。個人的には、入港も出港も、その地らしさを感じたいと、今回のクルーズを通して強く感じたため、その地らしさでクルーズを迎え入れ、送り出すアイデアがあると素敵だと感じた。今回のプレゼンを聞いて、どの自治体も手探り状態ではあるが、情熱を持って取り組まれていて、クルーズに関するお仕事に興味を沸かした。
12. 各港には、それぞれの悩みがあって、実際に市の方々が困っていることを聞くのは新鮮だった。港の規模が小さかったり、利便性が悪いところに位置し

ていたりすると、来客者への対応がとても難しくなることが分かった。港に船が停まることで経済が活発に動くため、各港の自治体の方々が積極的にクルーズツアーに参加していることを理解した。

13. 岸壁などの専門的な内容は少し難しいと感じたが、タクシーやバス不足やインフラ設備での課題はどこの港も似たような課題をもっているのだと思った。港の中には初めて聞いた名前のところもあったが、それぞれの場所がとても魅力的に感じたプレゼンでした。
14. それぞれの港の現状や課題を知ることができたのが良かった。港に船がそもそも停まる頻度が少ない場所もあることを学び、もっとクルーズ船が活用されていければ良いなと感じた。また、クルーズ船から下船した客をまちに呼び寄せ、買い物や食事をしてもらうことで、経済効果にもつながり、地域が活性化されるのではないかと考える。
15. 神戸に在住している私だが、神戸のターミナルといえば中突堤旅客ターミナルしか知らなかった。神戸港のプレゼンより、市街地と近接しているのは大きな魅力だと思う。また、空港とターミナルが近いことも珍しいと思った。鳥取港について、年間 1~2 回の寄港で、外国船の入港は 2 回ということを知ったが、神戸港と同じく空港が近くにある点や鳥取砂丘などの観光地も近いということで、寄港地には非常に向いているなと感じた。
16. それぞれの自治体でいろんな課題を抱えていたが特に印象に残ったのは大阪港のプレゼンである。大阪で下りた観光客が京都や奈良に流れてしまうという課題を抱えていてなるほどと思った。外国の人からしたら日本の古い町並みはとても魅力的でそこを比較すると大阪は劣っている。神戸港でも同じことが言える。この課題を解決するために各自治体はそれぞれの港の魅力を最大限にアピールしていくべきだがそれがとても困難である。それぞれの自治体にそれぞれのやり方で努力してもらいたい。
17. どの自治体もクルーズ船を誘致することに対して前向きに取り組んでいるなと感じた。今回のスマートクルーズの話を知るまではクルーズ船は自分とは全く関係のないものだと思っていたので、自治体の人や地元の人達がクルーズ船誘致に向けて活動していることを知らなかった。クルーズ船の港整備には莫大な時間と労力がかかけられていることを知り、かなり大きなプロジェクトだなと思った一方で、寄港地に魅力がなければ今までの取り組み全てに意味がなくなるものだということが分かった。
18. 港湾での施策について聞くのは殆ど初めてだったが、どの地域でもその地域の特徴に合わせた政策を考えていることがよく分かった。一見、観光地な

どが何もないような地域でも、船が接岸できないような別の観光地への経由地となるような方法もあることを知り勉強になった。しかし同時に、観光地として、より有名な地域に、客を取られてしまう問題もあることは課題にもなり得ると感じた。

- 19.クルーズ船受け入れの経験が多い自治体と少ない自治体の双方のお話を聞くことができ、私の地元である愛媛県の実態はどうなのか気になりました。ターミナル建設においては、費用対効果の観点から簡単に整備を進めることができないのが現実だと思いますが、今後クルーズ需要が増加することを想定すれば、整備する必要がある、各自治体間でノウハウを共有する必要があるのではないかと感じた。
- 20.自分の地元が奈良県で海のない場所に生まれ育ったが、今回の自治体の皆様のプレゼンを聞いて、各自治体の皆様も観光業務ということで、どのようにしたら自分の港に寄港してもらうことができるか、それぞれ必死に考えておられて、海に面している県の観光的視点での港の重要性に気づくことができた。
- 21.港には、それぞれの課題があることを実感した。特に、港からどう観光地に移動してもらうかという課題は非常に大きい。運転者が減少傾向のタクシーの手配やシャトルバスの手配など、大型船を発着させる際には、多くの人が一気に移動するため、難しい課題だと感じた。
- 22.全体的にインフラ整備に関して大きな課題を抱えている印象だった。岸壁の修繕や拡大などはできたとしても、交通インフラに関する課題は民間との協力が不可欠になるため課題解決に時間を要する印象が強かった。また、寄港地の観光振興に関するボランティアは私たちのような大学生（大学のサークル）と提携して盛り上げていけるのではないかと感じた。
- 23.各港湾（自治体）のプレゼンを聞いての感想としては、各港のポイント、今回のクルーズ体験をクルーズ船誘致にどう生かすのかの点が、より明確化されていると良いと思った。また、パネル討論では、各港が抱えている課題や問題のフェーズが異なることが認識できたが、それぞれが努力をすれば、改善は期待できること、情報共有や連携も有効であると感じた。
- 24.鳥取港のお話を聞いて、鳥取港は境港と協力することが出来るのではないかと感じた。鳥取港の人に個人的に質問をした。しかし、境港は島根の管轄もあることから、それは難しい。と言われた。私は、もともと島根県松江市出身という事もあり島根県も鳥取県もなにもない事を知っている。鳥取港なんて特に何もないと思う。管轄などは関係なしに、島根県と鳥取県は協力する

べきではないのかと思った。

25. 大都市と地方小都市の間で港湾整備の格差が大きいことが分かった。しかし、小都市ではなかなか魅力的な観光地がないように感じられたことも事実であり、これからも地方都市の港湾開発は厳しい状況が続くのではないかと感じた。また、大型船が入港しても、下船客を運送する手段が確保できないことも深刻な問題であると理解した。ビジネスチャンスと人出不足が存在する難しい問題だと思う。
26. 現時点で観光地としての港の賑わいや認知度に大きな差がある気がした。神戸や横浜、鹿児島は物資の港としても栄えている。人が多く都会と言われることもあり、観光地、食などが充実している。その一方で山形や鳥取は目立つ観光地がない。港の整備や誘致のためにタクシー事業など行っていると聞いたが、誘致にはまだまだ時間がかかりそうだなと感じた。若い世代にクルーズ船を知ってもらうことが将来のクルーズ誘致に繋がると考えるので、インスタ映えスポットやドラマの撮影地になるといった案もあるのではないのか。
27. 各港湾からの討論を聞いて、船の誘致の大変さや来てもらった観光客の皆様への対応など考えることがとても多くて驚いた。これまで港には釣りでしか訪れたことがなかったが、これからは違う観点からも港を見ることができると思うと討論を聞いて良かったと思っている。
28. 寄港地から市内までの移動手段について課題を抱えている港が複数あったことが印象的であった。一方で、今回寄港地のひとつであった神戸港では、実際に下船した時にも感じたが、駅がすぐ近くにあり市内にも行きやすく利便性が高いと感じた。駅や観光地を建設することは簡単ではないため交通手段についての問題は今後の大きな課題の一つとして印象に残っている。
29. 各港の歴史や現在抱えている問題を聞く機会はなかなかないので良い勉強になりました。大学のゼミやアクティブプログラムで地域活性化の話をよくしているので、話を聞いていて普段ゼミで考えていることと繋がりはあるなど感じました。お話をする時間も少なかったのであまりお話することができませんでしたが、そのような勉強会などがあれば積極的に参加したいなと思います。
30. 鳥取の話は印象的で、フレーズを作り印象に残すことは大事だと思いました。観光地として他の県に行ってしまうというのはどこも同じ悩みなのだと思います。観光地が一つあればいいわけでもなく長く同じ場所にとどまっ

てもらうにはどうすべきなのか。ぜひ自治体の人ともっと深く話してみたいかったです。

31. 港の建設の歴史や地元の名物を知ることができ、この企画に参加しなければ、海にこんなにたくさんの施設があることを知らなかったと思う。
32. 観光地を新しく作るという発想が斬新で印象的だった。アバウトに思えた部分も詳しく教えていただいた。具体的には鳥取には何もないが砂場はあるからスナーボックスというのが面白かった。またほかの港の自治体では、なにもない寄港地と観光地をどうつなぐかが課題とされていたが、僕自身も現地ではない人をどう誘導していくかが肝だと考える。(時間、目的地、手段、..)

学生プレゼンに対する感想

【クルーズ未体験者】に【クルーズならではの魅力】を【伝える】という観点から印象に残ったチームを2チーム取り上げ、評価とその理由を!

1. ある班は、クルーズを留学という学びと結びつけて考えるという意見が非常に印象的でした。実際に乗船して、クルーズに乗ることは学問的にも非常に意義があると感じました。また、優秀班についても、非常にクルーズの魅力伝えるという点で示唆に富む意見だったと感じました。
2. 一つ目のチームは○と×を使って、先入観とリアルを対比したグループである。私自身も初めてのクルーズであったため、共感できる内容が多かったとともに事前に知っておきたいこととも合致していたため未体験者にとっては最も有意義だと思う。二つ目は様々なアクティビティを紹介し、最後にみんなまで移っている絵コンテを書いていた班である。クルーズの楽しみがすべて詰まっておりますは十二分に伝わると感じた目である。
3. "・「クルーズは留学の第一歩」がテーマの班(B班)他の班が似たような発表をしている中、この班だけテイストが違ったため印象に残った。実際に乗船してみて英語を使う機会が多たしかにプチ留学をしている気分になれたので、個人的に非常に共感できるプレゼンだった。「クルーズでの実体験」をいくつか紹介していた班(E班)臨場感あふれるイラストで、クルーズでの生活のリアルが伝わった。"
4. 優勝したチームは良かったなと思います。未経験者がどんなイメージを抱い

ているかというポイントから、クルーズをうまく説明できていたと思います。他のチームについては、クルーズの場面を流すという説明であったので、似たり寄ったりであるなと思いました。

5. 1つ目はプチ留学としてクルーズの魅力を発信する案を発表したチーム。旅行だけではなく、真面目な部分も味わえるのは一石二鳥で多くの学生から好まれそうだなと感じた。2つ目はB班の発表。短く伝える、簡潔に伝えるということが意識されていて、長時間のコンテンツは回避しがちな学生の目に留まりやすいと感じた。
6. まず、B班は詳細は覚えていないが、事前設定がしっかりしていて素晴らしいと思った。最初の基礎がしっかりしていないと発表も不安定になると思うので、その点では見習うところがあった。未経験の人に伝えるという観点ではA班はしっかりとクルーズのマイナス要素を消すような説明をしていたので、良かったと思った。
7. チーム名は忘れたが、①海外留学の準備・体験としてのクルーズを提案しているチームが最も印象に残った。理由はそのテーマの独自性から。目新しさがあり論の筋も通っていたから。動画の内容としてはいまひとつだったが。②クルーズ乗船中の一日を動画にすることを提案したチームが次に印象に残った。動画のストーリーとして分かりやすく、クルーズにのった際の自分より想像しやすいから。
8. 一つ目に印象に残ったチームは、初めにクルーズ船へのイメージのスライドを上げ、それを覆していくというコンセプトのものだ。わかりやすく魅力が伝えられるなと感じた。2つ目は、ある人のクルーズでの1日についての絵コンテだ。1日の流れをわかりやすく動画にすることでより楽しさが伝わりやすいと思った。
9. D班とE班が良かったと思う。正直 bad と good を紹介していた班以外は大体どこの班もそんなに大差ない発表だったのではないかなと思う。どこの班も船の魅力を伝えるためにいろいろな施設について取り上げて発表していたと思う。だが、この二つの班は自分が思っている船の良さとか魅力を伝えていたと思うので、一番良かったと思います。ウォーターライダーなど、受け手としてわくわくする内容が含まれていたから選んだ。
10. B班: 失敗例と成功例を比較した動画になっていて、クスツと笑える要素もありつつ、クルーズについて知ることができる点がよかった。E班: クルーズ船での1日を動画を通して知ることができることが、船の中での生活をリアルに知ることができてよいと思った。

11. 印象位に残ったチームは B 班と C 班である。B 班は、体験者の経験談・失敗談のようなものをベースとしているため、具体的で未体験者が想像しやすいような内容である。また、想像しやすいからこそ、クルーズとはどういうものかという未体験者のクルーズに対する期待が膨らむことに繋がるのではないかと考えたため、B 班を選んだ。C 班を選んだ理由は、クルーズでの一日の過ごし方とともにクルーズらしさが詰め込まれていると感じたためだ。起床時は朝日の光とともに海が見渡せ、船内だけで過ごすには退屈だったり窮屈に感じたりするのではないかという偏見に対して、船内の充実した施設と共に、寄港地では観光もできるという魅力、そして夜はパーティーのような雰囲気を味わえる魅力を、絵を通して十分に伝わるような内容だと感じた。
12. B 班の発表が印象に残った。クルーズ船での体験はどれも未知なものばかりで、船での生活は全員が気になる場所である。そこで、GOOD なことと BAD なことでシーンを作ることで、相手に伝わりやすく、船内での生活が想像しやすいと思ったからである。A 班のプレゼンも良いと思った。手ぶらでもクルーズ船に乗れるということをアピールポイントにしている点に魅力的だった。
13. クルーズの●×を動画で伝えるという内容のチームが印象に残った。若者の興味を引く内容になっていて、かつ、クルーズで楽しめることも要素として取り入れられているなと感じた。後、Vlog 風にクルーズを紹介するというチームも良かったと思う。クルーズの豪華で煌びやかな雰囲気を動画で存分に伝えられる内容だと感じた。
14. プレゼンが印象的であった 2 チームは、A 班と B 班である。A 班の発表では、クルーズに対する偏見を取り上げて、一つ一つ実際はこうであると説明していたため、クルーズを知らない人にクルーズに対する理解を深めやすいと感じた。また、B 班ではそれぞれの場面で●×形式で説明していたため、分かりやすく印象に残りやすいと感じた。
15. A 班。1 位にもなっていて、クルーズ船に乗ったことがない人が思うクルーズ船に対する偏見から作成することで、乗ったことがない人にも共感を得られ、なじみやすいのではないかと考えた。また絵もわかりやすくかわいく、絵コンテとして伝わりやすい。B 班。私が一つの班だけ選ぶなら B を選ぶ。初めてのクルーズ船で緊張などから誤った行動をとってしまうというもので、悪い例と良い例が並列して描かれているのでとてもわかりやすいと思った。
16. 私が印象に残ったチームは B グループと D グループである。B グループも

D グループもなぜその動画を作ろうと思ったのかやターゲットがしっかりして聞いていてなるほどと思うことが多かった。特にグループはクルーズ船に乗っていないとわからないようなあるあるネタをうまく入れ込めていて動画自体もとても面白そうであった。

17.1 チーム目:B 班 想像と現実の違いを「Good」と「Not Good」で表現していて、未経験の人にも分かりやすいなと思った。対比として絵で表現していたので視覚的に残りやすかった。2 チーム目:C 班 クルーズ船を「朝起きたら違う場所にいる」と言っていて魅力的だなと思った。寝ている間に別の場所に着くのはどこでもドア感があってワクワクするし、それがクルーズ船ならではの魅力だと考える。船内施設の豊富さを伝えていたのでクルーズ船未経験者には分かりやすいと思った。

18.A チームの発表は、船の魅力を詳しく伝えられ、若者に対してクルーズを体験してみたいという気を起こさせるという点でとても優れたものだったと思う。また、B 班の発表は、船で楽しめることや楽しんでいる間に様々な場所へ行けるという理由ではなく、そうした場所でのマナーや礼儀が学べるといった独特な視点からの発表であったことは面白いと感じた。

19.D 班に関しては、クルージングでの楽しみを全面的に押し出しており、クルージングに抵抗感がある若者の興味を引き立たせることができるのではないかと感じた。A 班に関しては、クルージングを経験する前後でのギャップについて紹介しており、YouTube Short や Instagram での拡散に非常に長けており、若者に魅力を伝えることができるのではないかと感じた。

20.どの班がどのプレゼンをやったかを覚えていないが、やはりクルーズ未経験者の多くは、クルーズに対して何かしらの先入観があると思うので、それを一つずつ列挙して、そうした先入観を消していく感じで紹介したやり方は効果があると思った。また逆も然りで、クルーズに対して抱いている良いイメージも必ずしもそうとは限らないというメッセージを伝えることも重要だと感じた。

21.A 班と B 班。A 班の、乗船前と乗船後の気持ちの違いを表すというアイデアがおもしろいと思った。乗った私たちだからこそわかる魅力を伝えられる。B 班は、クルーズ船のいいところを捉えながらも、そこで気を付けるべきことがわかって、楽しくクルーズ船のことを知れる点が良いと思った。

22.«失敗例と成功例»を取り上げていた B チームです。やはり、若者は特にクルーズ船に対して敷居が高そうだと感じているきらいがあると考えます。ですので、「何が失敗か」を明示しておくことで、心構えを持って乗船できるよ

うになるのかなと感じました。もう一つは、E班です。「楽しんでいる人目線」や「相対的な船の大きさ」を伝えている点が、クルーズの魅力が若者にダイレクトに伝えることができるような印象でした。

23. 私が学生プレゼンを聞いて印象に残ったチームはチーム A とチーム C である。チーム A は自分たちの体験からクルーズ船のギャップイメージをキャッチな雰囲気絵で表現していてクルーズならではの魅力が伝わる絵だったと感じる。チーム C は今どきの Vlog 動画というものを活用している観点から演者の問題もあると思うが主観でクルーズを楽しむことができると思い、自分ならその動画を見てクルーズに行きたくなると考えたためチーム C が印象に残った。
24. A 班 クルージングは高く、衣装や暇をしてしまうというイメージを持ちがちであるが、極論パスポートさえあれば最初の費用だけで楽しむことができるという事を伝えてくれている。B 班 クルーズ船内の楽しみ方やアドバイスを伝えてくれている面から、乗船したときに失敗を防ぐことができる。
25. C チーム、今流行りの Vlog 形式を用いることで若者をターゲットに魅力を伝えていたと思う。船内エンターテインメントは未経験者はなかなか想像できないと思うので、より具体的に伝えられれば大きな魅力発信ができると思う。
26. C 班: 1 番良かった。理由は、船自体が観光地でもあるからこそ、身体一つあれば海外に行けるということを全面に押し出すというテーマが未経験者に人には伝わりやすいかなと思ったからである。また朝起きて、朝食に行くまでの道中のタイムラプスを取る案が非常に良いなと思った。クルーの挨拶や他の乗客との交流が部屋から朝食までの道で起こる世界線を伝えられる。A 班: 2 番目に良かった。理由は、動画を通してクルーズに持っている固い偏見をどう変化するか一分の動画作成としては伝わりやすいのではないかと思っからである。上同様パスポート一つ持ってでもいいし、たくさん荷物を持ってもいい、また暇という時間の遅さが船の魅力でもあるからそこを押ししていたのも印象的だった。
27. 印象に残った班は C 班と E 班だ。まず、C 班の Vlog 形式で動画を撮るという考えは、自分が旅行した時の雰囲気や行動が明確に想像できると考えられるのでとても良いと考えました。そして、E 班は大学生が実際に楽しんでいるところを映しているのどの動画よりも楽しさが伝わってくる動画になるのではないかと思った。
28. A 班と D 班のプレゼンが特に印象に残っている。A 班は、クルーズ未体験者が抱えがちな不安を上げ、その不安を解消しながらクルーズ船の魅力を

伝えられていて、全ての班の中で一連の流れが最も分かりやすかった。D 班は、若者がそそられるであろうクルーズ船の施設を漏れなく伝えられているため、若者向けという条件に最もマッチしていると感じた。

29. B 班と C 班です。B、C 班の発表はまさに私がクルーズになかったイメージのようなものが描かれていてわかりやすいと感じました。無料のものが多かったのでできれば安く済ませるために工夫をするのは大切なことだとは感じましたが、全てをケチるのも疲れてしまうので、たまに美味しいものをお金を払って食べてみたりするのもクルーズの楽しみ方かなと乗船してみて感じました。

30. B 班 A 班です。プレゼンが聞きやすかったのもありますが、クルーズの魅力を伝えるにはクルーズを知ってもらわなければならない。知ってもらうにはクルーズの存在を教えなければならないというようなところで二つとも入りやすい見やすい絵コンテでした。最初から凝り固まった動画を作ってもクルーズを知らない人はそこで興味がわからないのでその面若者に寄り添った良いものだと思います。

31. クルーズ船はヨーロッパ近隣諸国の人々でいっぱいだ。乗船客もかなり多かった。英語の練習にもなるし、それに世界中の友人をたくさん作るチャンスだと思った。卒業間近の私は、クルーに船での仕事について質問し、とても勉強になった。

32. クルーズ未体験者にクルーズならではの魅力を伝えるという点で D 班の「水をくむ」という点を全面的に売り出しているところが印象的だった。みんなが暗黙の了解で OK としているところだったのでいいのか笑、と感じた。また E 班のウォータースライダーにはやられたと感じた。それこそ大きな魅力の一つだと思っていたからだ。

スマート・クルーズ・アカデミー企画全般についての感想と今後の要望

【学生提言大会、自治体関係者との交流、チーム対抗リレー、増え鬼、フットサル、バレーボール、フォーマルナイト) など】

1. スポーツや食事を通して、他大学の学生や自治体職員、外国人等様々な立場の人と交流することができたという点が、自分にとっては最も勉強になったし、SCA としての価値を感じた瞬間でした。その場としてスポーツ大会やフォーマルナイト等の企画を考えて下さった先生方にはたいへん感謝してお

ります。

2. スマート・クルーズ・アカデミーとして複数の大学から多くの学生が参加することで交流が深まったことは実感できたため、どの企画も楽しく有意義であったと思う。ただ一点だけ今後の要望を挙げるならば、どこで何をやるかを事前にある程度明確化しておくことより参加しやすくなると思った。船内ではコミュニケーションを取れるアプリがあるが、どうしても確認頻度が落ちたり、電波が入らなかつたりするためである。
3. 全ての企画において、いろんな方と関わったのが何よりの経験となった。他の大学の学生とお互いの大学、ゼミの話をするのも楽しかったし、中京大とは後日連絡を取り合うくらい仲良くなることができ、嬉しかった。阪大だけではここまで盛り上がれなかったと思うので、他の大学と一緒に参加できたのが非常に良かった。また、いよいよ私も来年から社会人になるので、自治体の方や社会人参加の方は、社会人の先輩として仕事の話などを聞くことができて良い刺激になった。スポーツや飲み・おしゃべり会は一気に距離を縮めるきっかけとなったと思う。
4. どれも楽しかったです。学生でチームを作って取り組むことで、他大の人1人ずつ仲良くなることができました。自治体の方とも二人ぐらいお話しさせていただき、その人の歴史や志向などを知ることができました。運動全般については、私自身とても好きであるゆえに単純に楽しめました。フォーマルナイトでは綺麗な映える写真をたくさん撮れて、思い出となりました。
5. 全般的に非常に充実した内容だった。普段なら絶対に関わらない大学の人たちの交流はとて面白い経験になった。特に中京大学の人たちは積極的に関わってくれて打ち解けやすかったので、アカデミーがより良い内容となったと思う。大学によって関わりの濃さが違ったのと、少しイベントが多くて疲れてしまっていたのが少し後悔が残った。
6. 個人的には自治体関係者の人たちとあのような感じで楽に交流できる機会は滅多にないと思うので、とても楽しい時間だった。ディナー以外にも交流の場があっても良かったと思う。学生みんなでスポーツを楽しめたのはとても良い時間だった。企画してくださった先生方に感謝したい。
7. 他大学の学生との交流があったことがとてもよかった。正直に言って、自分の大学だけ、自分の家族だけでクルーズに乗ったとしてもこれほど楽しくはならなかったと思う。イベントに参加したり、カジノに行ったり、夜にビュッフェに休みに行ったときに話しかけられる知り合いがいることは、とても楽しいものだった。自治体の方々との交流も新鮮で、視野が広がり、今後港湾や

船を見る際の視点が変わったと感じた。その他どの企画も、参加する前は煩わしく感じることもあったが、終わってみると良い経験だったと思う。一方で、それらの自主的な企画が多々あったことで船内で行われているアクティビティにあまり参加できなかつたことは少し残念に思う。

8. 自分達のゼミだけじゃなく、他大学との交流や、公務員の方との交流の機会が晩御飯などで得れたのはとても良かった。仲間内だけでなくみんなで行くからこそその楽しさであると感じた。バレーボールなどスポーツと一緒に行くことで話せなかつた人と話せて仲も少し深まったと感じた。また、今回のクルーズで出会った学生と交流する機会があればぜひ参加したいと思う。
9. 学生提言大会は船降りてからでもよかったと思った。19の回答でも書いたが、船の魅力は調べただけでは絶対に分からないし、実際に乗ってみることがとても大切だと思う。今回スケジュールがぎちぎちだったということもあり、船に乗ってから考えているようじゃまともまらない、ということで乗る前から考える結果になってしまった。しかも乗ってから絵を書く時間も必要だし、そもそも発表する日が早すぎる。発表は3日目の朝なので前日には仕上げておく必要があり、絵をも書かないといけないので、大まかな内容自体は一日目で決める必要がある。つまり、一日で魅力を発見しなければならない。船降りてからよくよく考えてみれば段差が無く、車いすの人が旅行するのに最適だったこととか細かい魅力に気づけた人もいた。だが、一日目ではさすがに厳しい。船降りてからでもいいと感じた。自治体の方との交流は良かったと思う。食事中など緊張感無く話せたのでこういう機会は貴重だと思った。
10. 他大学の学生は4回生が多く学年が上だったため、距離の詰め方が難しかった。最終日になってやっとお話がたくさんできて嬉しかったけど、もう少し前から勇気を出して話しかることができればよかったなど少し後悔した。スマート・クルーズ・アカデミー関連の連絡がLINEで送られてきたが、インターネットを使える状況ではなかつたこと、MSCのアプリチャットを使っていたことから、連絡に気がつかず参加できないことがあったので少し残念でした。
11. 自治体関係者とお話する中では、市の仕事に真摯に向き合っている感じが感じられる場面が少なくなかつた。学生との交流に関して、すごい人がたくさんいると感じた。私と同じ大学生でも、視野が広くて問題を自分事として捉え、行動する力を持って、さらには結果を出している人たちがいて、尊敬し、刺激をもらった。そのような学生の方と、リレーや増え鬼、バレーボールなどで交流できて楽しかった。体を動かすと、みんな自然と笑顔になる

し、心もオープンになるため、次会った時に話しかけやすくなる。実際、船内であつたらそこまで緊張せずに話すことができた。大学生の交流など、今まで私が体験した学生同士の交流という名目の場面では、中身のない交流がほとんどだったが、クルーズでは一週間という期間があり、一緒に体を動かしたり行動したりできる機会があるため、交流ができたと感じる。今後も学生同士で交流できる機会があれば良いと感じた。クルーズなど港湾関係のアカデミーに参加したり、他の大学生から刺激をもらったり、そのような機会が増えると良いと感じた。

12. 学生提言大会は、他大学の方とグループを組めたことで全大学の方と交流をすることができ、グループワークで提言内容を考える際も、他大学の方と意見を交えて作成したことがとても新鮮だった。県立大学は人数が多く、三回生というのもあって他大学とあまり交流ができていなかったが、最終日のバレーボール大会で沢山話のできたので嬉しかった。
13. 最初に増え鬼とリレーを全員でやったのが緊張がほぐれて良かった。同じチームの方とは、初めてそこで出会ったので、仲を深めることができたと思う。ディナーの際に他大学の先生や自治体の方とお話して、普段関わりのない分野について聞くことができてとても有意義だと感じた。
14. スマート・クルーズ・アカデミー企画を通して、1番よかったと感じたのは、他大学と交流できたことである。普段は、同じ大学の人としか話す機会がないが、このクルーズで新しく、他大学の人とたくさん会話ができて、そして仲良くなれたので嬉しかった。また、自治体の方とも普段の日常では話すことは全くないが、話す機会ができて、自治体の方の仕事や私たちの学校生活について話をすることができ、貴重な経験ができた。今後もぜひ、クルーズ企画があれば参加したいと思う。
15. 初対面の人とごはんを食べるのはとても苦手なので、他大学の人や自治体の方と混ぜて着席したのはとても緊張してあまり食べられなかったが、将来もこういうことがあると思うので練習だと思えた。乗船初日にリレーと増え鬼をして、ほかの大学の人とも少しコミュニケーションをとることができた。フォーマルナイトではいつもは絶対に着ない洋服を着たので少し緊張したが、船内のほとんどの人がフォーマルなきれいな格好をしていて、豪華客船らしい貴重な経験になった。
16. 学生提言大会に関してはもう少し早めの連絡が欲しかったと思う。私たちのグループはコミュニケーションがうまくとることができなくて苦戦したところがあった。もう少しうまく行っていればもっと良いプレゼンができたとおもう。

その他のアクティビティに関しては他大学と楽しく遊ぶことができた。なかなか他の大学、年上、年下と交流する機会がなかったため非常にいい経験となった。

17. 学生提言大会についてグループ分けから発表まで時間がなく、話し合いがあまりできなかったのが残念だった。なので次回は十分に時間を確保してほしい。自治体関係者の人と交流できる機会は滅多になく、貴重な時間だった。学生とは異なった考え方をしている聞いていて楽しかった。スポーツは他大学の人達と交流することができて良い機会だった。スポーツ企画はこれからも確保してほしい。
18. 提言大会や自治体関係者との交流に加えて、生徒同士で交流できる機会も多くあったことが良かった。学年の違う先輩とも関われることで、船の話のみでなく、四年生になってからの計画や就職活動に関する話を聞いたことも大きかった。スポーツによる交流などは、乗船前からあらかじめ予定を決めておいた方が、その場で決まったことを伝えられた人しか参加できない形になることを防ぐことができるので良いのではないかと思った。
19. 自治体関係者との交流会の機会をもっと作ってほしいと考える。また、これまでの大学間の関係性等はあると思いますが、特定の大学間での物事の実施は、そうでない大学出身者にとって考えるものがありました。私たちとしても積極的にでていくべきだとは思いますが、もっとオープンにして頂けると、本学の後輩たちも参加しやすいと感じた。
20. 仲のいい人たちだけでクルーズを満喫するのもいいが、先生たちが企画してくださったスポーツアクティビティを通して他大学の人たちとの交流も楽しく、それを通して実際に仲良くなった人たちもいたので、仲を深める良いきっかけになったと思う。
21. 思っていた以上に、他大学の学生や教授、自治体の方と過ごす時間が長く、盛んに交流ができ、いろいろなお話が聞けて勉強になった。また、リレーやバレーボールなど、身体を動かすことでより距離を縮められたと思う。日数がたつにつれ、食事の際に自治体の方と話す機会が増えた。
22. スポーツ大会に関して、バスケ大会からリレー大会に急遽変更になった際、「足が悪いので走ることができない(リレー)」と伝えたところ、嫌そうな顔をされたことが大変悲しかった。運動に関していろいろな事情で今後も参加できない人もいると思うので、大会を主催する場合は企画をしっかりとした上で実行したほうが良いと感じた。また、食事の際に自治体の方と交流する時間がもっとあればいいと思った。

- 23.私は言語が年齢の上下によるジェネレーションギャップを一番感じないのが運動であると考えている。その点で体育館を使って体を動かしながらコミュニケーションをかわすことを学生や自治体の方々の距離感を縮めるという観点でもいい取り組みだと思う。また、食事の際にテーブルの人をシャッフルしてご飯を食べるのもすごく新鮮で新しい刺激になる話が多かったため楽しかった。今後の要望としては、船の上でしかできないこと×活発なコミュニケーションをとれるイベントを開催するのがよいと考える。
- 24.自治体関係者と一緒にレストランで食事をとることが出来たことはよかった。食事を取りながらだと気を使わないで会話をすることができた。対抗リレー、サッカーはもう少しルールや作戦を練る時間があればごちゃごちゃすることなくみんなで盛り上がる事が出来たと思う。フォーマルナイトはとてもよい経験となった。みんなで服装を合わせるにより仲間という実感が沸き、他の大学の子とも親しくなれた。
- 25.自治体関係者との交流では、就活前後の我々にはいい刺激になった。4年生にとっては社会人になる実感が湧き始めた時期に、新卒社員の心構えなどの話をできたことが有益だった。フォーマルナイトでは、メリハリをつける時間がクルーズアカデミーの上品さを感じられた。
- 26.リレーやフットサル、増え鬼は急遽決まったのにも関わらず、全員で楽しめたと思う。走りながら、大学の事やアルバイト、出身地など話し仲良くなる事ができた。また運動しながら課題のグループメンバーとも顔を合わせたことで必然と協力する雰囲気交流を深めることができたと思う。しかしコートの利用時間など分かっていたら、もっとチーム対抗で対決などすることができたと思う。スポーツを通して人は仲良くなりやすいから、初顔合わせはスポーツを行うことは良いのかもしれない。
- 27.学生提言大会やバレーボール、増え鬼をみんなでやることで本当に仲が深まったと思う。しかし、運動が苦手な人もいると考えられるので、クイズ大会等体を動かさずに競うことができるようなものを、大学や自治体の人にも混ぜてするのが楽しいのではないかと考えた。
- 28.他大学の人や自治体の方との交流のきっかけとなり良かった。特に学生プレゼンでは ZOOM を用いて事前準備を行ったが、その際に、クルーズ船についての期待や不安を話し合ったり、持ち物の相談などもできた。フォーマルナイトについては、豪華な客船の中でフォーマルな服装を着ることで非日常的な雰囲気をより味わうことができて思い出になった。
- 29.スポーツ企画で一気に学生に交流が深まったなと感じました。ただ参加率

が高くはなかった様に感じます。急遽やりますという形ではなくプログラム（日程表）にあらかじめ情報を書いていけばもっと多くの人が参加しそうな感じはします。LINE も使えませんし、MSC for me での連絡に限界を感じました。（全体グループがなかったので）

30. フットサル凄く楽しかったです。増え鬼などは避難訓練の為参加できませんでしたが見ている楽しそうでした。フォーマルナイトなど普段は経験しないことなので少し大人びた衣装を着ることも良い経験でした。自治体の方の交流は今就活状況に向けて良い意見をもらえたりプライベートな話も聞けて交流が深まったのでまた会いたいですね。
31. これを企画してくれたスマート・クルーズ・アカデミーにとっても感謝している。また、学業やアクティビティなど、自分一人では参加しなかったようなこともあり、視野を広げることができたと感じている。
32. スマート・クルーズ・アカデミーの企画については、とても感謝している。交流の場として非常に良かった。またアカデミックな面でもイベントの面でも一人では参加しなかったかもしれないものもあったため、おかげで行動の幅が広がったと感じている。

地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割についての感想

（港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえての国・自治体政策のあり方など）

1. 地域活性化の難しさを痛感したというのが正直なところの感想です。今回の旅で、純粋な観光客という立場から各自治体を巡った際に、正直なところ観光資源や自治体のリソースの差は想像以上に観光客にとっての消費意欲や観光意識に影響を与えると実感しました。今後は、持たざる立場の自治体に対してどのように政策的アプローチをしていくかが大事だと考えました。
2. クルーズ客船は地域活性化の手段の一つである（逆に言えば多数の選択肢のうちの一つ）ため、その点について事前説明なりその場での説明成りがあるとより納得感が増したのではないかと個人的には感じた。ただ、全体的にどれも興味深く勉強になる内容であったため、自治体の方々には非常に感謝している。
3. 今回全国各地の様々な港湾関係者の方からお話を聞いて、「地方財政、地

方創生にとって、「地方に観光客が訪れることの大切さ」を学んだ。横浜や神戸など港町として栄えている地域はクルーズ客船誘致に力を入れているイメージは想像しやすいが、過疎地域も力を入れているもしくは今後取り組もうとしていることが新たな学びであった。岸壁の整備やバス、タクシーの手配など多額のコストを投資してまで誘致するという事は、それだけ観光客がその地域でお金を落とすことのメリットが大きいのだと感じた。一方で、クルーズ船に停泊してもらっても隣の地域に観光客が流れてしまうというお話を複数自治体から聞いて、日本全体としてはいいかもしれないがその地域にとっては深刻な課題だということが分かった。

4. あんまりお金が落ちていないという印象でした。誘致するのは良いものの、港湾使用料以外で落ちているのはあまりないと思います。宿泊代がないことや高額サービスを受ける金銭的余裕はあっても、その時間がないことなどがあり得るのかなと思いました。また私たちはチェジュ島ではその場で予定を決めていき、その場で行く場所を考えていくスタイルでした。たまたま話した老女3人組も、神戸ではその場で調べて動いたとおっしゃっていました。クルーズに乗る人たちは、寄港地での動きを、あらかじめ組んでいる訳ではない気がしました。そのため、その解決としてのツアーを、自治体が指揮をとり、様々な事業者を協力させていくのが良いのではと思いました。
5. ディナーの時に大阪港の職員の方とお話する機会があったが、大型客船寄港の際学生ボランティア（特に通訳ができる学生）をどう集めるか、という問題に悩んでいた。ベテランの方たちと関係が上手くいきにくいなどの表には出づら問題点もあるが、それ以上に周知方法なのかなと考えた。阪大なら KOAN（学生用掲示板）に載せて頂ければかなりの人が確認するのではないかと思った。
6. 日本人として思うことは神戸や横浜以外の港は何回も足を運ぶ場所ではないと個人的には思う。だからこそ、クルーズで寄港することで知ってもらい、初めてを楽しんでもらうことができると思う。これは特に一般的に田舎と言われる場所の方が売りやすいのかなと考えている。僕自身は東北に行ったことがないので、酒田港などにはとても立ち寄ってみたいと思っている。そこで一つ利用者の観点から思うことは、観光地を作るということはなかなか難しいと思うので、そうではなく、既存の観光地に下船後、バスやタクシーなどの移動手段をしっかり準備して、出迎えることで観光客に良い印象を与えるとすごく感じている。だから、例えば港を降りた瞬間から借りられるレンタカーのシステムなどがあれば、特に利用したいなと思う。

7. 今回のような大人数のクルーズ船が停泊することは大きな経済効果を生むのだと実感した。ただ港湾の整備など初期費用やその年月は莫大なので、年に数回のクルーズ船の寄港しか見込めないのならば費用対効果はよくないだろうと感じた。逆に、すでに整った設備があるのにクルーズ船の寄港が少ないのならばとてももったいないので、より熱心に誘致をする必要があると感じた。
8. 港湾はやっぱりスムーズに乗船、下船できるようにする手助けを行うことと、アクセスの整備を行うことが大切であると、実際に観光地へ降りた時に改めて感じた。また、活性化に向けての PR も積極的に行なっていく必要があると思った。
9. クルーズ振興を仕事にしている人はまずは担当になってからすぐにクルーズ船に乗るべきだと思う。そのうえで港をもっと立派にして、船社にここに来たいと思ってもらえるような港にするべきだと思う。港が良くなれば船会社がやってくる。すると自然と客が増える。この流れで振興させていくのが良いのではないかと感じた。で、大阪の人が発表で言っていたのだが、大阪に着岸した船の客がみんな京都とか奈良に行ってしまうらしい。海外の人は大阪に旅行という感覚じゃなくて日本に旅行するという感覚で来ると思う。そして日本のイメージが歴史、京都というイメージだから京都に行きたがる。僕たちが韓国＝キムチと思っているのとまさに同じで、とりあえず本場のキムチを食べたくなるように、とりあえず京都で歴史を感じたがる。だからこそ京都に負けるのはしょうがない部分があると思う。日本に居ると感じる海外の人をターゲットにするのは難しい。だから、大阪に居ると感じる事ができる日本人をターゲットにするのが望ましく、その中でも都会を売りにするのではなく、天下の台所、食を売りにするべきだと思う。都会は東京にもあるし、そっちの方が立派だから。
10. クルーズ船の誘致だけでなく、おもてなしを考えたりしているのを初めて知った。クルーズ船の着岸時に地元住民を巻き込んでおもてなしをしているのは、地元クルーズを広めて行く上で良い政策だと思った。地方自治体は、寄港地の周辺で観光をして欲しい一方で、観光地として有名な京都や奈良に観光に行ってしまうという課題は、「日本らしさ」を求めている外国人観光客が多いから仕方が無い部分もあるのかなと思った。
11. 上記の項目でも示した内容ではあるが、まず、各主体と連携を図ることが自治体には求められていると考えた。クルーズを意識したことのない一部の人のためには、寄港地のイメージが無い地が多くあると考えるため、各港湾

がクルーズを盛り上げることはもちろん、より認知度を高めるために連携協定などを結んで、全体で盛り上げたり、クルーズは働き世代にとって長期休暇がなければ選択肢にすら入らないと考えるため、寄港地に立地する各企業とも連携を図って、寄港地の企業の福利厚生として提供したり、全体で盛り上げていける仕組みがあると良いのではないだろうか。市民からは、クルーズの乗客者に観光してもらうために、隠れスポットや推しスポットを募集するのも良いかもしれない。市民を巻き込み、地域に根付いた企業を巻き込み、各市町や県とも情報交換などやコラボレーションを行うと地域がより元気になると考える。次に、入港も出港の海岸イベントにも力を入れてほしいと感じた。その地域らしさでクルーズ船を迎え入れることで、乗船客にとってはその地に来たのだという実感が得られ、最後の送り出しまですることで、寂しさを感じてもらい、乗船客のその地に対する愛着が生まれるのではないかと考える。寄港地ではユニバーサルデザインも充実させ、ホスピタリティと地域愛を持って接することで、素敵な地域だと認識してもらえ、そのように認識される地域の人々もその地域がより好きになり、地域が元気になると考える。地域の活性化の根源はヒトだと考えるため、自治体は、ヒトの想いをベースにクルーズ客船誘致と港湾の役割を考えていくと良いのではないかと考えた。

- 12.クルーズ客船は、大勢の人が自分の市にきてくれて、魅力を伝えられるきっかけになる。そのためには市の魅力を作る必要がある。鳥取港のように、魅力が無いなら新しく作るというのは、とても難しいことだがやる価値はある。受け入れ体制を整えて観光地を作る事で、町に活性化にも繋がると思う。
- 13.クルーズ客船が1隻港に着くだけで何千人もの観光客が港を訪れることになる。観光客数を増やす、それに伴う消費の増加は港のある地域・自治体にとって非常に大きな影響だと思う。そのためにも客船を自らの港に誘致することはとても重要なことなのだということが分かった。
- 14.クルーズ船により地域活性化を促進するためには、港から町への観光をしやすくすること、またここに来ようとクルーズの顧客に思わせることが重要だと考える。今回、広島やチェジュ島などを訪問して、観光して思ったことは、もう少し長く遊びたかったということだ。この思いが、次また遊びに来ようと考えるきっかけとなる。だから、クルーズにより、その地域の魅力を認識し、また来てもらうということを行うことができれば、より地域活性化につながるのではないかと考える。
- 15.地域活性化のためのクルーズ客船誘致として、他にはないようなものを港

湾に取り入れることで効果を発揮できるのではないかと考える。また、ターミナルとその街の観光地は近いほうが良いなど、実際に下船したときに感じた。神戸や横浜は、港が代名詞と言っても過言ではないと思うので、それほどになってくると港湾と地域活性化を結びつけることができると考える。

16. 地域活性化のための港湾の役割として港湾と観光地の連携が大切だと思う。今回私たちは濟州島でオルレ市場に行ったがそこで「ベリッシマでお越しの皆さんようこそ」と書かれてあった。それを見た時、歓迎されているんだなということを知りとても嬉しかった。観光地でクルーズ船で来た観光客にクーポン券を支給するなどイベントごとに観光地と一緒に盛り上げられるような政策を考えるべきでその橋渡しの役割を港湾が担っていくべきだと思う。
17. 自治体がクルーズ船を受け入れる努力をしていたことは今まで知らなかった。せっかく船を誘致できても観光地としての魅力がなければ地域でお金を使ってもらうとはできないし、お金をかけて港を整備したとしたら利用頻度が低ければ意味がないということになる。クルーズ船が地域にやってくると、文化を広められたりお金を使ってもらえたり良い影響がある一方で、ごみの問題や観光について課題が残るということが分かった。そのためには地域の住民との協力が不可欠になると思う。なので自治体は観光地としての魅力を向上させるだけでなく、誘致できた後の外国人向けの観光案内を地域住民と充実させていく必要があると思う。
18. クルーズ客船の誘致には、もちろん多くのお金が動き、人を呼び込めるような寄港地でないといけないので、港湾ではその二つに特に注意して誘致に取り組むべきだと感じた。特に若者を呼び込みたいという意志を持っているのならば、その若者からの意見は必須であり、当たり前だと感じていることも若者にとっては違っている例も多くあると今回の乗船では感じることもあったので、実際に聞くことに意識を向けるべきだ。
19. 特に、その地域単体で観光客を呼び込むことが困難な自治体にとってのクルーズ客船誘致は非常に地域活性化に効果的であると考え。普段は旅行に行かない場所にも行く機会を作られることがクルーズの魅力の一つであり、その貴重な機会を有意義なものにするために各自治体は湾港の整備を含めた受け入れ態勢の強化が必要なのは、と強く実感した。
20. 自分は海のない奈良で生まれ育ったので、そうした港を通して観光客誘致など見たことなかったが、今回自分がそうした誘致される側に立って見ると、こうしたクルーズ船を通した観光客誘致は、その地域の観光業務にお

いては非常に重要なタスクであると認識することができた。

- 21.クルーズ船を誘致するためにも、空港との連携や、その他公共交通機関やタクシーなどとの連携も大切になることがわかった。その中で、地域の方々にも温かく迎えられ、観光をすることは本当に思い出に残ることも実感した。やはり、港からの交通は非常に肝になる問題だと感じた。
- 22.地域活性化のためのクルーズ客船誘致に関して、今回ユーザーの立場を経験し、予想以上に大きな経済効果をもたらすのではないかという印象だった。それまでの整備などには時間とお金がかかるかもしれないが、完璧にすればするほど、より活性化していくのではないかと思う。また、たとえ船から降りなかったとしても「寄港した」という事実だけで「じゃあ今度は行ってみよう」という気持ちになる人も少なくないと思うので、下船乗船時のサービス面も大事だが、「船内から見た目の印象（第一印象）」もかなり重要になると感じた。
- 23.地方活性化のためのクルーズ船誘致、港の役割についての感想として、まだまだ地方自治体によって港の課題間の認識に差があると感じました。また、港がある地域の人たちのクルーズ船に対する認知度や協力体制は大切だと考える。やはり、こういったクルーズ船はそこに住む地域の人々の協力があってこそ認知度拡大につながると考えるため、どの港もまずは、地域の人々の認知・協力体制拡大を目指すのがいいのではないかと考える。
- 24.地域活性化のための客船誘致と港湾の役割について、神戸のように演奏や、風船を飛ばすのはとてもよいアイデアだと思う。広島港、鹿児島港に関しては現地に着いたという実感が湧かなかった。現地につき歓迎をしてくれることで、現地についての好感度を持てたり、それが楽しみでクルーズ船に乗ろうという人が増えると思う。
- 25.マイアミの港湾写真を見て、大型客船が10隻も停泊できるほどの規模に整備されていることが衝撃だった。日本の主要都市のさらなる開発と、地方都市の整備はまだ伸びしろがあると感じた。一方で国内でのクルーズ認知度の低さの問題もあり、需要を考慮すると観光における港湾整備の優先度に疑問を感じる。一方、クルーズ誘致には、現地での観光地開発や交通手段確保など多くの経済的波及効果もあるため、インパクトの大きな取組だとも感じる。
- 26.地域活性化のため、全国各地の港が岸壁の整備や観光地の集客に力を入れていることを初めて知った。鳥取と鹿児島・横浜では、客船の予約数も圧倒的に差があり、港によってはクルーズ客船の誘致をまだまだ行えていな

いことが分かった。鹿児島では詳しくお話をお聞きしたが、大型の二隻対応可能な岸壁工事をしたり、海上輸送を行ったり、おもてなし隊など客船誘致のため様々の事業に手を伸ばしていることが分かった。スムーズな移動ができるよう、海に柱を建て幹線道路の建設に取り組んでいる方のお話を聞いたが、港のために働く人がいるから今回のように各地で降りて、観光をすることができていると知った。

27. 自治体の政策でとても大変だと考えたのは、ただ誘致するだけでは訪れてくれた観光客の人たちはお金を使ってくれないというところである。観光地や施設を増やし、訪れてくれたお客様を楽しませる工夫も考えなければいけないところが大変だと考えた。

28. 各港同士の連携が大切であると感じた。コロナの影響や、部署が数年で移動になってしまうことからノウハウを受け継ぐことが難しいという状況の中で各港同士での情報交換などの交流が今特に重要になるのではないかと考えた。また、観光産業の中でもクルーズ産業にもっと力をいれて盛り上げてほしいと思った。

29. 港の受け入れ体制が不十分だなと感じました。鹿児島港は建物があり、そこでツアーの案内やタクシー、バスの案内をするスペースがあったのでどこに行けばいいかわからなくて混乱していた人、日本人、外国人どちらもが少なかった様に感じます。広島港はシャトルバスの時刻表はありましたが、シャトルバスの管理テントの人が持っていた A4 のプリントのみでした。そこへ、帰りのシャトルバスの時間について、多くの人が密集して問い合わせしていました。その多くの方がスタッフの方が手にしている A4 プリントに書かれている時刻表の写真を撮っていました。時刻表を配る、大きな看板のようなものでみやすくするなどの対策をしたほうが良いと思いました。

30. 客船誘致としては自治体の方も話していた通りインフラ関係の問題の解決が大事だと思いました。私たちは官公庁の方などのおかげもあってバスに乗れたりしましたが、せっかく観光地におりても手段がないのも大きな問題でした。タクシーやバスは派遣の仕事でやるには無理があるのでどう分母を増やしていくかが考えどころだと思います。鳥取にも、大きな船が停まると良いですね。

31. クルーズ船の受け入れは、観光客の増加による経済効果が期待される一方で、観光地へのアクセスや観光客の管理方法が課題となっている。シャトルバスを利用しても、済州島では長蛇の列ができ、ガイドも苦勞しているようだ。

32.クルーズを受け入れることで多くの観光客を確保でき経済的なメリットが期待できるが、観光地へのアクセスや観光客たちをどのようにさばくかが課題として挙げられる。シャトルバスがあるとはいえ濟州では長蛇の列ができていたし、ガイドさんも取りまとめに大変そうだった。横浜下船時のような時間をずらす取り組みや、一度に混雑しないよう時間別のイベントを分散するのもいいかもしれない。

クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)

1. 地方創生、観光立国というマクロの観点と、多国籍間の人々の国際交流や人々の旅行手段多様化というミクロの観点で、クルーズの社会的意義は非常に大きいと実感しました。ただ、正直コスト面での制約が大きい学生にとって、今すぐに選択肢の一つとしてクルーズが上がってくる可能性は低いとも感じました。ターゲット層をより時間とお金に余裕のある高齢者に絞っていく方が、船社としては考えやすいのでは無いかと思ってしまいました。
2. 自身が乗船して感じた最も大きなことは、クルーズは若者でも十分に楽しめるということである。そのため、クルーズ旅行をより低年齢層に広げていくことは重要であり、かつ有意義だと考えた。ただ、学生まで年齢を遡ってしまうと費用が高すぎるという別の問題が発生するため、社会人 3 年目~の若い社会人をターゲットにすると最適ではないかと思う(休みが取れないという別の問題が発生するが)。
3. "(日本に寄港する)クルーズの社会的意義としては、寄港地をクルーズ側で決められるので特定の地域活性化に用いることができることではないか。乗客の多くは外国人観光客もしくはお金を持っている高齢の方なので、地方財政を潤すという役割は一定程度持っていると感じた。今回クルーズに乗る話を周りの友人何人かにしたが、やはり皆そろって「高そう、高齢の方が乗るもの」というイメージを持っているようであった。しかし、実際に乗ってみて若者だからこそその楽しみ方(連日夜遅くまで遊ぶ、おいしい料理を食べまくるなど)があると実感した。ただ、大学生にとって最大の障壁は値段なので、まずは値段抑え目の日本発着ショートクルーズで一度クルーズの魅力を感じてもらい、そこから一般的なクルーズへのリピートを促すことができればクルーズ振興につながると考えた。"
4. 色んな場所にゆっくり行けるという需要があり、また 5000 人規模の人を

動員できるので、一定の経済効果があるという意義があるのかなと思います。乗組員なども大量にいた印象なので、雇用という面でも良いと思いました。ほんのちょっとだけ金持ちからの分配があるのかなという素人感想です。ニーズについては、卒業旅行の定番や、留学の練習など、何かのコンセプト、ポジショニングが必要だと思います。食事代宿泊代を考えて、意外とお得というのは理解できましたが、いきなり15万と言われてそれを理解できるひとは少ないと思います。そのため、今までのような綺麗!とか楽しい!だけでは厳しいのかなと思います。

5. 国際交流の場としての売り込みは非常に有効になってくるのかなと思う。例えば、オーストラリアやカナダ、アメリカやイギリスといった英語圏の国々への短期留学はみんな行きがち、ではあるが、少し良いプログラムを利用するとすぐに50万くらいかかる。クルーズで30万ほどで英語学習も含めて英語圏以外の外国の人たちとも交流できるような学生向けプログラムを作れば若年層からの関心も高まり、それらのプログラムに参加した人たちが将来的にクルーズに個人的に参加するようになるのかな、と感じる。
6. クルーズの社会的意義は飛行機や新幹線などの他の交通ではできない全国何箇所にも寄って、観光することができるというのは一つポイントであると考え。クルーズ振興で若い世代に限定して考えると、僕は若い世代に入っているが、今回参加してみて、あり得ない楽しさを経験した。だから、次も行こうと思えるが、ネックになってくるのは最初の一步、特に金銭的な面である。今は、僕自身は2回目以降多少出しても行こうと思えるが、最初の決断は大変だったと覚えている。だから、学生で初めての乗船の人に限り大きめのディスカウントをするなどしたら、若い世代もターゲットに取り入れることができるのではないかと思う。
7. 今回乗ってみてとても満足したものの、大学生にとってはクルーズより魅力的な娯楽は多々あり、特にクルーズを選択する理由は無いように感じた。アクティビティはどれも対象年齢がややずれており、またネットやお酒が自由でないことは楽しみを軽減させると感じた。ただし、多くの都市を回るができるという点は魅力的だと思った。特に海外に行くクルーズだと、海外旅行としては効率がよく回れるので、手段の選択肢に入ると思った。実際に船内で話をした外国人の乗客には、日本のいろんな都市を回りたいという理由で参加している人が少なからずいた。自分はクルーズそれ自体が目的であったが、彼らは日本への旅行が目的なのだというギャップが印象に残った。

8. グループで話した結果でも出たのですが、若い世代にとって 1 番ネックのなところはやっぱり金銭面だと思うので、海外の経験を船内で、できる、留学の代わりやよ旅行の代わりになるということを PR していくことで若い世代の需要も増えていくと思う。
9. クルーズが一隻入ってくるだけで、とてつもなく大きな経済波及効果があると思う。だからこそ、電車ではどうしても行きにくい場所にクルーズ船で訪れることによって、その経済を潤すことができる。ただ、今の状態のままでは電車では行きにくい、何もない場所に連れてこられるただ迷惑な場所、なので、港の周りをもう少し発展させることがクルーズ振興につながると思う。
- 10.クルーズを日本で広げていくために、もっと期間が短く、価格も安いクルーズを増やしていくべきだと思った。働いている社会人は、長い期間休みを確保することが難しく、大学生は時間があるけれど、高いお金を払うことが難しい。以上のような状況が考えられるので、期間が短くて安いクルーズを日本で増やしていき、クルーズ船に乗るきっかけをつくり、多くの人にクルーズの魅力を知ってもらうことが重要であると思う。
- 11."クルーズには、経済・環境・社会の3つの側面で意義があると感じた。まず、経済に関して、クルーズの寄港地では、多くの乗船客が降り立つため、その地域に魅力を感じてもらい、お金を落としてもらえれば、その地域に経済効果が生まれる。それだけでなく、クルーズに関係する企業や自治体、国にも経済効果が波及すると考える。次に、環境面に関して、私が今回のクルーズで印象的だったのは、黒い煙と、出港時の海に浮かぶ油のようなものである。環境に配慮していると、乗船の前に聞いたが、煙や油のような汚染物質を目にしまうと、クルーズを行うことで環境が破壊されかねないと感じ、人々がクルーズを楽しみつつ、環境に配慮した取り組みや開発を行われる必要があると考えた。最後に、社会的な側面に関して、クルーズの船内では、外国の方がたくさんいて、気軽にコミュニケーションを取れる空間であると感じたため、異文化に対する理解と寛容の精神が育まれると感じるとともに、海外に対する負の偏見に囚われず、その人と向き合って、海外に対する偏見を見直すきっかけにもなるのではないかと感じた。若者にとって、このようなクルーズは、良い刺激をもらえる機会になると感じた。非日常体験ができるのもそうだが、海外の人と交流することで英語への意識が高まったり、海外へ目を向けるようになったり、スマホをあまり使わないため、人との繋がりがりや触れ合いの良さを再確認できる機械になると考える。また、クルーズ側も時間に融通の利く若者をターゲットにマーケティングをしてほしいと感じ

た。旅行手段の選択肢が増えるはずだ。”

- 12.クルーズの社会的意義は、さまざまな土地を訪れることでその場所の経済を動かす事ができることであると考え。自分が移動しなくても勝手に移動してくれて、普段できないような海外体験をすることもできることが学生にとってのクルーズの魅だと思う。学生が一番に考えるのは金銭的なことなので、しっかり料金形態を表示し、移動してくれておいしいご飯もついていて、色々な土地に降り立って観光ができて、異国体験ができてコストパフォーマンスが最高に良いということをもっとアピールするべきである。有名なインフルエンサーなどに実際に体験してもらって広報してもらおうと若者の目に留まると考える。
- 13.クルーズ船が海外では一般的なのに対して日本では浸透していない理由があまり分かっていないと感じた。島国で海が身近にあるはずなのになぜだろうと思った。私は今回のクルーズを通してクルーズの魅力が非常によく分かった。島国という特徴を活かして1週間で日本の観光地を回ることがクルーズなら可能だと思った。それをあんなに豪華な船で移動できるなんてすごくお得だと思う。そういった点から、日本の旅行の選択肢として当たり前にしていくのがいいのではないかと思う。
- 14.今回クルーズを初めて体験して思ったことは、もっと多くの人に利用してもらいたいということである。クルーズ船は、小さい子供からご高齢の方まで幅広い年齢層が楽しむことができる。また、船の中にも車椅子の方が割といった印象があるので、より多くの人に参加でき、素晴らしい時間を過ごすことができると思う。もっと多くの人にクルーズを利用してもらうためには、広報に力を入れることが1つの方法として挙げられると考える。例えば、若者にクルーズを広めるためには、インフルエンサーからのPRや、SNS媒体で短くわかりやすい動画を作ることだと思う。
- 15.クルーズにかかわるまでは、一般人とくに大学生のような若い世代とは無縁だと思っていた。実際にクルーズ船に乗ったときも、スマート・クルーズ・アカデミーで乗っている大学生以外、同じ世代の乗客を見かけなかった。やはり、企画のプレゼンテーションをしたように、TikTokなどの拡散されやすい媒体を使ってクルーズの魅力を発信することが大事だと思う。日常生活に戻ってからも、友人にクルーズ船に乗るよう勧めている。
- 16.私は海を知らない人に(内陸県に住む方々)にクルーズ船の魅力を伝えていくことが振興の一つのすべだと思う。海を知っている人にとってはクルーズ船は特別であっても海に特別さを感じることは少ないだろう。しかし海を

知らない人はクルーズ船の特別さとともに海の特別さを感じることができる。しかもこれはお金がかかることなくプラスで価値提供ができる。島国と大きくくられて誰もが海を身近に感じられる国のように感じるが八つも内陸県がある。私自身も大学生になるまで海とかかわったことがなく初めての海はとても感動し、今回のクルーズでも人一倍に海に対して興奮していたと思う。意外と見落とされがちな海を見たことがない人をターゲットに新たな政策を打っていくことでクルーズは新たな価値提供をできると思う。

17.クルーズの社会的意義は誰でも旅行できるという点にあると考える。船内では車椅子の人や年配の方を見かける機会が多かった。このことから、飛行機や新幹線での遠出の旅行が難しい方たちにとってクルーズ船は気軽に利用することができる旅行の手段であると分かった。また子供連れの家族も子供が十分に楽しめる施設があったり、子供を預ける施設があるので、親だけの時間を楽しむことができたり、どの世代の人でも楽しむことができるという点がクルーズ船の社会的意義であると考え。また、若い世代にとっては非日常体験ができるという点においてニーズは存在すると考える。今回クルーズ船に乗船してみて日常生活では体験できないことを体験することができ、貴重な経験をすることができた。今回のクルーズ船のようなものは若い世代にとっては卒業旅行のようなイベント毎に利用される可能性がある。そのため移動時間も楽しむことができるということを全面に押し出しながら、非日常体験という点においてクルーズ振興ができるのではないかと考える。クルーズ船は1つの場所での滞在時間が短いからこそ、次回の旅行に繋がるということが分かったので、もしツアーを組むのなら複数の魅力的なツアーを組んで全て体験できないようにしておき、次回の旅行に繋げることが良いのかなと思った。

18.クルーズについて、若者がそれほど興味を持たないのは、敷居の高さと実際に何が楽しいのかを知らないからだろう。今ではSNSが多く普及し、今回のアカデミーでのSNSの拡散だけを見ても多くの人への宣伝になっているだろう。実際に卒業するまでに乗ってみたいと話していた私の友人もいるように、知ってもらうという観点については、こうした企画を何度かやっていくうちに達成できるのではないかと考えられる。

19.クルーズの社会的意義としては、寄港地の経済活性化であると考え。MSCベリッシマ級のクルーズ船の1回の寄港で、数千万円規模の経済効果があると報道されており、地元のお土産屋・飲食店・観光地などはその恩恵を受けることができ、地方都市を知るきっかけになると考える。クルーズ復興

に関しては、発信力の高い若者世代を顧客として取り込むことが重要だと考える。

20.海での旅行を通して、船上や様々な国の土地を踏むことで、色んな人との出会いや新たな発見を得られるという面で、こうした若い内から経験しておくことで、もっと視点が広がる良いきっかけになることは間違いないと感じた。

21.若い世代にクルーズを体験してもらうことは、クルーズ人口を増やす大きな手だと考えた。私自身も今回参加してみて、また絶対にクルーズ船に乗ろうと決めた。学生などに、比較的手の届きやすい価格でクルーズ船に乗ってもらうことで、周りの大人への広告、その学生自身がリピートすることにもつながると思う。

22.今回のクルージングを通して持った印象は「時間の流れが遅い」ことだった。これは、特に日本人に関して大変重要な要素だと考える。時間を忘れるほど楽しい経験、スマホを見なくてもいろんな人と交流できる体験というのは現代社会において大変貴重な機会であると考え。そうしたことから、船内はもちろん、観光地においても「退屈しない」ことを目標としたインフラ作りが求められていると感じた。また、時間のある大学生(学生)だからこそ、若いうちに一度は経験して欲しいと感じる。

23.クルーズ船の社会的意義はやはり地域の魅力発見による地域活性化が一番ではないかと考える。クルーズというリゾート地にいるかのような非日常があるからこそ、観光地の色がより鮮明になり思い出に残りやすくなると考える。また、インターネットが当たり前にある20代前半の私たちの世代が【スマートフォンをほぼ使えない9日間の生活】を体験することで、私生活の時間の使い方について考えるきっかけにもなり、SNSを使わないことで時間が長く有意義に感じるというきっかけにもなった。クルーズ振興の在り方についてだが、私個人的な意見として船に乗らない人の1番のネックはスマホを使えないことでも価格的なものでもなく、9日間という期間と、同乗する人にあるのではないかと考える。長旅になればなるほど同乗する人がどういった人なのかということが大切になる。同乗する人とある程度の関係性がなければ、行きたくないという人も多いただろう。あとは、シンプルで若者への認知度がまだまだ低いこと、富裕層しか行けないものだというイメージを払拭するのがクルーズ振興の今後の大きなテーマになると考える。

24.クルーズの社会的意義は地域の活性化だと考える。大型クルーズ船の寄港に伴う経済効果は1寄港当たり1億円にもおよぶと言われている。鳥取県

など、地域が活性化していなくて海に面している県は大型クルーズを停めることが出来る港を設備するべきだと考える。クルーズ振興の在り方は寄港地の活性化だと考える。寄港地で若者が楽しむことが出来るプランを考えるべきだと思う。

25. 陸から完全に隔離されることによる異世界での生活感はかなり強く、ネットが普及し仮想での体験がメインになった現代では、体験する価値は十分にある。また非日常感が強いことからリピートにもつながる確率と感じる。若年層メインでのクルーズチャーターなどで振興するやり方もあると思う。

26. クルーズの社会的意義は、クルーズ船を通して集客がまだまだできる点、日本を観光地として広めることができる点であると考え。クルーズ振興の在り方として、今回のスマート・クルーズ・アカデミーのように未経験の人を船に乗せることで船の魅力を知ることができる。それを学生の内に体験できたことが非常に大きな力となる。クルーズ船に関しては、「知らない」というのが多いのが現状であり、知っても腰が上がらない人が多いのも現状だと思う。若い世代は YouTube や TikTok、インスタを見るので、SNS を活用したクルーズ船配信やクルーズ船をテーマにしたドラマなど作ると認知度が高まるのではないかなと感じた。

27. 私はクルーズの中でも海外船を PR していくことを重視して方が良いと考える。本格的なクルーズを楽しむことができるとともに、外国人との交流、日本国籍の船では経験することができない非日常の休日を経験することができるからだ。あまりクルーズを知らない若者は船内に何があるかを分かっていないので、詳しいところまで説明する必要があると考える。

28. クルーズ船で多くの乗客が様々な寄港地に訪れることで各地に経済効果をもたらす。また、クルーズ船の規模が大きくなればなるほど雇用機会を創出している。クルーズ振興の在り方については、イメージとして若者向けではないというイメージが強かったため、若者が十分に楽しめる施設（例えばジム、サウナ、プール、ナイトクラブ等）が船内に充実しているということ、そして、高いと思われがちな料金の中には宿泊費、食費、移動費、施設の利用費が含まれているということを若者に広めていきたい。

29. 私は今年の 3 月に 2 週間沖縄で離島巡りの旅をしました。2 週間を時間がたっぷりあったのでゆっくり時間をかけてのんびり沖縄を感じました。のんびりとはいっても毎日がとても忙しかったです。何が忙しかったかというと「移動」が一番しんどかったです。沖縄の離島には宿泊施設がないようなところが多くあったため、1 つの島を拠点に色々な島に日帰りて向かっていま

した。この経験を踏まえてクルーズは最高だと感じました。(笑)移動が全く疲れません。疲れないどころか移動も楽しいので、移動も行き先もどちらも楽しむことができました。それにさまざまな港に寄り色んな場所を観光できますが、キャリーケースを持ち歩くことも移動の新幹線やバスの予約、ホテルの予約をすることがないという点が魅力的です。クルーズの予約をするだけです。今回の旅で一番感じたことは疲れにくかった旅でした。これにつきます。スマホは使えなくても苦ではありませんでした。クルーズで暇を潰さず、スマホで時間を使うのがもったいないと感じました。

30. 良さでもあり悪さでもありますが電波のない空間で非日常を過ごすことは精神に安らぎを与え新たな出会いを生むと思います。若いうちに体験できるからこそ親世代になったとき思い出が蘇り今度は自分の子供と乗船しようと思えたりして良いと思いました。クルーズは遠い存在というものを少しでもなくすことができれば若いうちからこの良い体験ができると思います。アカデミーがもっといろんな大学で増えれば海外との交流も深くなりインフラ関係の話題にも触れやすくなるのではないのでしょうか。
31. 生まれて初めてクルーズに乗った私は、クルーズはやはりお年寄りやお金持ちのものだと思っていた。社会人がそんなに休みを取るのには難しいと思う。でも、例えば無料 Wi-Fi があるなど、働きやすい環境があれば、通勤者には少し魅力的に映るかもしれない。
32. 人生で初めてクルーズに乗ってみて、やはり高齢者や富裕層向けなのではないかと感じた。食事やアクティビティの面から、元を取るのには難しいし身に余る感じた。朝から晩まで遊んでも遊びつくせない環境。時間とお金の相当な余裕がある人にはいいかもしれないが、僕はやはり勉強したくなってしまった。社会人にとってもここまでまとまった休暇をとるのは難しいと思う。同室だった岡倉さんはクルーズ内でも仕事をしていたが、Wi-Fi 環境やワーキングスペースなど取って仕事をする環境を整えることもいいかもしれない。

クルーズ全般への感想

(外国人他との出会い、英語の必要性、失敗談なども)、将来への期待、上記の項目に該当しなかった部分への感想

1. 私自身は若い内にクルーズに乗る機会を頂けたことは本当に貴重な体験

でした!他のゼミ生にも本当に体験して欲しいですし、外国人との交流や英語の大切さにも気付けた、有意義な体験でした。今後も SCA という企画を通してひとりでも多くの学生にクルーズの良さを伝えていき、草の根的にクルーズの利用客数を増やしていくことができればとても意味のある活動となると感じました。

2. クルーズ全般を通して、経験したこと、学んだことは非常に多くここには書ききれない程である。その中でも特に英語については今後の自身の学習の大きなモチベーションとなるとともに、聞き取りは出来るけど何と返事をしたらよいか分からないという明確な弱点も浮き彫りにすることが出来た。次回のクルーズを楽しみにするとともに、自身の磨けるところを磨いていきたい。
3. 毎日様々なイベント、色々な人との交流で充実しており、今回初クルーズであったが次も絶対に乗りたいと思えるほどクルーズの魅力を満喫できた。船内や寄港地で色々な国の方と話してみても、お互い伝えよう、意図を理解しようという気持ちがあればなんとか会話にはなったが、やはり英語が喋れるに越したことがないと感じたので、これから英語の学習を頑張る一つのモチベーションになった。また失敗談としては、連日はしゃぎすぎて疲労が蓄積し、帰宅後 1 週間くらい引きずっていた。
4. もっと冗談含めて話したい!と思いました。同じ日本人よりも、もう会うことのない日本人に対しての方がべらべら喋ってくれる気がするので、外国の金持ちの話をもっと聞きたかったなと思いました。睡眠時間など、自律神経がぶっ壊れたのは少し大変でしたが、失敗というよりもそれぞれクルーズであると思うので、また次回も目一杯楽しみたいです。
5. 今回何よりもよかったなと思ったのは、クルーズという非現実的な経験をゼミの先輩たちと共有できたということだったと思う。外国人と出会う、非日常を体験する、というのは生きている間機会さえあればいつでもできるが、ゼミの先輩とあれほどの期間過ごすというのは大学の間にはしか経験できないのでとても良かった。遊びはもちろん、ゼミや就職の真面目な話まで普段のゼミの時間だけでは得られない貴重な時間を過ごすことができた。
6. クルーズ全般の感想としては大満足である。全てが良かった。出会えた他大学の学生、先生方、自治体関係者の方々、また、外国人と一緒に時間を共にできた人、その他多数の方のおかげでここまで楽しめたと思っている。やはり時間を気にせず、優雅な時間を過ごせるからこそ人間関係も築くことができるのだと感じた。次もぜひとも乗船したい。
7. 今回のクルーズでは日常では関わることはないだろう種類の人と多く会っ

た。バーで男子に酒と煙草をおごり続ける女性、それを目的にバーに集う大学生達、それに絡みに行くモデルの女性や若い少女、良い生き方について語る宗教のバッチを付けた年配の女性、カジノで毎日大金を擦る女性やバーでカクテルを嗜む紳士、、、。国籍も年齢もライフスタイルも異なるこれらの人々との出会いはとても刺激的だった。あまりにも情報量の多い日々を過ごしたので毎日疲労困憊だったが、とても濃密で楽しい一週間だった。

8. ほんとに非日常の空間で楽しすぎて時間が経つのがあっという間だった。お腹が空いたと感じないくらいbuffetでたくさん食べたし、コース料理でも贅沢だったと感じた。また、スイツパーティーは大規模で大量のスイーツがとても魅力的だった。将来生きているうちにもう一度乗りたいと思った。
9. クルーズの中は小さな海外だった。会話はほとんどが英語で行われる空間で、英語の必要性をととても感じた。また、英語を勉強するきっかけにもなる場所だと感じた。乗る前に想像していた何倍も楽しくて魅力が詰まっていることに気づいた。一週間という休みは働きだしたらなかなか取れないかもしれないので、大学生の間にもう一回は乗りたいと感じた。ただ、お金がものすごくかかるので乗れるか分からないが、、、。もっともっと魅力をcmでもprしていったくさんの人に乗ってもらいたいと感じた。
10. 私は英語を話すことが苦手だったので、話しかけてくれたクルーや他のお客様と上手くコミュニケーションがとれなくて、ショーを十分に理解できなかった。英語を話せるように努力しようと思った。私はクルーズの乗船日が誕生日だったので、ゼミの仲間が色々サプライズを用意してくれていて、贅沢で幸せな誕生日になった。クルーズを通して、同じゼミの人と中がより一層深まってよかった。
11. クルーズに参加して良かった。新しい体験や気づきが数えきれないほどにあり、濃密な時間が過ごせた。最後のフェアウェルパーティーでも大学生の多くの人が話していたが、自分の英語に対する意識の低さとレベルの低さを再確認するとともに英語を勉強しようというモチベーションに繋がった。今度クルーズに乗った時には、答えるだけではなく、こちらからも質問を投げかけられるようにしたいと強く感じた。それほどに人との出会いやコミュニケーションが楽しいと感じることのできる機会であり、今後もクルーズに乗船したいと考えた。
12. 総じて、とても楽しかった。外国人の方ともたくさんの交流をすることができ、異文化体体験をすることができた。お客さんや船員さんと英語で話すことができ、留学に行かないとできないような貴重な体験になった。つたない英

語でも十分に会話をして旅行を楽しむことができたが、今以上に英会話レベルを上げることで、ショーの内容や船員さんとのコミュニケーションをもっととれることで更に楽しめると思ったので、頑張ろうと思う。

13. プールサイドでスタッフの方と英語でお話をしたのがとても楽しかった。聞き取れなかった言葉も言い換えて何度も伝えてくださって、とても優しい人だった。お話しをしていると台湾人の乗船客の方も会話に入ってきてくれてすごく盛り上がった。朝日をデッキから見れたのもすごくいい思い出だった。次は部屋から見れたらいいなと思った。夜の海もよかった。風に吹かれながら友達と談笑するのはとても楽しかった。旅行ではなくゼミでクルーズに乗れたのがすごくよかったと思う。
14. 今回このクルーズに参加できて、本当に良かったと思う。他大学の方や教授、自治体の方や一般利用者、海外出身の従業員方とも気軽に話すことができ、学びが増えた。また、自分の語学力の無さを痛感し今後は英語で話す力を身につけていきたいと思う。また、広島、鹿児島、チェジュ島、横浜、全て初めて訪れた場所で、どれもゼミの仲間との思い出が一つ増え、また卒業旅行としてゼミのみんなで参加したいと感じた。
15. 人生で1度あるかどうかというほど貴重な体験をすることができ、乗る前の不安も吹っ飛ばすほど楽しく充実した思い出になった。他大学や各自治体の方と話せたのはもちろん、外国人クルーや乗客の日本人ご夫婦とのコミュニケーションが楽しかった。乗客の方からは、今まで何回クルーズ船に乗ったのか、や、船内のおすすめスポットなどを教えていただき、とてもためになった。クルーの方々が想像以上にフレンドリーで、すれ違うたびに挨拶をしてくれたり英語で会話をしたりできて楽しかったが、聞き取れてもうまく英語を返せない場面がいくつかあったので、次クルーズ船に乗るころには英語力を上達させたいと思う。
16. クルーズ船に乗っていて一番悔しかったことはなかなか英語でコミュニケーションをうまく取れなかったことだ。一緒にいる友達が少しできる子で英語で話しかけられるとすぐその子の顔を見てしまい、そんな自分がすごく嫌だった。せっかく外国の人と話せる機会をもらったのに無駄にしてしまった場面がいくつかあった。将来英語は必要でこれからの自分の可能性を広げていくものだと思う。クルーズ船を通してそれがすごく理解できた。少しずつ自分のスキルを上げていきたい。そしてまたクルーズ船でリベンジしたい。
17. レストランに訪れたときにサプライズに関する席順で自分の意見を上手く伝えることができなかったり、ビュッフェでなまりのある外国人と話すときに

単語すら聞き取れないことがあったり、自分の英語力の無さに気付くと共に英語を勉強しようというモチベーションにも繋がられた。今回は船の真ん中の部屋ということで海が見える部屋ではなかったため、次回クルーズ船に乗る機会があれば海が見える窓側の部屋に宿泊したいと思う。今回のクルーズ船で車椅子の人をよく見かけ、飛行機や新幹線では移動しづらい方でも気軽に旅行を楽しむことができるということが分かった。車椅子や自身の高齢のために旅行を諦めていた人にとってクルーズ船は旅行を楽しむことができる選択肢の1つだと感じた。しかし、からだが不自由な人にとっては乗船地まで移動することが難しく、乗船地までの移動方法が充実すればクルーズ船の利用は増加するのではないかと考える。これからクルーズ船が新たな旅行の選択肢となり、クルーズ船利用が活発になっていくことを期待する。

18. 今回のクルーズ体験は、自分の中でも多くのモチベーションの上昇につながった。英語で話す中でうまく意思疎通できなかった悔しさから英語の勉強を始めたり、全く関係のない視察で乗っていた企業の方と話すことで将来の働き方に全く新し視点を追加することができたり、自分自身の成長のきっかけや、実際に成長させられるような出会い、出来事が多くあったことがうれしかった。
19. 今回のクルーズの経験から、今後も定期的に乗船したいと考え、さっそく10月に北欧クルーズを予約した。さらに、親孝行の一つとしてクルーズも検討するくらい、今回のクルーズへの満足度は高く、魅力をクルーズ未経験の人にも伝えたい。
20. 最初参加する前は、初めてのクルーズということもあり、不安な部分が多かったが、人生の中でもなかなか経験できないクルーズ船での体験を大学生のうちに体験できて、参加して良かったと思う。今回実際に体験したクルーズ船ならではの魅力を周りの人たちに発信してだけでなく、今度は時間ができた時に自分の両親や家族を連れて行こうと思った。
21. クルーズ船は、移動しながら宿泊でき、起きたら観光できる、終日航海日も船内のアクティビティを飽きることなく楽しめるので、普通の旅行よりすごくお得で、楽しい旅になると感じた。想像より、外国人のスタッフが多いので、英語が喋れるのに越したことはないと思った。
22. 今回のクルーズでは学生以外の乗船客とも出会いが多く、いろいろ話すことができ、良いリフレッシュになった。また、英語の必要性に関して、上記のアンケートにも回答したように一定の英語力がないと楽しむことができない

環境であると感じた。このことからお年寄りとウェイターなどとのコミュニケーションを見ていると、クルーズの層（需要：年配の方）と供給の多少のミスマッチを感じた。また、若いうちにクルーズ船の魅力を知ることができて本当によかった。将来の旅行の選択肢として「船旅」が加わったことに今回の一番の成果を感じる。少しネガティブなことを言うと、まだまだ「若者×クルーズ」のイメージが定着していない中、私たち学生は好奇の目で見られていることをすべての参加者が自覚するべきだと感じた。客室での過ごし方やオープンスペースでの過ごし方がよろしくない場面も何度か目撃し、参加者全てが「若者」と言う括りで見られるということをもう少し周知することができたらより良い旅になるのではないかと感じた。しかし、総合的に見ている出会いも多くとても貴重で素敵な経験だった。

23.クルーズ全般での感想として本当に楽しく、刺激的な9日間だった。船の中では普段会話することができない大学生、大学教授、地方自治体の方、外国人の方、クルーズ乗務員等、普通に生活していたら絶対にお話できないような方々と様々なお話をすることができたため、多くの学びと刺激をもらうことができた。私は海外に行ったことがないため外国人の方とちゃんとコミュニケーションをしたのは初めてでしたが、英語のリスニング力とスピーキング力の重要性を思い知らされました。ちなみに外国の方には3回ほど「英語を勉強してこい」といわれました。クルーズ初日の出来事としてドリンク飲み放題の購入を迫られて英語でうまく返すことができなかったのが一番悔しかった。

24.クルーズ全般の感想は、自分の英語力の無さに失望した。思っていることを伝えることが出来ない、相手の話していることが理解できない。とても恥ずかしい思いをした。世界で活躍をするためには英語を話すことが出来ないといけないということを感じた。クルーズを通じて英語を勉強しようと思った。将来は、今まで大変お世話になった両親をクルージングに招待しようと思った。若者でこれだけ楽しむことが出来たのだから、両親はもっと楽しむことが出来ると思う。

25.私自身はもともと海外への興味が強く、外国客船にも強い関心を持ったが今回新しい旅の形に触れることができて本当にいい経験になった。たくさんの学びや悔しい思いなどをしたが、間違いなくこれから仕事を頑張るモチベーションにつながる。旅行後、周囲の人において頻りにクルーズでの体験を話すが、反応はとてもいい。多くの方が興味はあるが全く未経験で、機会があれば乗船する意欲がある。このような貴重な体験をできたことに

心から感謝したい。今後も機会があればぜひ乗船したい。

- 26.クルーズ全般の感想としては、絶対にもう一度乗りたいに尽きる。しかし年に1回とかでは特別感・非日常感がなくなってしまうので数年に一回、友人と親を連れていくなどいろんな楽しみ方や使い方があると知った。また海外船ということで英語を話せたらもっともっと船旅が良い物になったのは事実である。完全な文ではなくても、単語で意思を伝えることができたのも事実である。プールの監視員の方に「おまえもっと英語を勉強しろ」と言われたときは帰って英語を絶対に勉強すると決めました。自分の力でクルーズ船にもう一度乗ることが将来の目標になった。
- 27.私は今回の旅で英語の必要性を痛感した。外国人の人と友達になろうとしても、やはり言語の壁は高く、深い話をすることができない、コミュニケーション能力がいくら高かろうが言葉が通じなければ意味がないと実感したのだ。これからもクルーズを乗りたいと考えていることから、英会話の勉強を行い、船内で円滑にコミュニケーションできるレベルまで頑張りたいと思っている。
- 28.乗船前は参加しようか迷っていたが、乗船して本当に良かったと思っている。これまでに、こんなに多くの他大学の学生や自治体の方、外国人の方たちと交流できた経験は無かったし、ダンスパーティーやカジノ、コースディナーなど普段の生活ではできない経験ができた。これらの経験が社会人になってからではなく、学生である今体験できて本当に良かった。
- 29.今回は、常に横に英語と日本語が話せるフーさんがいたので英語に困ることはありませんでしたが、話せたほうが絶対に良いと感じたのはお客さんとして乗船している外国人とのコミュニケーションを取りにくいと感じました。日本人とは違いフレンドリーですぐにお友達になれます。なので少しでも話せるようにしたほうがよりクルーズを楽しめると思います。
- 30.英語が話せなくてとにかく大変でした。こんなに自分の労力のなさを恨むことはありません。ですが、そんな時助けてくれる教えてくれる仲間ができたことはアカデミーに感謝しています。話せないなりの所作は、どうにかその場を乗り越えようという気持ちに繋がるのでとっさの判断力が身についた気がします。またシンガポールや沖縄のクルーズどちらにも行きたいですね。クルーズが初めてでこのメンバーだからよかった。ととても思いますが今後何回乗っても同じことを思える体験にしたいです。水はお金がかかる。という失敗談は面白かったですね。将来いろんな港湾ができて日本がクルーズで盛り上がることに期待をしたいし私はその中でプロデュースする側になっ

てみたいですね。

- 31.乗組員たちがまだ十分な休息もとらずに1日11時間も働いているのを目の当たりにし、ショックした。それを楽しんでいる者もいるが、大半は疲れているか眠そうだ。また、船内の日刊紙も英語と日本語の情報が違って、済州島へのシャトルバスも日本語の情報が全くなく、どうしたらいいのか戸惑った。
- 32.感想として、いまだにクルーたちが休みなしで毎日11時間ほど働いているのが衝撃的だった。楽しんでいる人もいたが疲れている人や眠そうにしている人が大半だったように思える。そこがもったいないところだと思う。話しかけてみると優しくったり夢があったりと素敵な人たちばかりで、福利厚生を改善すればクルーたちもイベントや寄港地を一緒に楽しめたらいいのにと考えた。そうしたらチップを与える人も増えるだろうし、クルーズ内の雰囲気により良いものになると考える。
